

NEC

MultiWriter2200X

ページプリンタ

ユーザーズマニュアル[2/3]

このユーザースマニュアル[2/3]は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザースマニュアル[2/3]の指示に従って操作してください。

このユーザースマニュアル[2/3]には、装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについての情報が記載されています。

また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザースマニュアル[2/3]ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意




指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の三種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	△記号は注意を怠ると、危険が発生するおそれがあることを示します。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。(注意の喚起)	 (感電注意)
	⊘記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。(行為の禁止)	 (接触禁止)
	●記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。(行為の強制)	 (プラグを抜け)

ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容


注意の喚起

	指示を守らないと、毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、感電のおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指示を守らないと火傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、発煙または発火のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、指などがはさまれるおそれがあることを示します。

行為の禁止

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります。
---	---------------------------------------	---	--

行為の強制

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	---

商標について

NMPS、PrintAgentは日本電気株式会社の商標です。

Microsoftとそのロゴ、およびWindows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

i486SX、i386SXは米国Intel Corporationの商標です。

HP 7550は米国ヒューレット・パッカード株式会社の商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novell, Incの登録商標です。

Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

QuickDraw、LocalTalk、TrueTypeは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

IBM、PS/V、PS/55、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

MultiWriter2200X

ページプリンタ

ユーザーズマニュアル[2/3]



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

海外での使用について

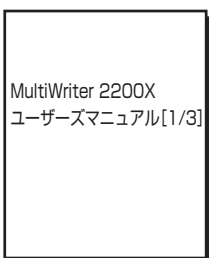
この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

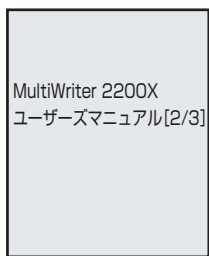
MultiWriter 2200Xは新しい高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンタです。また、2200Xは使いやすい環境を提供するNMPS(NEC MultiWriter Printing System)を採用しています。このNMPSの機能により、プリンタの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピュータ側から行うことができます。

2200Xには3種類のマニュアルが添付されています。



MultiWriter 2200X ユーザーズマニュアル[1/3] ～プリンタのセットアップ～

プリンタを箱から取り出し、設置し、印刷できるようにコンピュータを準備するまでの手順を説明しています。



MultiWriter 2200X ユーザーズマニュアル[2/3] ～プリンタ・ユーティリティの操作～

プリンタの機能を活用していただくための操作、日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法を説明しています。



MultiWriter 2200X ユーザーズマニュアル[3/3] ～オプションと技術情報～

プリンタに取り付けると便利なオプションの種類と取り付け方や用紙の規格と印刷範囲などの技術情報について説明しています。

このユーザーズマニュアル[2/3]ではMultiWriter 2200Xの機能ならびに操作、保守に必要な情報を記載しています。プリンタをご使用になる前にお読みください。



チェック

ご使用の市販のソフトウェアによっては、このユーザーズマニュアル[2/3]に記載している機能の一部がサポートされていない場合があります。

プリンタのセットアップはお済みですか？

プリンタは、印刷するための準備として、コンピュータとの接続、NMPSソフトウェアのインストールなどのセットアップが必要です。プリンタのセットアップがお済みでない場合は、「ユーザーズマニュアル[1/3]」をご覧ください。

また、プリンタをお買い求めの際に、オプションも併せてご購入された場合は、「ユーザーズマニュアル[3/3]」をご覧ください。

本書の読み方

必ずお読みください

1章 安全にお使いいただくために (→1ページ)

プリンタを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

2章 2200Xについて (→5ページ)

プリンタの特長、各部の名称、アフターサービス等、お使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

3章 操作パネルについて (→13ページ)

プリンタの操作パネル(ランプ/スイッチ/ディスプレイ)の機能について説明しています。

4章 用紙の取り扱い (→23ページ)

プリンタで使用できる用紙の種類および用紙のセット方法について説明しています。

コンピュータの使用環境(OS)に合わせてお読みください

5章 印刷の設定(Windows 95) (→29ページ)

Windows 95を搭載したコンピュータのデスクトップ上での印刷設定について詳しく説明していません。

6章 印刷の設定(Windows NT4.0) (→67ページ)

Windows NT4.0を搭載したコンピュータのデスクトップ上での印刷設定について詳しく説明しています。

7章 印刷の設定(Windows NT3.51) (→85ページ)

Windows NT3.51を搭載したコンピュータのデスクトップ上での印刷設定について詳しく説明しています。

8章 印刷の設定(Windows 3.1) (→99ページ)

Windows 3.1を搭載したコンピュータのデスクトップ上での印刷設定について詳しく説明していません。

必要に応じてお読みください

9章 印刷状況の確認 (→113ページ)

プリンタの持つ機能の一つであるプリンタステータスウィンドウを使って印刷状況を確認する方法について説明しています。

10章 便利な機能 (→131ページ)

プリンタの持つ便利な機能(リプリント機能、ジョブセパレート機能、印刷ログ出力機能、両面印刷等)および使用方法について説明しています。

11章 プリンタの設定 (→145ページ)

Windows環境以外からプリンタの設定を変更する方法について説明しています。

12章 日常の保守 (→179ページ)

プリンタの日常的な保守(EPカートリッジの交換、清掃等)の方法について説明しています。




13章 故障かな?と思ったら (→187ページ)

プリンタが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法について説明しています。

なお、巻末にはメニューモード一覧表、用語解説および索引がありますので、必要に応じてご活用ください。

本文中の記号について

このユーザーズマニュアル[2/3]では、表紙裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれの記号は次のように定義されています。

記号	内容
	マニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンタ本体が損傷するおそれがあることを示しています。
	プリンタを使用する際に、守っていただきたいこと、およびプリンタを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
	プリンタを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

安全にかかわる表示について

はじめに	iii
本書の読み方	iv

1 安全にお使いいただくために

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2

2 2200Xについて

2200Xの特長	5
各部の名称	7
アフターサービスについて	8
お客様登録申込書について	8
保証について	8
修理に出される前に	9
保守サービスについて	9
プリンタの寿命について	10
補修用部品について	10
ユーザーズマニュアルの再購入について	11
情報サービスについて	11
消耗品・装置の廃棄について	12

3 操作パネルについて

操作パネル	13
ランプ	14
スイッチ	15
ディスプレイ	21

4 用紙の取り扱い

用紙について	23
用紙のセット	25

目次 (つづき)

5 印刷の設定(Windows 95)

Windows 95から印刷する	29
プリンタを選択する	31
印刷の詳細設定を行う	32
リモートパネルから設定する	34
リモートパネルの起動	34
リモートパネルの使い方	36
設定項目	37
プリンタドライバから設定する	49
プロパティダイアログボックスの開き方	49
ダイアログボックスの使い方	52
設定の詳細	53

6 印刷の設定(Windows NT4.0)

Windows NT4.0から印刷する	67
プリンタを選択する	67
印刷の詳細設定を行う	68
プリンタドライバから設定する	70
ダイアログボックスの開き方	70
ダイアログボックスの使い方	73
設定の詳細	74

7 印刷の設定(Windows NT3.51)

Windows NT3.51から印刷する	85
プリンタを選択する	87
印刷の詳細設定を行う	88
プリンタドライバから設定する	90
ダイアログボックスの開き方	90
ダイアログボックスの使い方	94
設定の詳細	95

目次 (つづき)

8 印刷の設定(Windows 3.1)

Windows 3.1から印刷する	99
プリンタを選択する	101
印刷の詳細設定を行う	102
プリンタドライバから設定する	103
ダイアログボックスの開き方	103
ダイアログボックスの使い方	105
設定の詳細	106

9 印刷状況の確認

PrintAgentの起動	113
プリンタステータスウィンドウ	116
プリンタの状態を知る	117
ウォームアップを開始させる	118
印刷の進行状況を見る	119
送信中ドキュメントを制御する	121
リプリントを行う	122
通知形式を変更する	123
ヘルプを見る	124
システムメニュー	125
メニューの表示	125

10 便利な機能

リプリント機能	131
ジョブセパレート機能	134
ジョブセパレート機能を使って印刷する	134
丁合い機能と組み合わせて印刷する	136
両面印刷機能	138
印刷ログ出力機能	141
印刷ログ出力機能を設定する	142
印刷ログファイルの内容	142
用紙残量表示	144

目次 (つづき)

11 プリンタの設定

設定項目一覧	145
メニューモード	147
メニューモードへの入り方と終わり方	147
メニューの内容	148
メモリスイッチの内容	155
MS-DOS用リモートパネル	162
ソフトウェアのインストール	162
書式設定リモートパネル	163
メモリスイッチ設定リモートパネル	169
ESC/Pエミュレーションでの機能	177
PC-PTOS環境での機能	178

12 日常の保守

EPカートリッジの交換	179
交換する前に	179
清掃	182
清掃箇所と清掃時期	182
清掃手順	182

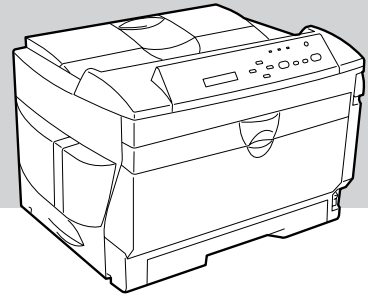
13故障かな？と思ったら

印刷がおかしいときは	187
思うように印刷できないとき	187
印刷に異常が見られるとき	193
印刷できないとき	195
アラーム表示が出ているときは	196
紙づまりのときは	198
紙づまりの処理	198
紙づまり処理後の確認	205
PrintAgentが正しく動作しない	206
MS-DOS用リモートパネルが正しく動作しない	209

用語解説	211
索引	217

1

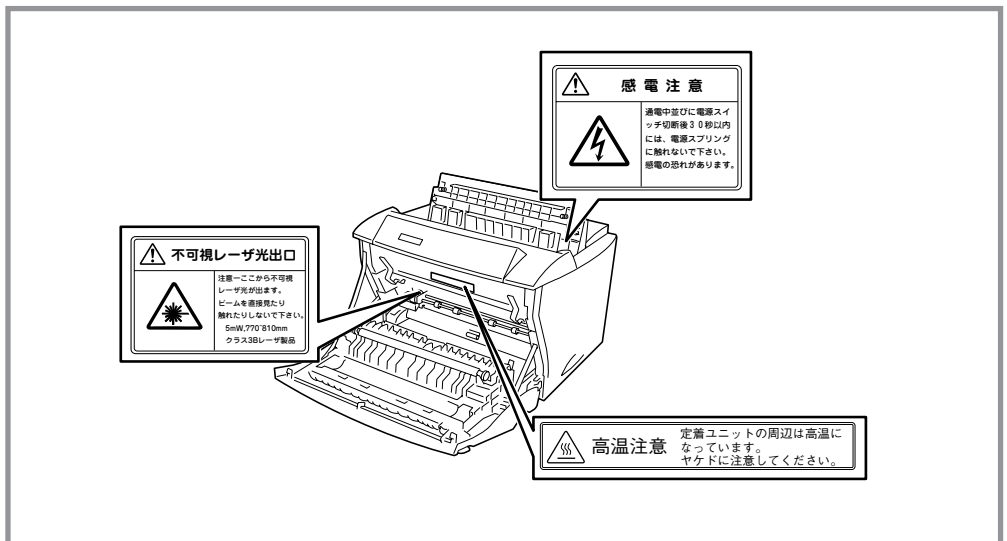
安全にお使い いただくために



警告ラベルについて

MultiWriter 2200Xプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を、常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読不能な状態であったら、販売店にご連絡ください。



警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の説明を参照してください。

警告

プリンタの内部をのぞかない



このプリンタはレーザー(レーザーダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

分解・修理・改造はしない



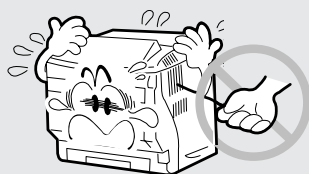
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音が生じたら



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。



注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、万一、口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり、目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が発生しそうなときは装置に触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

プリンタ内に水や異物を入れない



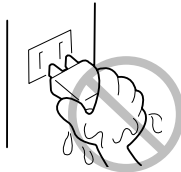
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類をかけない



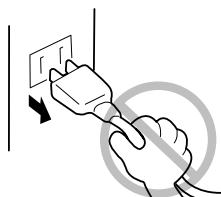
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜かない



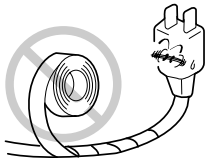
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない



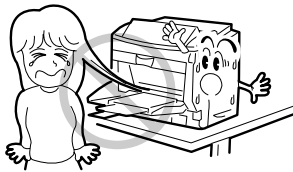
損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニルテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



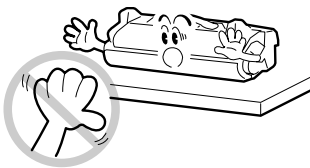
プリンタの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意



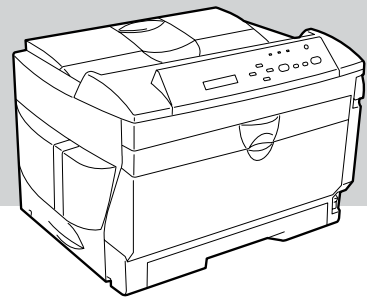
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

お子様に注意



EPカートリッジはお子様手の届かない所に保管してください。EPカートリッジに入っているトナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうおそれがあります。

2 2200Xについて



2200Xの特長

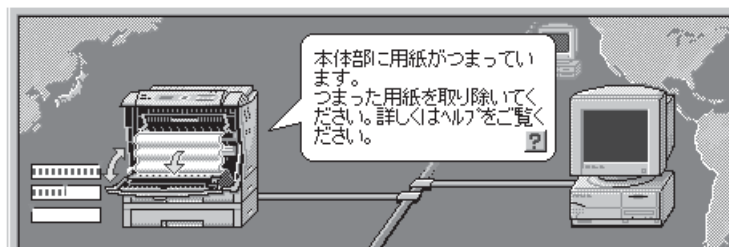
● 快適高速印刷

新たに開発した20ppmエンジンを採用するとともに、コントローラには64bit CPUを搭載し、従来のプリンタに比べて、より高速な印刷を実現しています。

NPDL (Level 2) を拡張しWindowsに対する適応性を高めた印刷システム、NMPS (NEC MultiWriter Printing System) を採用することにより、印刷時のコンピュータ側、プリンタ側の変換処理を大幅に軽減しました。同時にコンピュータ本体とプリンタの処理の分担の最適化を図り、コンピュータ上での印刷開始からプリンタの印刷終了までトータルでの時間短縮を実現しました。

● PrintAgentによる一歩進んだ使いやすさ

NMPSでサポートされるPrintAgentを使用すると、コンピュータの画面や音声によりプリンタの状態(用紙切れ、カバーオープンなど)や印刷の進行状況を確認することができます(プリンタステータスウィンドウ)。またプリンタの各種設定も以下のようにコンピュータの画面上で行うことができます(リモートパネル)。

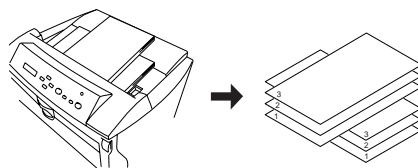


● リプリント機能

あるドキュメントの印刷をプリンタのプリンタドライバから実行した後、その内容を再度印刷させたい場合、アプリケーションを再起動せずにプリンタステータスウィンドウ (PSW) を操作することにより、短時間で再出力を実現する機能です。試し印刷および追加印刷する場合に便利です。

● ジョブセパレート機能

MultiWriter 2200Xでは、ソータ機能の代わりとして利用できるジョブセパレート機能を持っています。ジョブセパレート機能は、印刷ジョブごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、スタック上に排出される用紙を印刷ジョブごとに仕分ける機能です。また、ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせることによって、複数の部数を印刷するときなど印刷後の用紙を部ごとに仕分けることなくスタック上に排出させることができます。この機能はホッパまたはトレーのいずれかが2か所にA4用紙が縦置きおよび横置きでセットされている時に有効です。

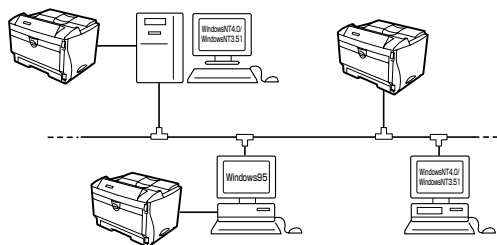


● 印刷ログ出力機能

印刷した履歴をログ情報としてWindows NT4.0/3.51のPrintAgentをインストールしたフォルダ上に出力し、記録させる機能です。これらのログ情報を活用することによって、年間または月ごとのプリンタの使用頻度の統計、消耗品の準備時期などの管理が容易になります。この機能はプリンタ管理者のみご使用になれます。

● 優れたネットワーク対応

PrintAgentによるプリンタの状態確認やプリンタの設定機能は、ネットワーク上のプリンタであっても区別なく使用することができます。PrintAgentの対応環境についてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください。



● 従来の資産を継承

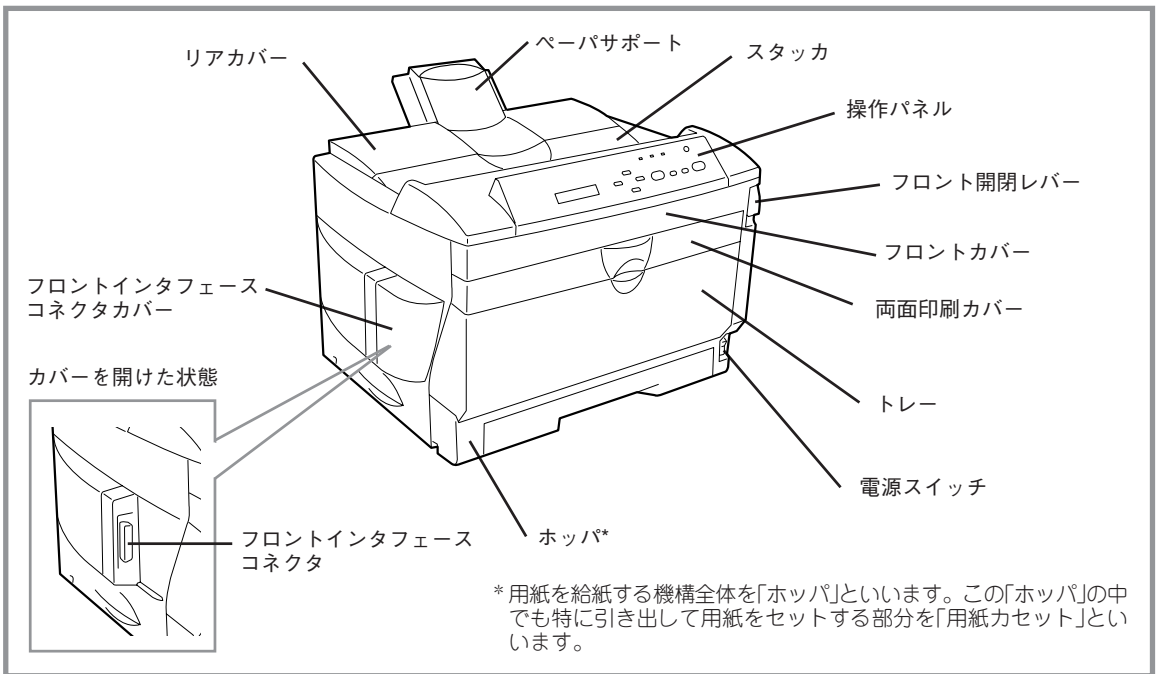
NMPSはNPDLの拡張によって実現されています。したがって、従来のNPDL (Level 2) 対応プリンタと同様にお使いいただけます。

● 両面印刷

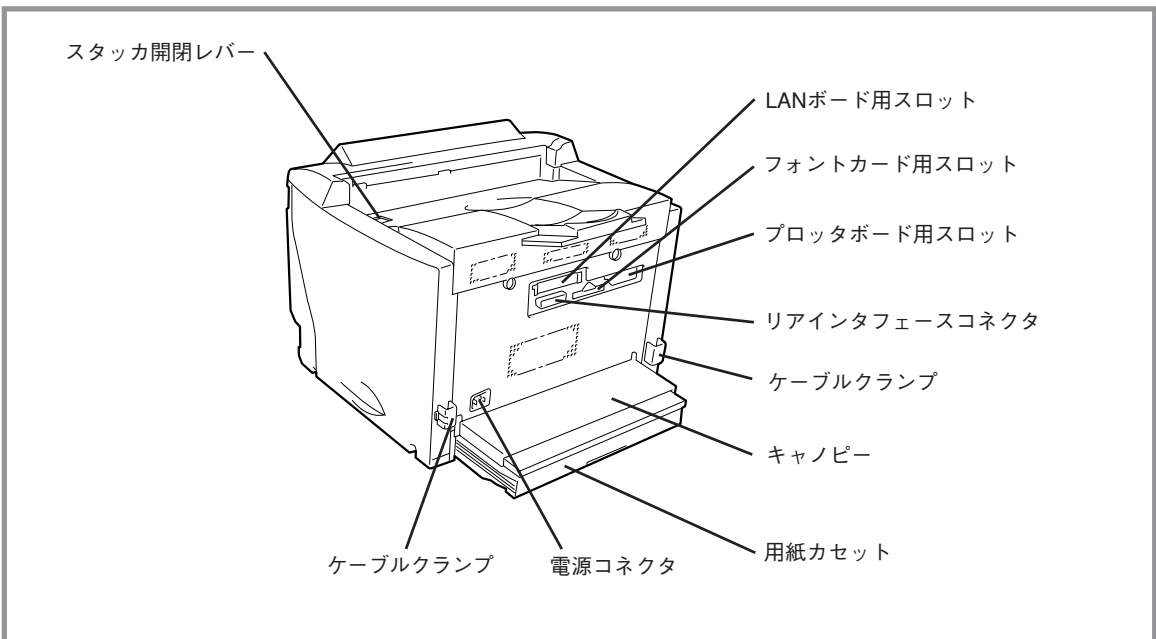
両面印刷機構を搭載していますので、用紙を節約して印刷したい場合に便利です。また、A3、B4、A4、B5、A5、レターのさまざまなサイズの用紙に対応しています。

各部の名称

プリンタの各部の名称について説明します。プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



プリンタ前面



プリンタ背面

アフターサービスについて

アフターサービスをお受けになる前に、保証、サービス内容について確認してください。

お客様登録申込書について

お客様登録申込書は所定事項をご記入の上、投函してください。

保証について

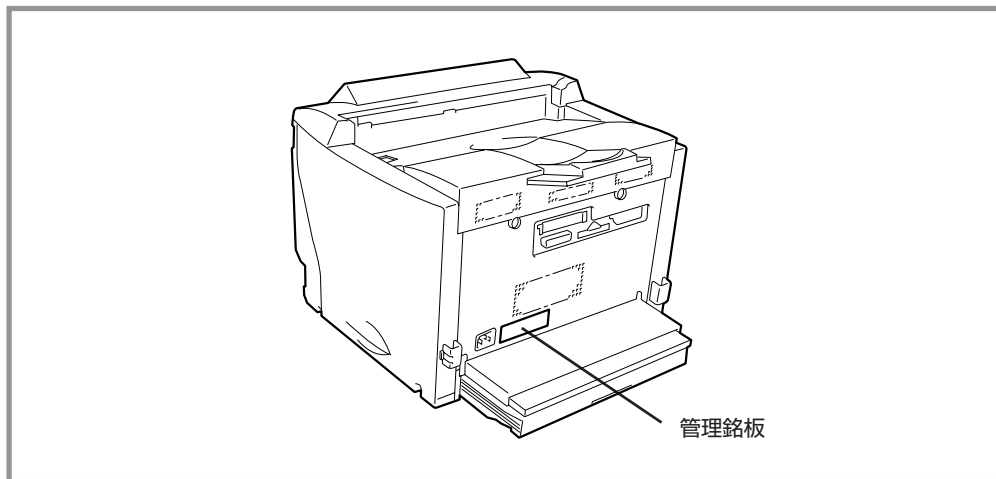
プリンタには『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」をご覧ください。プリンタをお買いあげの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせ下さい。



チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。
- ② 定期的な清掃を行っていたか。またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認します。
- ③ 第13章「故障かな?と思ったら」をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示もお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「サービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、『保証書』を添えてお申し込みください。

またプリンタをお持ち込みいただくときはユーザーズマニュアル[1/3]、梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンタを梱包してください。



チェック

弊社パーソナルコンピュータプリンタシリーズは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。

保守サービスについて

保守サービスはNECが指定した保守サービス会社によってのみ実施されます。部品交換は純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心いただけます。しかもお客様のご都合に合わせてご利用いただけるように次の4種類をご用意しております。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、お買いあげの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせ下さい。

- 契約保守 年間一定料金で契約を結び、サービスマンを派遣するシステムです。
- 出張修理(スポット修理)
サービスマンを派遣し、料金はその都度お支払いいただくシステムです。
- 持込修理 お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。
- 引取修理 修理品を引き取りにうかがい、修理後お届けするシステムです。

種類	概要	修理料金		お支払い方法	受付窓口
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービスマンを派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成に応じた 年間一定料金		年間一括前払い	お買い上げ販売店 NEC商品サービス(株) NEC Bit-INN NECマイコンショップ [®]
出張修理 (スポット修理)	修理のご依頼に対してサービスマンを随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*	修理料 + 出張料	修理完了後 そのつど清算	
持込修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、もよりの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただけます。	無料	修理料のみ		
引取修理	お客様のご都合で修理品をお持ち込みいただけない場合は、もよりのサービス拠点より修理品を引き取りに参ります。修理完了後お届けいたします。	引き取り料 + 返却料	修理料 + 引き取り料 + 返却料		NEC商品サービス(株) NECマイコンショップ [®]

* プリンタは出張修理対象品につき無料です。出張修理品の対象になっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンタの寿命について

MultiWriter 2200Xの製品寿命は印刷枚数30万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。継続使用される場合は、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品について

プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失された場合は、お買い求めの販売店もしくは、お近くの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアルを再度購入することができます。

- 品名 MultiWriter 2200Xユーザーズマニュアル
- 型名 PR2200X - UM

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名と型名をメモしておくようにしてください。

情報サービスについて

プリンタに関するご質問・ご相談は、NEC Bit-INNおよび当社指定のサービス窓口でお受けしています。また技術的なご質問・ご相談はNECパソコンインフォメーションセンターにご連絡ください。

上記窓口の電話番号、受付時間については、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

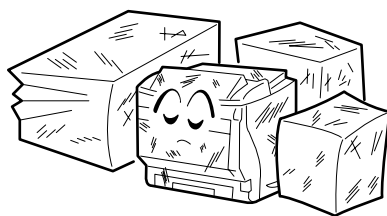
また以下のパソコン情報サービスにおいて、2200Xに関しての最新情報やプリンタドライバがアップロードされます。ご利用ください。

- Faxサービス
NECパソコン情報FAXサービス
東京 03-3769-9821
大阪 06-304-9821
- PC-VAN
NECパソコン情報 (J NECPC)
- NIFTY-Serve
NEC Information Center Forum (GO FNECINFO)
- インターネット
98インフォメーション (<http://www.nec.co.jp/98/>)

消耗品・装置の廃棄について



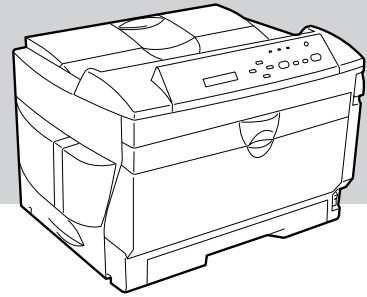
- NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てず、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。



- 装置の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

また廃棄の際は必ずEPカートリッジを取り外してお出してください。

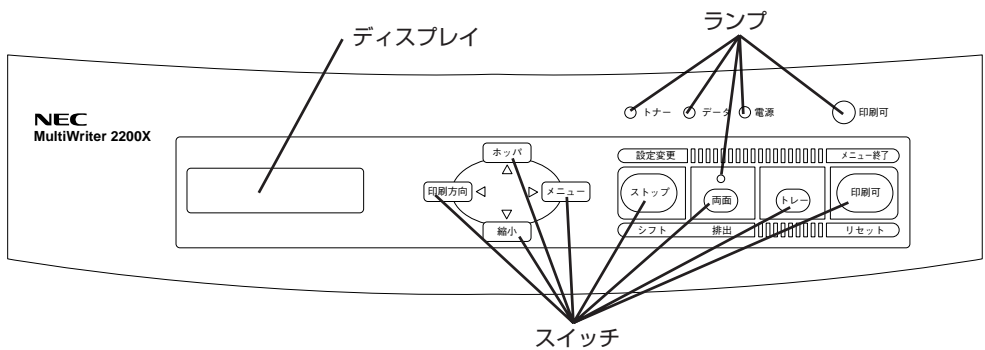
3 操作パネルについて



操作パネル

操作パネル上にある「スイッチ」は2200Xの状態や設定を変更するためのものです。状態や設定は、「ランプ」や「ディスプレイ」で表示されます。

ここでは操作パネル上の「スイッチ」の使い方と、「ランプ」、「ディスプレイ」の表示の意味について、主にNPDLEミュレーションで使用する場合について説明します。ESC/Pエミュレーションでは一部機能が異なります。詳しくは「ESC/Pエミュレーションでの機能」(177ページ)をご覧ください。



操作パネル

印刷可ランプ(緑/赤)

- 点灯(緑)** プリンタがセレクト状態(印刷データを受信できる状態)になっています。
消灯(緑) プリンタがディセレクト状態(印刷データを受信できない状態)になっています。

点滅(赤) 30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。

カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンタにエラーが発生している状態です。詳細については「アラーム表示が出ているときは」(196ページ)をご覧ください。

電源ランプ(緑)

- 点灯** プリンタの電源がONになっています。
消灯 プリンタの電源がOFFになっています。

データランプ(橙)

- 点灯** プリンタ内に印刷データが残っています。
点滅 プリンタが印刷データを受信中です。
消灯
- プリンタ内にデータが残っていません。
 - プリンタはデータを受信中ではありません。

トナーランプ(赤)

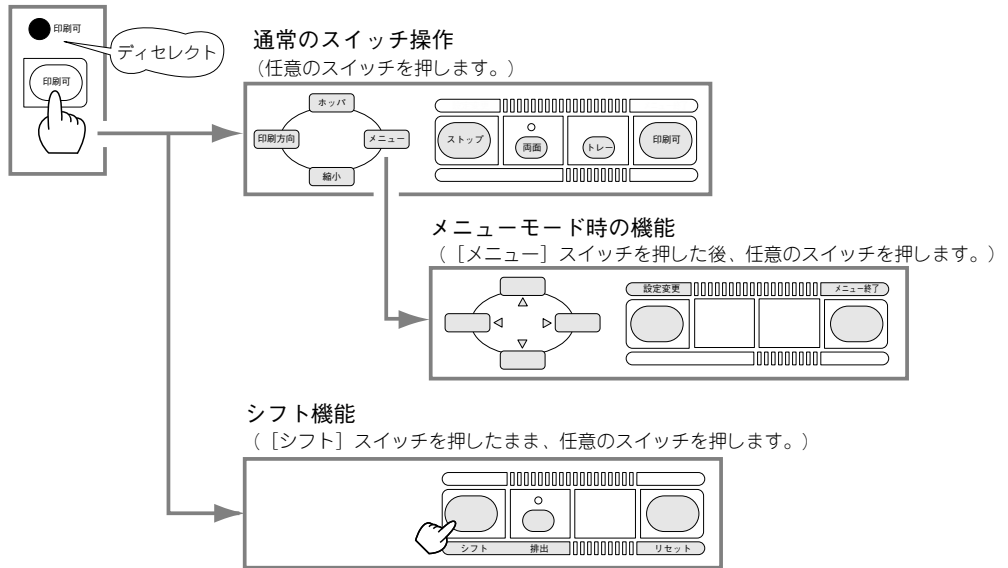
- 点灯** EPカートリッジのトナーの残量が少ないか、または寿命が近づいています。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」(179ページ)をご覧ください。
消灯 EPカートリッジのトナーの残量が十分にあり、状態も正常です。

両面ランプ(緑)

- 点灯** 両面印刷モードに設定されています。
消灯 両面印刷モードではありません。

スイッチ

プリンタの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチには2つまたは3つの機能を持たせています。



スイッチのモード

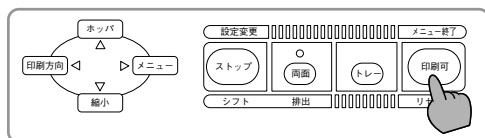
- 通常のスィッチ機能**
- [印刷可]スイッチを押しディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します([ストップ]スイッチを除く)。
- メニューモード時の機能**
- [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
- シフト機能**
- [シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。



チェック

アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(196ページ)をご覧ください。
アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

印刷可スイッチ



このスイッチはプリンタが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。



データを受信できる状態にする。

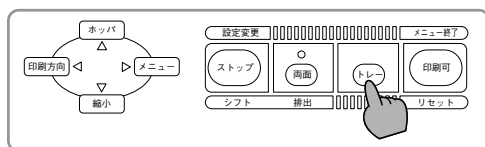
スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、**印刷可**ランプ点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、**印刷可**ランプ消灯)に交互に切り替えます。



メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

トレイスイッチ



このスイッチは**印刷可**ランプと**データ**ランプが消灯しているときに機能します。



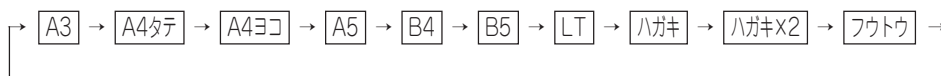
トレイ給紙にする。

ホッパから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、トレイから用紙を給紙する状態に切り替わります。



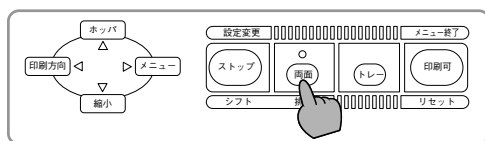
トレイ給紙の用紙サイズを変更する。

トレイ給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



*「ハガキ×2」は「往復はがき」を意味します。

両面スイッチ



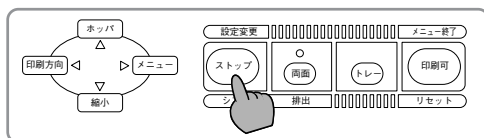
このスイッチは**印刷可**ランプと**データ**ランプが消灯しているときに機能します。



両面印刷モードにする(両面印刷モードを解除する)。

両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。

ストップスイッチ



このスイッチは常に機能します。



データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にします。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンタ内に残ったままになります。

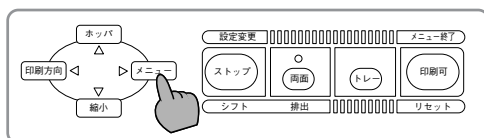
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。



メニューモード時に設定変更したい項目(レベル3)を選択します。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。詳細については巻末の「メニューモード一覧表」をご覧ください。

メニュースイッチ



このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニュー

メニューモードに入ります。(メニュー)

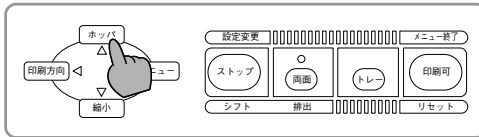
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

▶

メニューモード中は[→]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。詳細については巻末の「メニューモード一覧表」をご覧ください。

ホッパスイッチ



このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときやオプションの増設ホッパを装着しているときに機能します。

ホッパ | ホッパ給紙に切り替えます。

トレイから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパから用紙を送る状態に切り替わります。

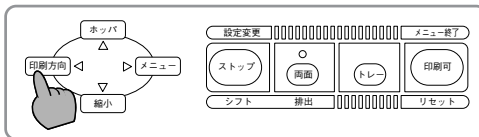
ホッパ | ホッパを使用しているときは、このスイッチでホッパを選択します。

ホッパ給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙ホッパの設定が変わります。(選択されたホッパがディスプレイに表示されます。オプションの増設ホッパを装着しているときに機能します。)

△ | メニューモード中は[↑]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。詳細については巻末の「メニューモード一覧表」をご覧ください。

印刷方向スイッチ



このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向 | 印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択します。

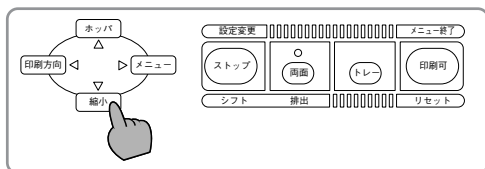
このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

◀ | メニューモード中は[←]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。詳細については巻末の「メニューモード一覧表」をご覧ください。

縮小スイッチ



このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小

縮小／拡大モードの設定を行います。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、次の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 → A3→A4 → A4×2 → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 → B5 → (繰り返し)

- LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。
- A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
- B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。



チェック

アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。



メニューモード中は[↓]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。詳細については巻末の「メニューモード一覧表」をご覧ください。



チェック

印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c₁c₂c₃)によってA3、B4または帳票サイズが指定されており、ホッパにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の『NPD(L Level 2)リファレンスマニュアル』をご覧ください。縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

シフトスイッチ



このスイッチは常に機能します。

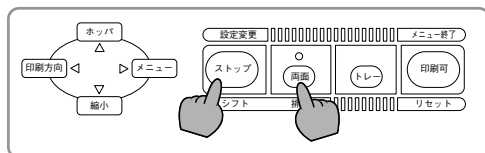


シフト

このスイッチが押されている間、2つのスイッチ(両面、印刷可)はそれぞれスイッチの下に表記された機能(排出、リセット)が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

排出スイッチ



このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。



排出

プリンタに残っている未印刷データをすべて印刷します。

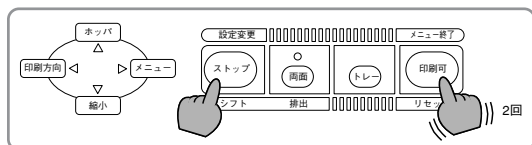
[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンタに残っているデータをすべて印刷出力します。



チェック

プリンタ内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンタは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

リセットスイッチ



このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。



リセット

プリンタを初期状態にします。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセット ジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンタは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。



チェック

リセットを行うと、スイッチを使って変更したプリンタの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンタの状態や操作に関する情報を表示します。

用紙送り方法を示す表示

ホッパ：ホッパ *1
トレー：フロントトレー

用紙サイズまたは縮小／拡大モードを示す表示

● 用紙サイズ

ホッパ： A3・A4・A5・B4・B5・LT *2

トレー： A3・A4タテ・A4ヨコ・A5・B4・B5・LT・
ハガキ・ハガキ×2・フウトウ

● 縮小／拡大モード

A4 → A3・B4 → A3・

B4 → A4・LP *3 → A4・A3 → A4・A4×2・B5 → A4・

LP → B4・A3 → B4・A4 → B4・B5 → B4・

A4 → B5・B4 → B5・B5×2

印刷方向を示す表示

ポート：ポートレート
ランド：ランドスケープ

トレー A4タテ ホ ー ト
フツウシ N P D L *4

用紙種類を示す表示 *5

フツウシ：普通紙
アツガミ：厚紙
OHP：OHP

動作エミュレーションを示す表示 *6

N P D L：N P D Lモード
E S C / P：E S C / Pエミュレーションモード
プロッタ：プロッタエミュレーションモード(オプション)

- *1 ホッパ 1：上から1段目のホッパ
- ホッパ 2：上から2段目のホッパ(オプション)
- ホッパ 3：上から3段目のホッパ(オプション)
- *2 LT = レターサイズであることを示しています。
- *3 LP = 帳票であることを示しています。

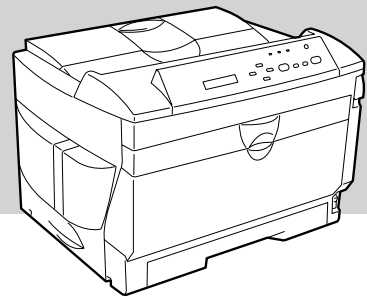
- *4 下段はセレクト状態(印刷可ランプ点灯)の時のみ表示されます。
- *5 トレーから用紙を送る時に表示されます。
- *6 双方向通信をしている時は表示されません。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については「アラーム表示が出ているときは」(196ページ)、巻末の「メニューモード一覧表」あるいは「ユーザーズマニュアル[3/3]」の「ディスプレイ表示一覧」(93ページ)をご覧ください。

4

用紙の取り扱い



用紙について

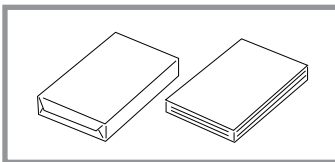
MultiWriter 2200Xで使用できる用紙は次のとおりです。なお、用紙の規格など詳しくは「ユーザーズマニュアル[3/3]」の「用紙の規格と印刷範囲」(47ページ)をご覧ください。



チェック

普通紙以外は両面印刷およびホッパからの給紙はできません。

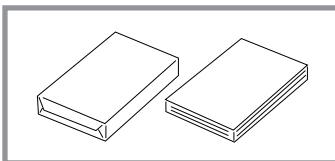
普通紙



「乾式PPC用紙」が最適です。連量55～70kgのものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

ホッパまたはトレーにセットすることができます。

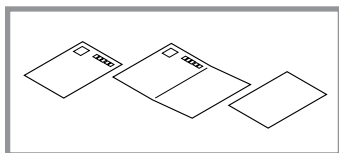
厚紙



「乾式PPC用紙」が最適です。連量70～110kgのものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

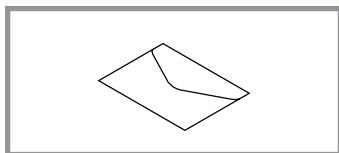
トレーにセットすることができます。

はがき



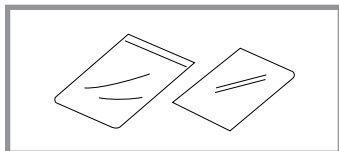
官製はがき、官製往復はがき、あるいは官製はがき、官製往復はがきと同等のものを使用してください。
トレーにセットすることができます。

封筒



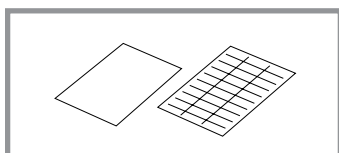
洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)の封筒を使用してください。
トレーにセットすることができます。

OHPフィルム



乾式PPC用で厚さ0.1mm±0.025mmで、表面処理されているものを使用してください。大きさはA4判が使えます。
トレーにセットすることができます。

ラベル紙



台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。大きさはA4判、B4判が使えます。
トレーにセットすることができます。



重要

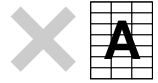
次のような用紙への印刷はおやめください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉(マイクロパウダ)が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、濡れている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- のりが付いている封筒
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙
台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
- すでに片面が印刷されている用紙

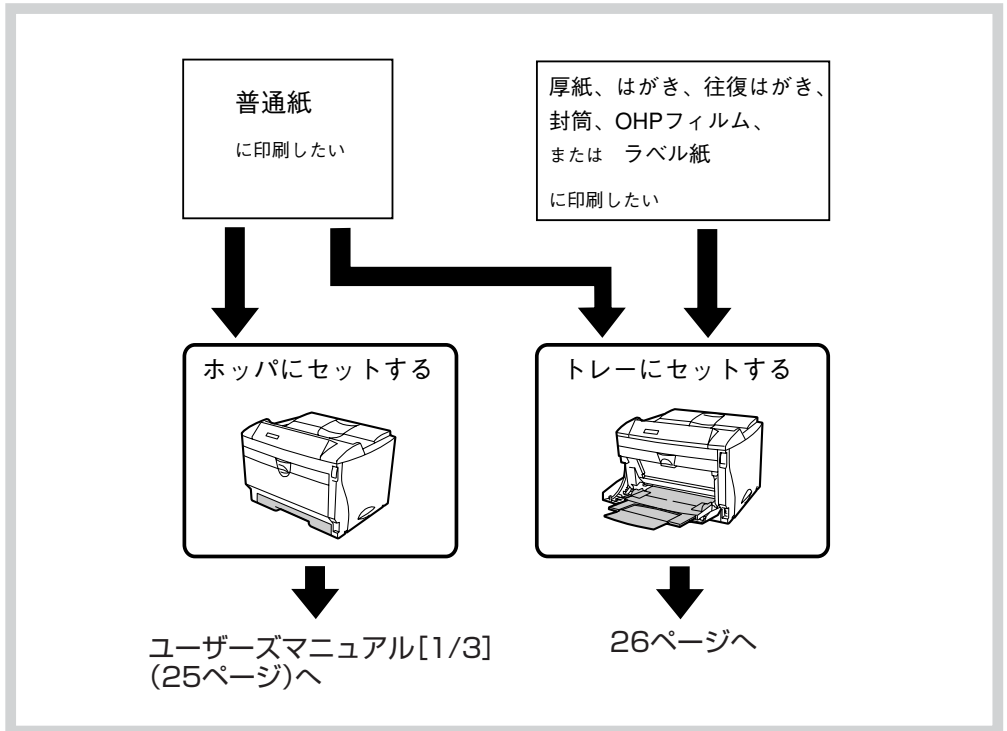


チェック

- 再生紙、ラベル紙の使用については、制限があります。お買い求めの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、封筒、OHPフィルムおよびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。
- OHPフィルム、ラベル紙をプリンタにセットするときは十分にさばいてから行ってください。

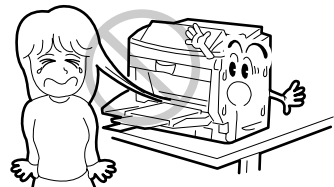


用紙のセット



注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをすることがあります。





トレーにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙をトレーにセットすることはできません。片面印刷した用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとする給紙できなかつたり、紙づまりになったりするばかりでなく、プリンタの故障の原因となる場合があります。

トレーには普通紙をはじめ、ホッパにセットできない厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、ラベル紙をセットすることができます。

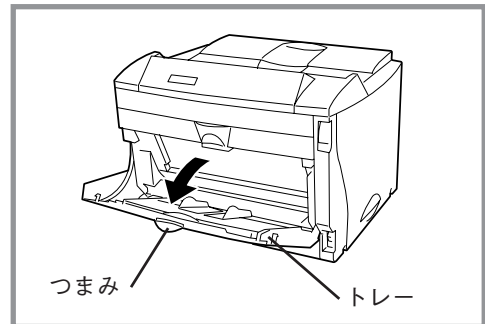
トレーの容量は連量55kgの普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベルは約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。

ここではトレーを使った用紙のセット方法を説明します。

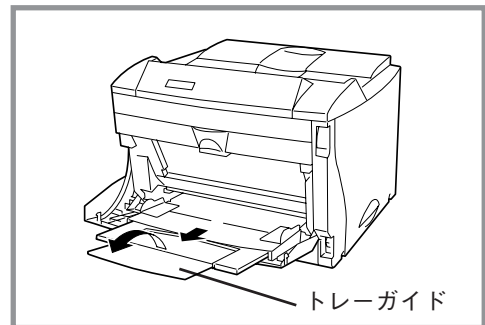
ホッパに用紙をセットする方法はユーザズマニュアル[1/3]の「用紙をセットする」(25ページ)をご覧ください。

1. トレーを開きます。

トレーのつまみを持ち、手前に引きます。

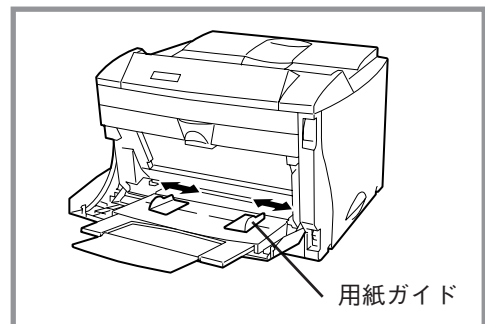


2. トレーガイドを伸ばし、さらに1段手前に開きます。



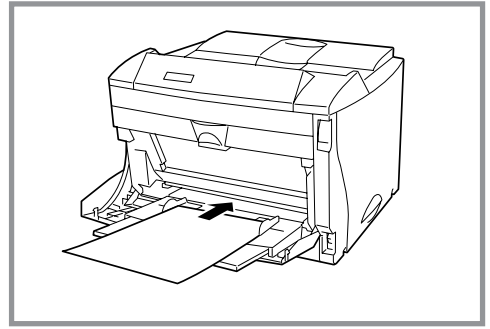
3. 印刷したい用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

右側の用紙ガイドを動かすと左側の用紙ガイドも一緒に動きます。



4. 印刷したい面を下にして、用紙を用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入します。

A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。A4サイズは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットすることができます。

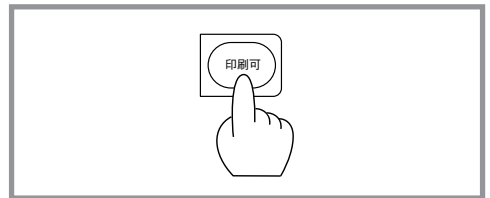


チェック

封筒をセットする場合は、あらかじめ、フラップ(封筒の折り返し部分)を折り込んだ状態でセットしてください。折り込まない状態でセットすると、用紙サイズエラーになるおそれがあります。

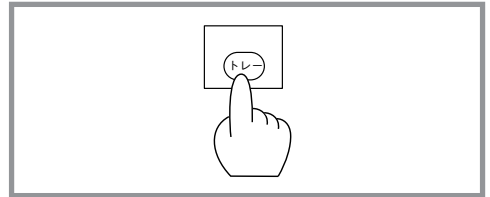
5. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にします。

印刷可ランプが消灯します。



6. [トレイ]スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択します。

トレイが選択され、ディスプレイには“トレイ”と表示されます。

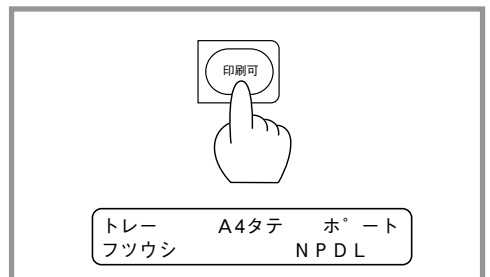


チェック

- トレーの場合は、自動的に用紙サイズを検出しないので、[トレイ]スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレーにセットする用紙がOHPフィルムや厚紙の場合は、巻末のメニューモード一覧表を参照して、メニューモードの「トレイヨウシシュベツ」項目で用紙種別の設定を行ってください。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向をまちがえて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンタ内部のローラを汚す原因となります。ローラが汚れてしまったときは、テスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

7. [印刷可]スイッチを押してセレクト状態にします。

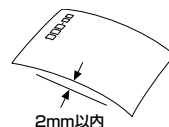
印刷可ランプが点灯し、ディスプレイの下端に用紙種類と動作エミュレーションが表示されます。



はがき、往復はがきをセットするときの注意

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンタが故障するおそれがあります。

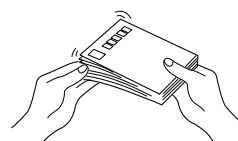
- はがきは反りのないものを使用してください。反りがある場合は、反りの幅が2mm以内になるように直してください。



- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンタでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンタ内部のローラの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。

このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面を乾いた布などで粉を軽く払ってください。

- 繰り返しはがきを重ね送りする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。



- 印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

封筒をセットするときの注意

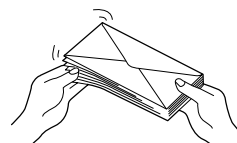
フラップ(封筒の折り返し部分)面は印刷を行わないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンタが故障するおそれがあります。

- トレーにセットできる封筒は、洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)をご使用ください。

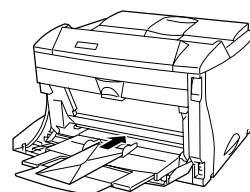
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。



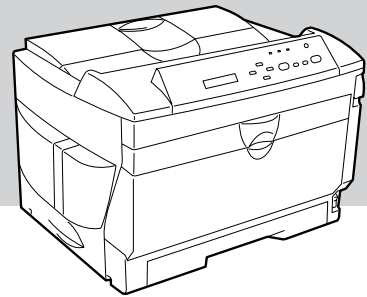
- 封筒の両端を持って、充分さばいてからセットしてください。



- 印刷する面を下にして、封筒を用紙ガイドに沿って奥に突き当たるまで挿入してください。



5 印刷の設定 (Windows 95)



Windows 95から印刷する

印刷の設定はアプリケーション側から行うのが一般的ですが、デスクトップ上からも行うことができます。

ここでは、Windows 95に付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。

お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれませんが、詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. 使用する「プリンタ名：」として「NEC MultiWriter 2200X」が選択されていることを確認します。

もし選択されていない場合は選択しなおします。

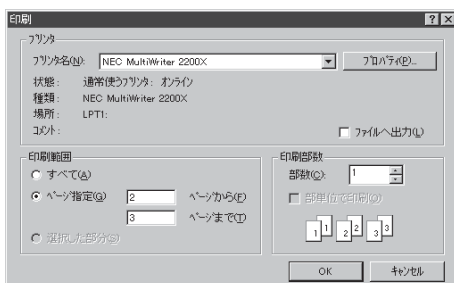
→「プリンタを選択する」(31ページ)参照



3. 印刷範囲、部数を指定します。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]ボタンをクリックし、設定変更します。

→「プリンタドライバから設定する」(49ページ)参照

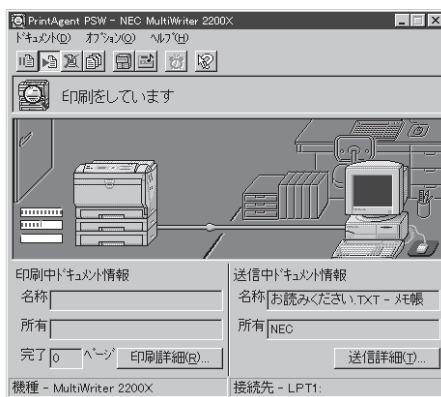


4. 印刷の設定が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

印刷が開始されると画面上にこのような「プリンタステータスウィンドウ」が現れます。



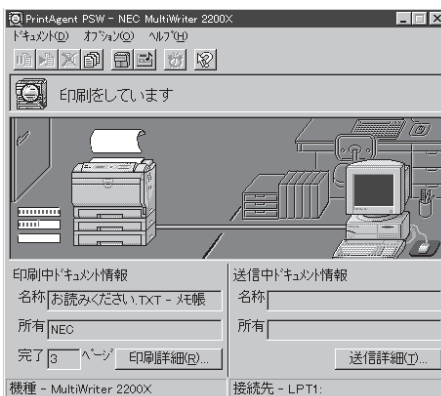
印刷を行っているときは、用紙カセットを引き抜かないでください。紙づまりが発生するだけでなく、プリンタの故障の原因となる場合があります。



プリンタステータスウィンドウは印刷の状態をアニメーション表示したり、一時中断や中止を指令することができます。

→「プリンタステータスウィンドウ」(116ページ)参照

印刷が終了するとプリンタステータスウィンドウは「印刷を終了しました」の音声メッセージを通知してウィンドウを閉じます。



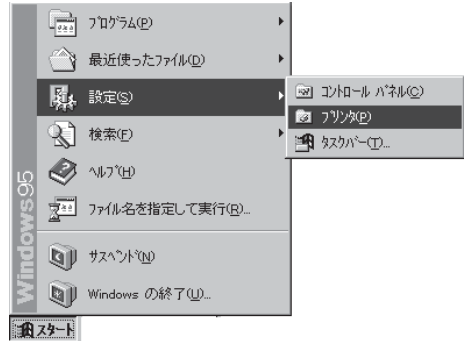
プリンタを選択する

Windows 95から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。



お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [スタート]ボタンをクリックし、「設定」をポイントします。次に「プリンタ」をクリックします。



2. 「NEC MultiWriter 2200X」アイコンを右ボタンでクリックします。

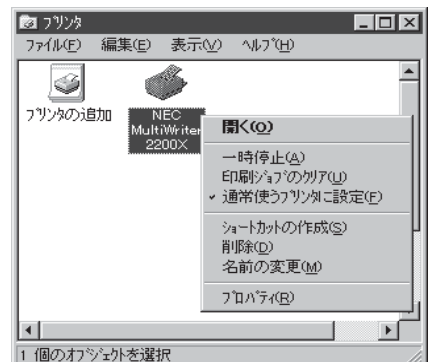
メニューが表示されます。

プリンタドライバがインストールされていないと「NEC MultiWriter 2200X」は表示されません。インストール済みのプリンタドライバは「プリンタ」ウィンドウ内にアイコンで表示されています。



3. メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックします。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。またこの設定は他のプリンタを選択しないかぎり変更されません。



印刷の詳細設定を行う

印刷の設定を行う方法として、Windows 95ではリモートパネルから行う方法とプリンタドライバから行う方法があります。これら2つの方法の違いは次のとおりです。

● リモートパネルから設定する

リモートパネルで設定した内容は、プリンタ内部の不揮発性メモリに書き込まれます。したがって、設定した内容は印刷した後も継続され、プリンタの初期化または設定の変更を行うまで保持されます。設定した内容は電源をOFFにしても変わりません。

● プリンタドライバから設定する

プリンタドライバで設定した内容は、現在印刷しているデータのみ有効です。印刷が終了すると、設定した内容はクリアされ変更前の設定に戻ります。

リモートパネル、プリンタドライバともPrintAgentにより、プリンタの状態や設定されている内容を確認しながらプリンタの設定ができます。

ただし、PrintAgentには、以下に示す注意事項があります。

PrintAgentを動作させる前に、注意事項をご確認ください。

PrintAgentに関する注意事項

PrintAgentを動作させる前に

- PrintAgentはローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバ、クライアント両者にインストールされている必要があります(詳細についてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください)。
- Windows 95の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで「双方向通信機能」をサポートするように設定しておく必要があります。(54ページ参照)
- ネットワーク共有プリンタが直接つながっているコンピュータのOSがWindows NT4.0の場合のプリンタスプールはサポートしていません。サーバコンピュータのプリンタスプールを無効にするにはサーバコンピュータ上ですべてのプリンタの「プリンタのプロパティ」-「ポート」タブの「プリンタスプールを有効にする」のチェックを外してください。「プリンタスプールを有効にする」をチェックした場合、プリンタの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentをクライアント・サーバシステムでご使用の場合、1台のサーバに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンタの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は「PrintAgentのプロパティ」の設定の「共有プリンタを利用する」のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentに関する注意事項(つづき)

PrintAgentの動作中は

- PrintAgentは定期的にプリンタの状態を確認しています。PrintAgentが起動した状態で、プリンタの電源をON/OFFしたり、プリンタケーブルの抜き差しは行わないでください。誤印字などの原因となります。
- 一つのコンピュータに複数のNMPS対応プリンタドライバがインストールされている場合、リモートパネルを表示させるときダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- プリンタのメモリスイッチ5-1(同期コードの有効/無効の切り替え)がONになっているとPrintAgentが正しく機能しない場合があります。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- Windows 95とPC-PTOSで同一プリンタを共有している場合はPrintAgentが正常に機能しません。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- PrintAgentとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティ(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
- 一部コンピュータの平行ポートの設定(例：ECPモードなど)によっては、PrintAgentの動作に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、平行ポートの設定を変更していただくことにより、PrintAgentが正常に動作できるようになる場合があります。

赤外線通信(IrDA)オプションをご使用の場合は

赤外線通信(IrDA準拠)オプションでPrintAgent対応プリンタを接続している場合は、PrintAgentはご利用になれません。この場合、このプリンタについては、プリンタドライバのプロパティの「詳細」-「スプールの設定」で「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」をチェックして再起動してください。

リモートパネルから設定する

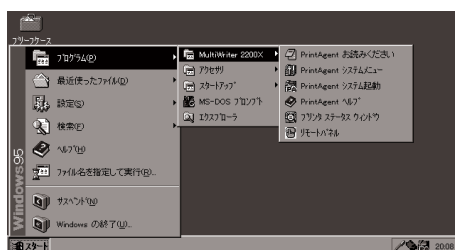
Windows用リモートパネルは、プリンタの操作パネルから行える各種設定を、Windowsの画面上で行えるようにしたソフトウェアです。

リモートパネルの起動

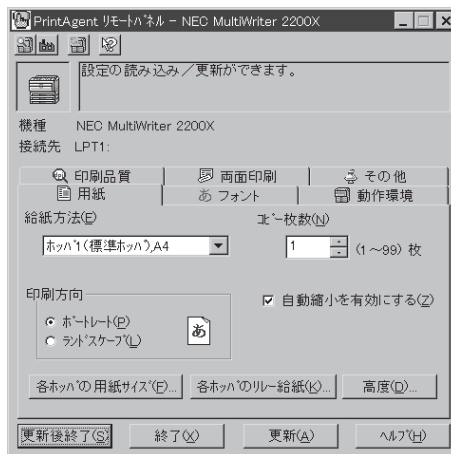
リモートパネルは次の2通りの起動方法があります。

[スタート]ボタンから起動させる

[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]-[MultiWriter 2200X]をポイントします。次にリモートパネルをクリックします。



このようなリモートパネル画面が現れます。



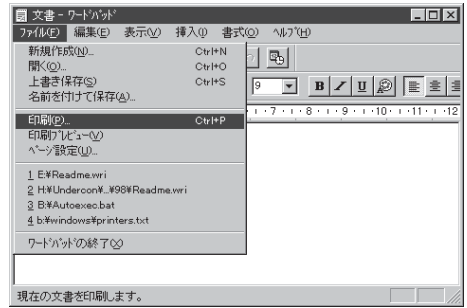
プリンタのプロパティから起動させる

プリンタのプロパティは印刷に関する詳細な設定を行うことができる11枚のプロパティシートから構成されているダイアログボックスです。

プリンタのプロパティの詳細については「プリンタドライバから設定する」(49ページ)をご覧ください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスが開きます。



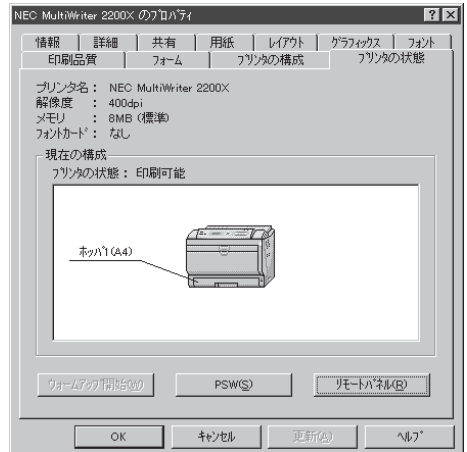
2. [プロパティ] ボタンをクリックします。

プリンタのプロパティが開きます。



3. [プリンタの状態] タブをクリックし、
[プリンタの状態] シートを開き、
[リモートパネル] ボタンをクリックします。

[スタート] ボタンから起動させたときと同じリモートパネル画面が現れます。



リモートパネルの使い方

リモートパネルで共通に使うボタン類の機能について説明します。



プリンタの設定内容を読み込みます。



設定値を工場出荷時の設定に戻します。



対象とするプリンタを変更します。クリックすると「プリンタの選択」ダイアログボックスが表示されます。



ポインタでウィンドウ内の各部分をクリックすると対応する説明が表示されます。

イメージアイコン

プリンタの構成、状態に合わせてイメージが変化します。

プリンタに付けられた名前を表示します。

プリンタの機種名と接続されているポート名またはネットワークパス名です。

ラジオボタン

希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。一度に選択できる項目は1つだけです。

チェックボックス

希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が“ON”状態です。一度に複数の項目が選択できます。

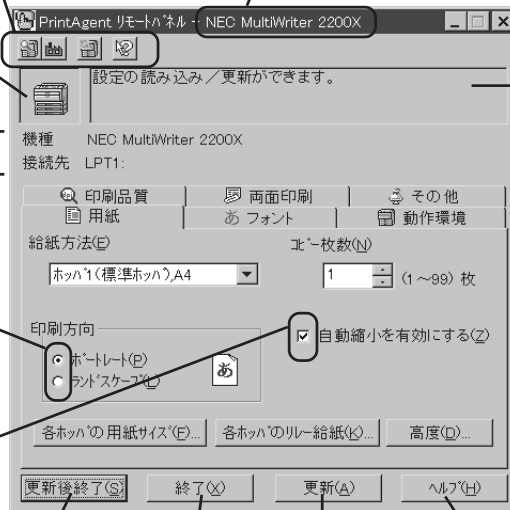
[更新後終了] ボタン
変更した内容を設定してリモートパネルを閉じます。

[終了] ボタン
変更した内容を設定せずリモートパネルを閉じます。

[更新] ボタン
変更した内容を設定します。

[ヘルプ] ボタン
リモートパネルのヘルプ画面が表示されます。

プロパティシート
設定を行うスイッチ類を集めたシートです。シートの切り替えは上部のタブを選択します。



メッセージを表示します。

設定項目

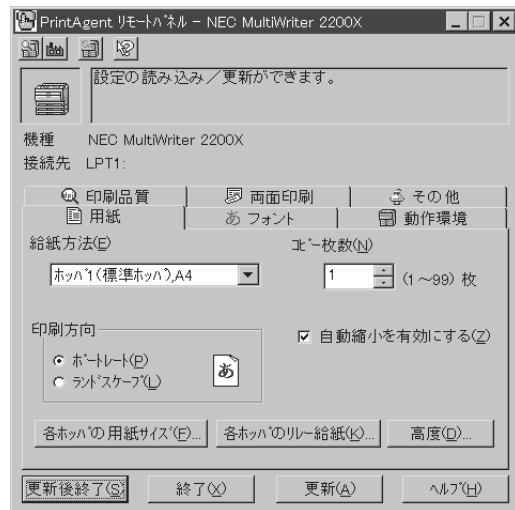


チェック

リモートパネルはお使いになる状況やコンピュータの設定により、利用できる範囲が限定される場合があります。詳しくはPrintAgentの「ヘルプ」で「リモートパネルのセキュリティ」の項をご覧ください。

「用紙」シート

このシートは印刷する用紙に関する設定を行うものです。



「給紙方法」

使用するホッパをリストボックスから選択します。リストボックスには使用できる給紙方法が表示されます。プリンタとコンピュータで双方向通信が行われていると、ホッパにセットされている用紙サイズも表示します。

「印刷方向」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で印刷するかを設定します。

「コピー枚数」

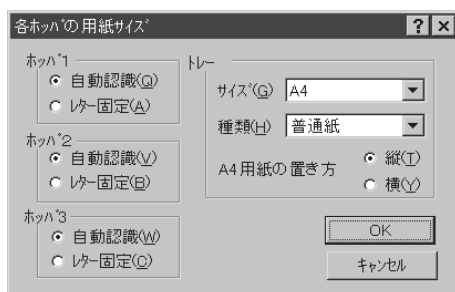
コピー枚数を指定することができます。1~99枚まで設定可能です。

「自動縮小を有効にする」

指定用紙サイズがなかった場合自動縮小して印刷するかどうかを選択します。

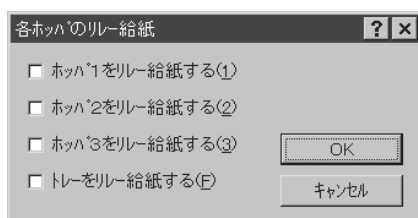
[各ホッパの用紙サイズ]ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。表示されている給紙可能なホッパにおいて、ホッパごとに用紙サイズを自動認識させるかレター固定にするかを設定します。トレイは用紙サイズ(A5、A4縦置き、A4横置き、A3、B5、B4、レター、はがき、往復はがき、封筒)、用紙の種類(普通紙、厚紙、OHP)を選択できます。



[各ホッパのリレー給紙]ボタン

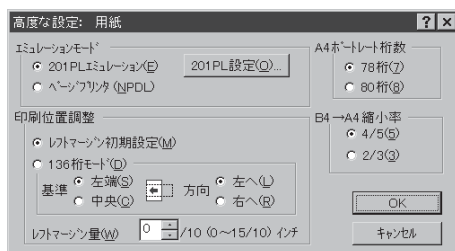
クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。各ホッパおよびトレイに対してリレー給紙機能を使用するかどうかを設定します。



[高度]ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。印刷位置の調整、エミュレーションモードの選択など、用紙に印刷するときの詳細な設定が行えます。

[201PL設定]ボタンをクリックすれば201PLエミュレーションモードに関する設定が行えます。

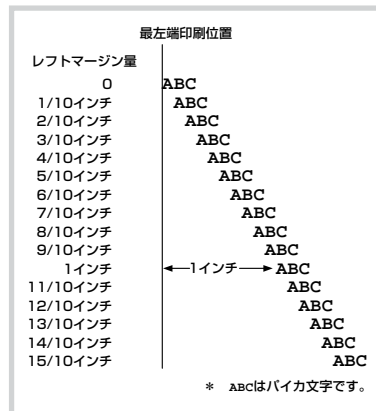


印刷位置調整

第一印刷位置を「レフトマージン初期設定」が「136桁モード」によって設定します。

● レフトマージン初期設定

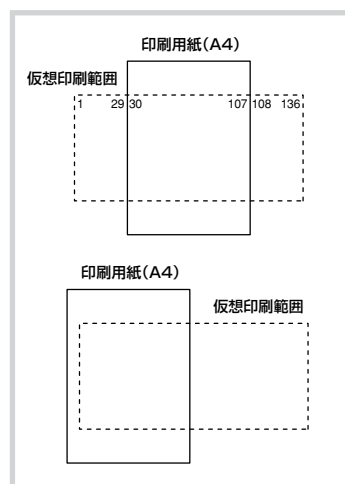
選択すると最左端印刷位置を基準にしてレフトマージンを1/10インチ単位で設定できます。レフトマージン量は次項目の「**レフトマージン量**」のスピンのボックスで設定します。



● 136桁モード

用紙は左端合わせにするか中央合わせにするか、位置調整の方向を右方向にするか左方向にするかを切り替えます。位置調整量は次項目の「**位置微調整量**」のスピンのボックスで設定します。

- ◇ 用紙位置中央合わせでは、A4サイズ of 用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
- ◇ 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。



レフトマージン量／位置微調整量

レフトマージン量または136桁モード時の位置調整量を1/10インチ単位で設定します。設定範囲は0/10～15/10インチです。

A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

B4→A4縮小率

B4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか4/5にするかを切り替えます。

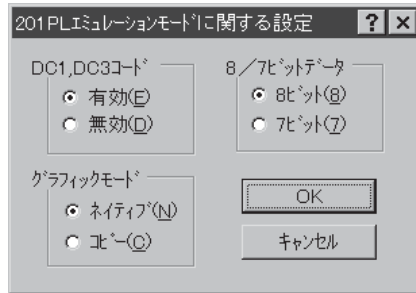
エミュレーションモード

201PLエミュレーションかページプリンタかを切り替えます。

[201PL設定]ボタンをクリックすると201PLエミュレーションに関する詳細な設定が行えます。

[201PL設定]ボタン

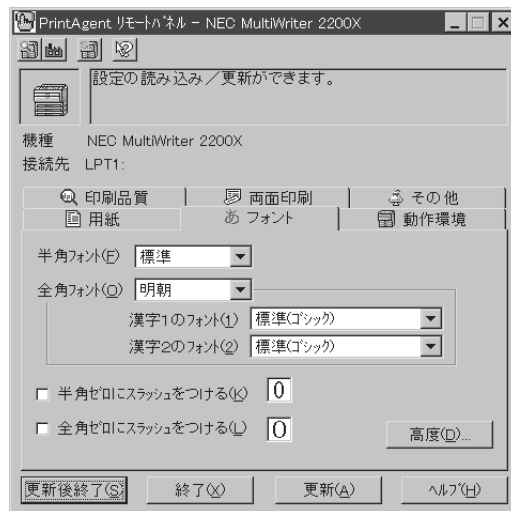
クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。



- DC1, DC3コード
DC1, DC3コード(セレクト/ディセレクトの設定)を有効にするか無効にするかを切り替えます。
- グラフィックモード
グラフィックモード(ドット列印刷)時に横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
- 8/7ビットモード
インタフェースのデータが8ビット有効か7ビット有効かを切り替えます。

[フォント]シート

このシートはフォントに関する設定を行うものです。



「半角フォント」

リストボックスの中から半角文字(1バイト系のアルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。

「全角フォント」

リストボックスの中から全角文字(2バイト系文字)のフォントを選択します。漢字アウトラインフォントカードのフォントを選択したいときは「漢字1」または「漢字2」を選択します。

- 漢字1のフォント
漢字1のフォントをリストボックスに表示された漢字アウトラインフォントカードのフォントから選択できます。カードが未装着の場合ゴシック体のみ選択できます。
- 漢字2のフォント
漢字2のフォントをリストボックスに表示された漢字アウトラインフォントカードのフォントから選択できます。カードが未装着の場合ゴシック体のみ選択できます。

「半角ゼロにスラッシュをつける」

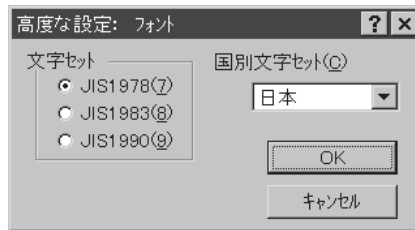
半角の数字ゼロに使う字体を「0」が「Ø」に切り替えます。

「全角ゼロにスラッシュをつける」

全角の数字ゼロに使う字体を「0」が「Ø」に切り替えます。

「高度」ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。文字セット、国別文字セットに関して設定します。



文字セット

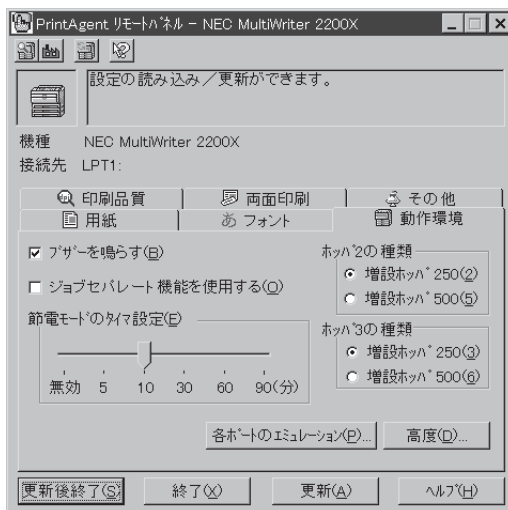
全角(2バイト系の文字)の文字セットを選択します。

国別文字セット

各国文字セットを選択します。

[動作環境]シート

このシートは動作環境に関する設定を行うものです。



「フザーを鳴らす」

印刷可状態、エラー発生時にフザーを鳴らすかどうかを切り替えます。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能については10章の「ジョブセパレート機能」(134ページ)をご覧ください。

「節電モードのタイマ設定」

節電モードに入るまでの時間を設定します。



チェック

節電モードとは、プリンタの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を30W以下の状態に節約できる機能です。
節電モードを使用しているときは、プリンタは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります(最大で約95秒)。この場合、印刷が始まるまでに通常より時間がかかることがあります。

「ホッパ2の種類」

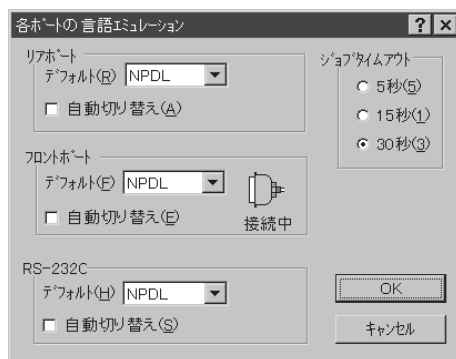
増設ホッパ(250)または増設ホッパ(500)のどちらがホッパ2に装着されているかをプリンタに認識させます。

「ホッパ3の種類」

増設ホッパ(250)または増設ホッパ(500)のどちらがホッパ3に装着されているかをプリンタに認識させます。

[各ポートのエミュレーション]ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。フロント、リアの各ポートに関してエミュレーションの設定ができます。「RS-232C」はプロッタエミュレーションボード(オプション)を装着したときのみ設定できます。



リアポート、フロントポート、RS-232C

各ポートの動作エミュレーションを指定します。リストボックスには次の項目が表示されます。

- NPDL
- ESC/P
- HPGL*

* プロッタエミュレーションボード(オプション)を装着したときのみ表示されます。

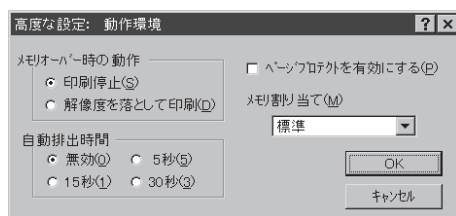
また、自動切り替えチェックボックスをONにすると送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。

ジョブタイムアウト

自動切り替えのタイムアウト時間を指定します。

[高度]ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。メモリの使用方法、自動排出時間などを設定します。



メモリオーバー時の動作

「ページプロテクト」をOFFに設定しているとき、メモリオーバーが起きた場合の動作を指定します。

印刷停止を選択した場合、一時的に印刷を停止し、「メモリオーバー」あるいは「インサツフカ」のアラームを表示します。その場合、[印刷可]スイッチを押すことにより解像度を落として印刷を再開することができます。解像度を落として印刷を選択した場合、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

自動排出時間

自動排出の有効/無効、および設定時間を指定します。

データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合、設定時間を選択することをお勧めします。

ページプロテクトを有効にする

プリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定します。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮され、分割されてメモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなり、メモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかしデータが非常に複雑な場合や両面印刷設定の場合、プリンタは操作パネルに「メモリオーバー」あるいは「インサツフカ」を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データは圧縮処理されない状態で、分割されてメモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。

ただし、メモリ増設サイズによっては、両面印刷ができない用紙サイズが存在します。



チェック

ページプロテクトをONにするためには8MB以上のメモリを増設する必要があります。また、両面印刷をすべての用紙サイズで実行できるようにするためには、16MB以上のメモリを増設する事をお勧めします。詳細については「両面印刷機能」(138ページ)をご覧ください。

メモリ割り当て

印刷する場合に「ページプロテクト」で印刷データのために割り当てられた容量を除く残りのメモリをどのように利用するかを指定します。

8MB以上のメモリを増設した場合は、「標準」以外を選択することができます。

- **標準**

通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリを最適に割り当てます。通常はこの設定のままお使いください。

- **受信バッファ優先**

印刷データをプリンタ内部に蓄えるために使用されるメモリ(受信バッファ)に優先してメモリを割り当てます。これにより、コンピュータが印刷のために行う処理を少なくすることができます。



チェック

「受信バッファ優先」に設定した場合、ネットワーク用プリンタユーティリティ使用時に表示される「メモリサイズ」の各々の項には実装されているメモリ容量よりも少ない値が表示されます。NPDLのステータス印刷では正しい値が表示されます。

- **文字キャッシュ優先**

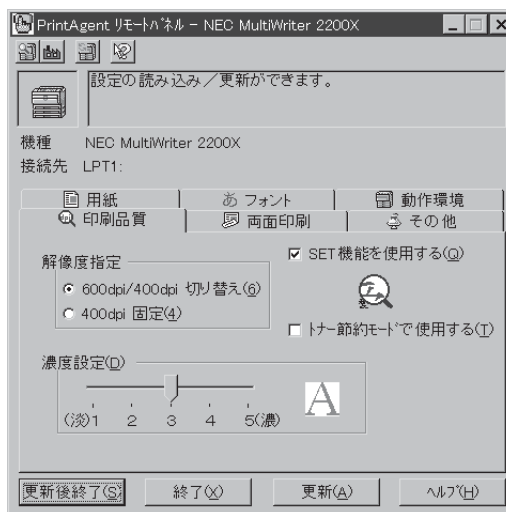
印刷データ中の文字データを認識するために使用されるメモリ(文字キャッシュ)に優先してメモリを割り当てます。文字データの多いもの(テキストデータなど)を印刷するときこの設定を指定しておくと、処理能力が向上します。

- **フォーム登録優先**

フォーム登録のために使用されるメモリに優先してメモリを割り当てます。定型の印刷データを使う場合はこの設定に指定しておくと、多量の印刷データを取り扱うことができます。フォーム登録についての詳細は、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」を参照してください。

[印刷品質]シート

このシートは印刷品質に関する設定を行うものです。



「解像度指定」

プリンタの解像度を指定します。

「濃度設定」

印刷濃度の設定を行います。

「SET機能を使用する」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約モードで使用する」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



チェック

トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、2200Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「両面印刷」シート

このシートは両面印刷に関する設定を行うものです。両面印刷の詳細については10章の「両面印刷機能」(138ページ)をご覧ください。



チェック

「用紙」シートの「用紙サイズ」で「はがき」、「往復はがき」、「封筒」が選択されている場合や、「用紙種類」で「厚紙」、「OHP」が選択されている場合には、両面印刷はできません。



「両面印刷する」

両面印刷を行う場合に指定します。

とじしろ

用紙の両面に印刷した文書を本のようにとじるときに、そのとじかたを選択します。用紙のとじ方には、用紙の長い辺でまとめてとじる「**長辺とじ(長い辺)**」と、用紙の短い辺でとじる「**短辺とじ(短い辺)**」の二種類があります。また、それぞれのとじ方の中でも用紙のどの辺(上下または左右の辺)をとじるかを選択することができます。

- 「印刷の向き」が「縦(ポートレート)」のとき



長辺とじ1



長辺とじ2

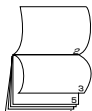


短辺とじ1



短辺とじ2

- 「印刷の向き」が「横(ランドスケープ)」のとき



長辺とじ1



長辺とじ2



短辺とじ1

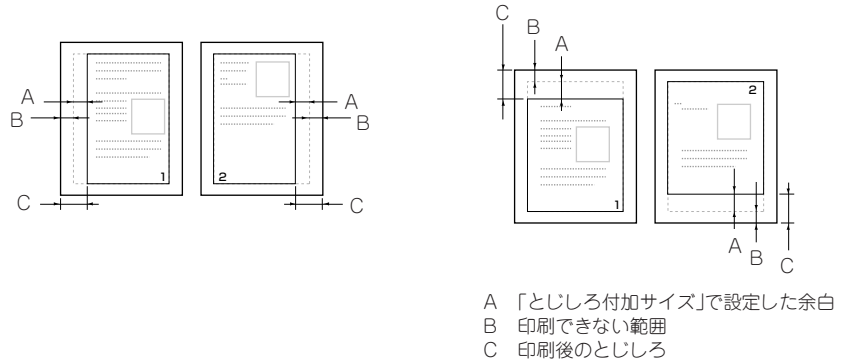


短辺とじ2

とじしろ付加サイズ

印刷した用紙に穴を開けてファイルにとじたいときなど、穴を開ける余白(とじしろ)の幅を設定することができます。0ミリから20ミリまで1ミリ単位で余白の設定ができます。

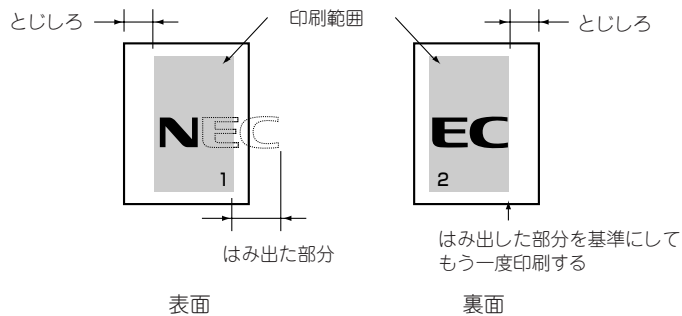
プリンタには、用紙の上下左右に数ミリほど印刷できない部分があります。「とじしろ付加サイズ」で設定した値にこの印刷できない部分の幅を加えた余白がとじしろになるため、実際に印刷されたとじしろと「とじしろ付加サイズ」で設定した値は異なります(印刷できない部分についてはユーザーズマニュアル[3/3]をご覧ください)。



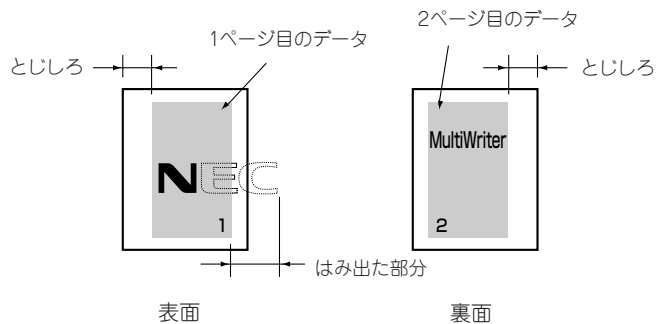
「クリップ機能を使用する」

余白(とじしろ)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次のページに印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのページを印刷するかを選択します。

「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次のページに引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1ページずつずれることとなります(アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります)。

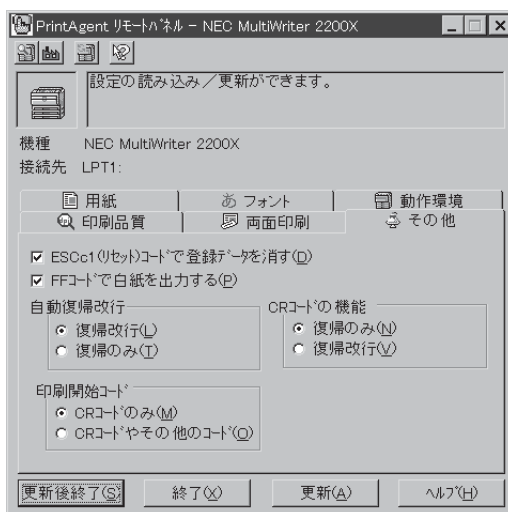


「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。



[その他]シート

このシートはその他制御コードに関する設定を行うものです。



「ESC c1(リセット)コードで登録データを消す」

ESC c1コード(ソフトウェアリセット)で登録データの初期化をするかどうかを切り替えます。OFFにするとESC c8コード(パラメータリセット)と同じ機能になります。リセットされる内容についてはユーザーズマニュアル[3/3]の「NPDLの初期状態」(54ページ)をご覧ください。

「FFコードで白紙を出力する」

FFコード(改ページ指令)のみで白紙を出力するかどうかを切り替えます。OFFにするとESC a、ESC bコード(未印刷データ排出)と同じ機能になります。

「自動復帰改行」

バッファフル印刷を行うとき、復帰のみにするか復帰改行をさせるかを切り替えます。この設定はメモリスイッチ5-1がOFFのとき(同期コード無効)のみ有効です。

「印刷開始コード」

印刷をCRコード(印刷位置の復帰)のみで開始するか、CRを含んだその他のコード(LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b)で開始させるかを切り替えます。

「CRコードの機能」

CRコード(印刷位置の復帰)を受信したとき復帰のみをさせるか、復帰改行動作をさせるかを切り替えます。

プリンタドライバから設定する

プリンタドライバから設定する場合、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで印刷の詳細設定を行います。

「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは以下のような11枚のプロパティシートから構成されています。

- 「情報」シート
- 「詳細」シート
- 「共有」シート
- 「用紙」シート
- 「レイアウト」シート
- 「グラフィックス」シート
- 「フォント」シート
- 「印刷品質」シート
- 「フォーム」シート
- 「プリンタの構成」シート
- 「プリンタの状態」シート

プロパティダイアログボックスの開き方

「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- デスクトップ上の[スタート]ボタンを使って呼び出す方法



チェック

一般的に「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは各アプリケーションのメニューから呼び出してから開けます。ただし、アプリケーションから呼び出した場合、用紙の設定などすべて表示できないことがあります。また設定はそのアプリケーションでのみ有効です。これに対して[スタート]ボタンから呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

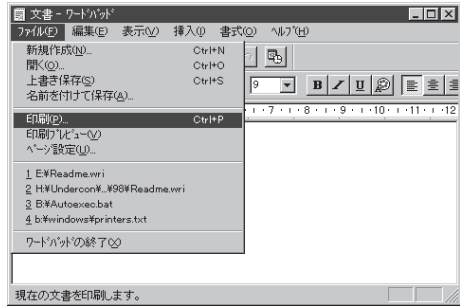
アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「プロパティ」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドが「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドは「ファイル」メニューの中にあります。この「ファイル」メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここでは「プロパティ」ダイアログボックスを呼び出す手順をWindows 95に付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって説明します。

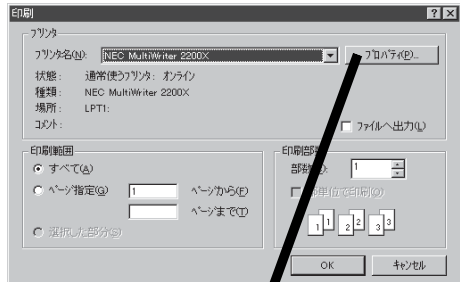
1. 「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスが開きます。



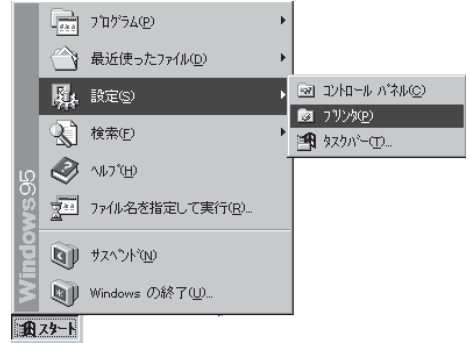
2. [プロパティ] ボタンをクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



[スタート]ボタンを使って呼び出す

1. [スタート]ボタンをクリックし、「設定」をポイントします。次に「プリンタ」をクリックします。



2. 「NEC MultiWriter 2200X」アイコンを右クリックします。

プリンタのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

3. メニューの「プロパティ」をクリックします。



次のような「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの使い方

ラジオボタン
希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。一度に選択できる項目は1つだけです。

スライダー
直接スライドさせることにより設定量を調整します。

チェックボックス
希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が“ON”状態です。一度に複数の項目が選択できます。

[ヘルプ] ボタン
クリックし目的の項目をクリックすると項目の説明を表示できます。または画面上の項目を直接右ボタンでクリックしても同じ説明を表示できます。

[閉じる] ボタン
ダイアログボックスを閉じます。

リストボックス
▼ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

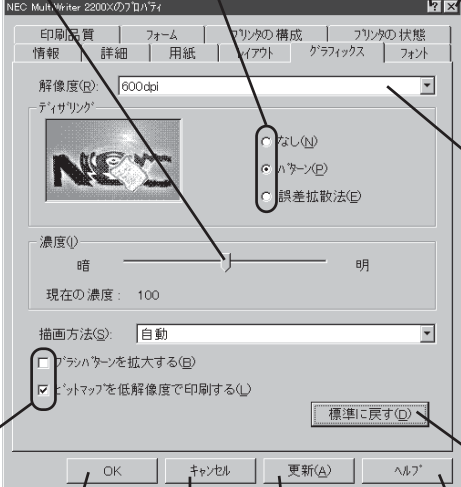
[標準に戻す] ボタン
現在開いているプロパティシート上の設定を出荷時の設定に戻します。

[更新] ボタン
変更した設定を保存します。

[ヘルプ] ボタン
プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

[OK] ボタン
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル] ボタン
設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。



The image shows a screenshot of the 'NEC Multi-Writer 2200'sのプリンタドライバ' (NEC Multi-Writer 2200's Printer Driver) dialog box. The dialog has a title bar with the text 'NEC Multi-Writer 2200'sのプリンタドライバ' and standard window controls. Below the title bar is a menu bar with '印刷位置', 'フォーム', 'プリンタの構成', and 'プリンタの状態'. Underneath is a sub-menu bar with '情報', '詳細', '用紙', 'レイアウト', 'グラフィックス', and 'フォント'. The main area contains several controls: a resolution dropdown set to '600dpi', a 'ディスプレイ' section with a preview image and three radio buttons ('なし(N)', 'ハーフ(H)', '誤差拡散法(D)'), a '濃度(L)' slider set to '100', a '描画方法(S)' dropdown set to '自動', and two checkboxes: 'グラフィックを拡大する(E)' (unchecked) and 'ビットマップを低解像度で印刷する(L)' (checked). At the bottom right is a '標準に戻す(R)' button. At the bottom are four buttons: 'OK', 'キャンセル', '更新(A)', and 'ヘルプ'.

設定の詳細



各プロパティシートそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。

[情報]シート

このプロパティシートはWindows 95(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありませんが、詳しくはWindows 95(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[詳細]シート

このプロパティシートはWindows 95(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。

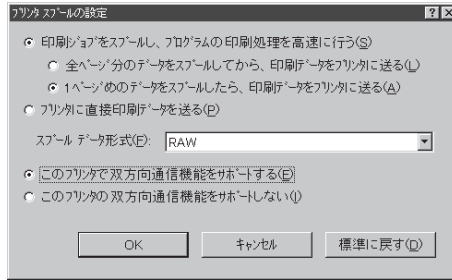
通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありませんが、詳しくはWindows 95(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[スプールの設定] ボタン
「プリンタスプールの設定」ダイアログを表示させます。

[スプールの設定]ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。

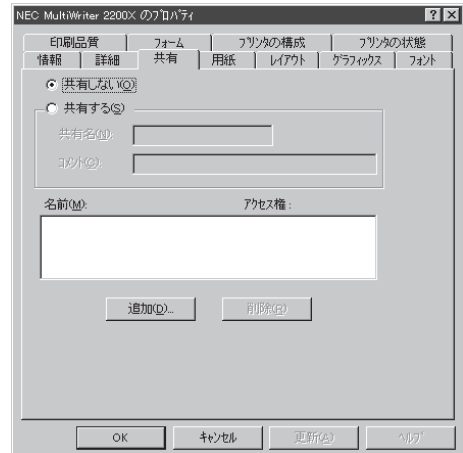


PrintAgentを使用する場合は、「プリンタスプールの設定」ダイアログボックスで「このプリンタで双方向通信をサポートする」が選択されている必要があります。

[共有]シート

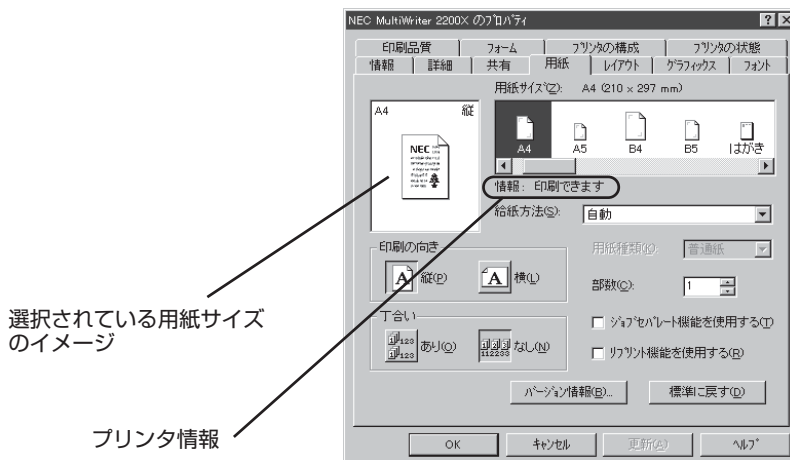
このプロパティシートはWindows 95(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のもので、

このプロパティシートはWindows 95対応のプリンタをネットワークで使用しているときのみ表示されます。プリンタを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows 95(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[用紙]シート

このプロパティシートは印刷する用紙に関する設定を行うものです。



「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。リストボックス内の用紙アイコンをクリックして選択します。



チェック

アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定します。枠内の用紙アイコンをクリックして選択します。

「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。ジョブセパレート機能と組み合わせることで、ソータ機能を実現することができます。

[プリンタスプールの設定]で[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を設定していないと使用できません。



チェック

アプリケーションの印刷機能で丁合いの指定ができる場合がありますが、アプリケーション独自の機能で実現するため、この「用紙」シートの設定とは連動しません。

丁合いを利用する場合は、アプリケーションとこの「用紙」シートのどちらか一方のみ指定してください。

この「用紙」シートで設定した場合は、NMPSの機能を利用するため、アプリケーションの処理が各ページにつき1回で済むため、アプリケーションは早く解放されます。

「給紙方法」

給紙先ホッパをリストボックスから選択します。リストボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておく、選択されている用紙サイズがセットされているホッパまたはトレーから自動的に給紙されます。

「用紙種類」

「給紙方法」が「トレー」のときのみ、用紙の種類を「普通紙」、「厚紙」、「OHP」の3種類から選択できます。「トレー」以外のときは「普通紙」のみとなり、選択することができません。

「部数」

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます。1~99枚まで設定可能です。



チェック

アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能については10章の「ジョブセパレート機能」(134ページ)をご覧ください。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。リプリント機能については10章の「リプリント機能」(131ページ)をご覧ください。

[バージョン情報]ボタン

クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

[標準に戻す]ボタン

クリックすると「用紙」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[レイアウト]シート

このプロパティシートは両面印刷機能に関する設定を行うものです。両面印刷の詳細については10章の「両面印刷機能」(138ページ)をご覧ください。



チェック

[用紙]シートの[用紙サイズ]で「はがき」、「往復はがき」、「封筒」が選択されている場合や、[用紙種類]で「厚紙」、「OHP」が選択されている場合には、両面印刷はできません。



「両面印刷」

片面印刷と両面印刷の切り替えを設定します。

「綴じ方向」

用紙の綴じ方を設定します。

- **長辺綴じA** 「印刷の向き」が「縦」の場合は長い辺の左側を綴じ、「横」の場合は長い辺の上側を綴じます。
- **長辺綴じB** 「印刷の向き」が「縦」の場合は長い辺の右側を綴じ、「横」の場合は長い辺の下側を綴じます。
- **短辺綴じA** 「印刷の向き」が「縦」の場合は短い辺の上側を綴じ、「横」の場合は短い辺の右側を綴じます。
- **短辺綴じB** 「印刷の向き」が「縦」の場合は短い辺の下側を綴じ、「横」の場合は短い辺の左側を綴じます。

詳しくは46ページの「とじしろ」をご覧ください。

「綴じしろ」

綴じしろを設定します。0～20mmまで設定できます。詳しくは47ページの「とじしろ付加サイズ」をご覧ください。

「印刷開始ページ」

最初のページを両面印刷するかどうかを設定します。「表面」を選択すると最初のページから両面印刷します。「裏面」を選択すると最初のページの裏面から印刷します。

「標準に戻す」ボタン

クリックすると「レイアウト」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンタの処理の設定を行うものです。



「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、240dpiから選択できます。

「ディザリング」

グレイスケールイメージのデータをプリンタで処理できるように変換する設定です。



アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。

- **なし** グラフィックスのグレイを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。
- **パターン** グレイの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。グレイの濃淡が少ない電子的に作成されたグラフィックスなどの印刷に適しています。
- **誤差拡散法** 「パターン」と同様にドットに変換する方法ですが、ドットをよりふさわしい位置に配置します。写真のような切れ目のない濃淡で構成されるイメージに適しています。高画質で印刷されますが印刷には時間がかかります。

「濃度」

グラフィックスの明暗を設定することができます。印刷を薄くするときには「明」の方向へ、濃くするときには「暗」の方向へスライドバーを設定してください。

「描画方法」

プリンタの描画方法を設定できます。

- **自動** アプリケーションの種別によりプリンタで処理するかコンピュータで処理するかを自動的に決定します。
- **すべてプリンタ** プリンタで処理します。簡単な図形や文字中心のドキュメントが高速に印刷できます。
- **すべてビットマップ** コンピュータ側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。



チェック

自動の場合、文字と図形の重ね合わせの結果が不正になる場合や反転文字などの文字修飾が不正になる場合があります。このような場合には「すべてプリンタ」か「すべてビットマップ」を指定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。設定すると600dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に、400dpiでは2倍に拡大して印刷します。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。240dpiではこの設定は無効です。



チェック

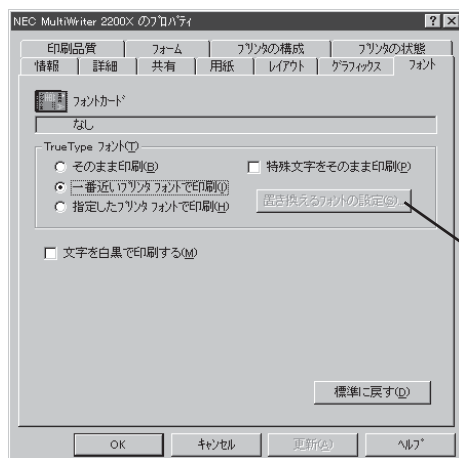
印刷データによってはハーフトーンがきれいに出来ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。

[標準に戻す]ボタン

クリックすると「グラフィックス」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントカード、TrueTypeフォントに関する設定を行うものです。



「フォントカード」

「プリンタの構成」シートで設定されたオプションのフォントカードが表示されます。プリンタとコンピュータが双方向通信していれば自動的に表示されます。

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- **そのまま印刷**

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのまま印刷します。

- **一番近いプリンタフォントで印刷**

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントに置き換えます。

TrueTypeフォント	→	プリンタフォント
FA明朝		明朝
FAゴシック		ゴシック
MS明朝		明朝
MSゴシック		ゴシック

- **指定したプリンタフォントで印刷**

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]ボタンによって設定したプリンタフォントに置き換えます。

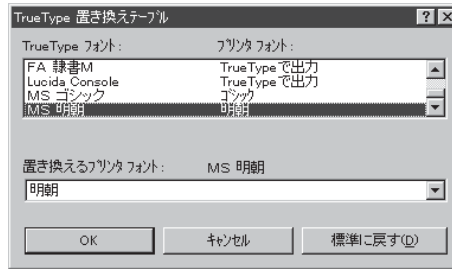
- **特殊文字をそのまま印刷**

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える際、IBM拡張漢字などフォントのデザインが異なる特殊文字はそのまま出力するかどうかを設定します。

[置き換えるフォントの設定]ボタン

以下のダイアログボックスを使って置き換えるプリンタフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。

[標準に戻す]ボタンをクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



チェック

フォントの置き換えについて

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は「ユーザーズマニュアル[3/3]」の「疑似OCR-Bフォントについて」(79ページ)をご覧ください。

「文字を白黒で印刷する」

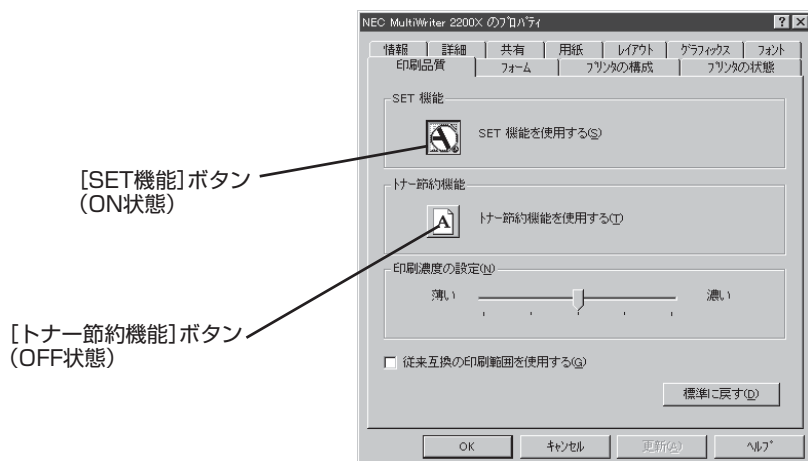
文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

[標準に戻す]ボタン

クリックすると「フォント」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する設定を行うものです。



「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、2200Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

「標準に戻す」ボタン

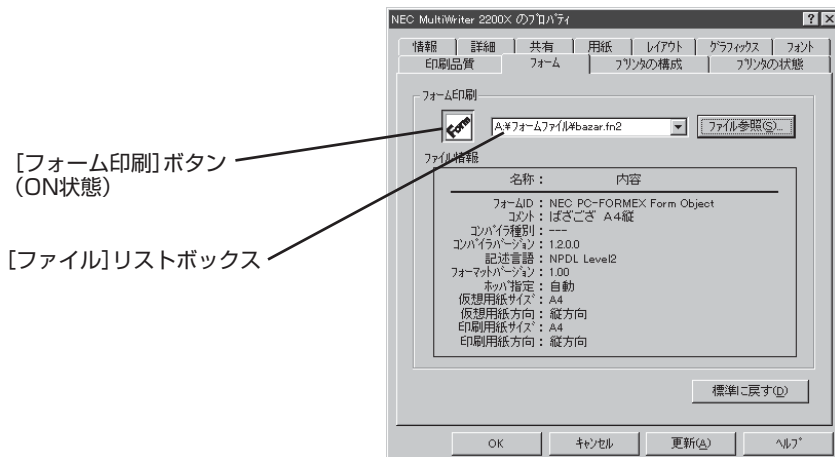
クリックすると「印刷品質」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。

フォーム印刷について

フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。



「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、「ファイル」リストボックスから使用したいフォームファイルを選びます。リストボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]ボタンを押して他の場所のファイルを参照することができます。

[標準に戻す]ボタン

クリックすると「フォーム」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンタの構成を表示・設定するものです。プリンタとコンピュータで双方向通信が行われているとプリンタに装着されているカード、メモリ、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から選択し、プリンタの構成を設定します。



「フォントカード」

- なし
- 教科書体-M 漢字アウトラインフォントカード
- 丸ゴシック体-M 漢字アウトラインフォントカード
- 瑞筆行書体-M 漢字アウトラインフォントカード

「メモリ」

- 8MB (標準)
- 16MB (標準+8MB)
- 24MB (標準+16MB)
- 40MB (標準+32MB)

「オプション装置」

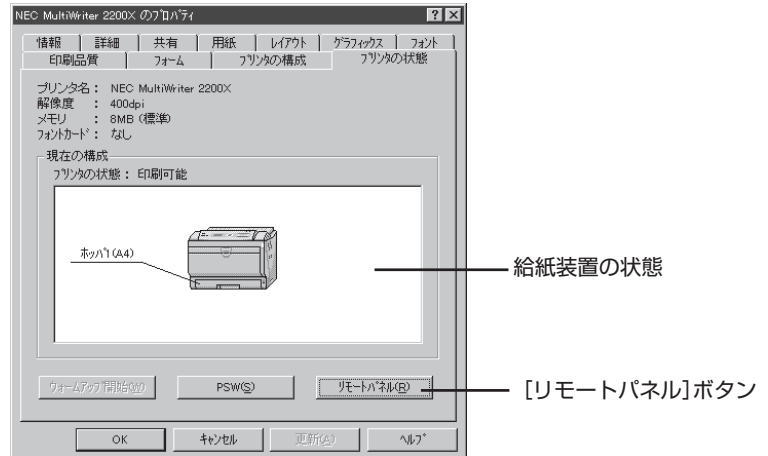
- ホッパ2
 - ホッパ2 (増設ホッパ250)
 - ホッパ2 (増設ホッパ500)
- ホッパ3
 - ホッパ3 (増設ホッパ250)
 - ホッパ3 (増設ホッパ500)

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンタの状態を表示するものです。プリンタの状態を次の項目で表示し、使用できる給紙装置*についてはイラストで表示されます。

- プリンタ名
- 解像度
- メモリ*
- フォントカード*
- プリンタの状態(印刷可能かどうか)

* プリンタとコンピュータで双方向通信が行われてないときは「プリンタ設定」ダイアログボックスの設定が表示されません。



[ウォームアップ開始]ボタン

[ウォームアップ開始]ボタンは双方向通信が行われており、プリンタが節電状態のときのみ有効です。印刷を開始する前にボタンを押しておく、あらかじめプリンタのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。

[PSW]ボタン

[PSW]ボタンはPrintAgentをインストールしている場合に有効です。ボタンを押すとプリンタステータスウィンドウ (PSW) を起動させることができます。

[リモートパネル]ボタン

[リモートパネル]ボタンはPrintAgentをインストールし、かつ使用権限のある場合でのみ有効です。このボタンを押すとリモートパネルが起動し、プリンタを設定変更することができます。詳細については「リモートパネルから設定する」(34ページ)をご覧ください。

使用権限の詳細は「PrintAgentヘルプ」で「プリンタのアクセス権とご利用になれるユーティリティ」および「セキュリティ」をご覧ください。



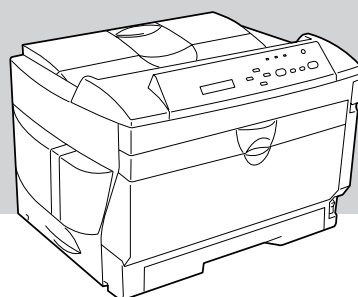
チェック

プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない場合は、PrintAgentソフトウェアが正常にインストールされていないことが考えられます。このWindows 95の「コントロールパネル」の中にある「アプリケーションの追加と削除」を使っていったんプリンタソフトウェアをすべて削除(アンインストール)して、再びインストールしてください。詳細についてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください。

6

印刷の設定

(Windows NT4.0)



Windows NT4.0から印刷する

印刷の設定はアプリケーション側から行うのが一般的ですが、デスクトップ上からも行うことができます。

Windows NT4.0から印刷する場合、Windows 95の場合と同じ手順で行います。手順については「Windows 95から印刷する」(29ページ)をご覧ください。

プリンタを選択する

Windows NT4.0からあらかじめMultiWriter 2200Xを選択して印刷する場合、Windows 95の場合と同じ手順で行います。

手順については「プリンタを選択する」(31ページ)をご覧ください。



ヒント

お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

印刷の詳細設定を行う

印刷の設定を行う方法として、Windows NT4.0ではリモートパネルから行う方法とプリンタドライバのプロパティから行う方法があります。これら2つの方法の違いは次のとおりです。

● リモートパネルから設定した場合

リモートパネルで設定した内容は、プリンタ内部の不揮発性メモリに書き込まれます。したがって、設定した内容は印刷した後も継続され、プリンタの初期化または設定の変更を行うまで保持されます。設定した内容は電源をOFFにしても変わりません。

Windows NT4.0で使用するリモートパネルは、Windows 95で説明しているリモートパネルの起動、使い方、設定項目と同じです。Windows NT4.0におけるリモートパネルの使い方については、5章の「リモートパネルから設定する」(34ページ)をご覧ください。

● プリンタドライバから設定した場合

プリンタドライバで設定した内容は、現在印刷しているデータのみ有効です。印刷が終了すると、設定した内容はクリアされ変更前の設定に戻ります。

リモートパネル、プリンタドライバともPrintAgentにより、プリンタの状態や設定されている内容を確認しながらプリンタの設定ができます。

ただし、PrintAgentには、以下に示す注意事項および制限事項があります。PrintAgentを動作させる前に、これらの事項をご確認ください。

PrintAgentに関する注意事項

PrintAgentを動作させる前に

- PrintAgentはローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバ、クライアント両者にインストールされている必要があります(詳細についてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください)。
- ネットワーク共有プリンタが直接つながっているコンピュータのOSがWindows NT4.0の場合のプリンタスプールはサポートしていません。サーバコンピュータのプリンタスプールを無効にするにはサーバコンピュータ上ですべてのプリンタの「プリンタのプロパティ」-「ポート」タブの「プリンタスプールを有効にする」のチェックを外してください。「プリンタスプールを有効にする」をチェックした場合、プリンタの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentをクライアント・サーバシステムでご使用の場合、1台のサーバに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンタの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は「PrintAgentのプロパティ」の設定の「共有プリンタを利用する」のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentに関する注意事項(つづき)

PrintAgentの動作中は

- PrintAgentは定期的にプリンタの状態を確認しています。PrintAgentが起動した状態で、プリンタの電源をON/OFFしたり、プリンタケーブルの抜き差しは行わないでください。誤印字などの原因となります。
- 一つのコンピュータに複数のNMPS対応プリンタドライバがインストールされている場合、リモートパネルを表示させるときダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- プリンタのメモリスイッチ5-1(同期コードの有効/無効の切り替え)がONになっているとPrintAgentが正しく機能しない場合があります。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- Windows NT4.0とPC-PTOSで同一プリンタを共有している場合はPrintAgentが正常に機能しません。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- PrintAgentとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティ(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
- 一部コンピュータの平行ポートの設定(例：ECPモードなど)によっては、PrintAgentの動作に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、平行ポートの設定を変更していただくことにより、PrintAgentが正常に動作できるようになる場合があります。

プリンタドライバから設定する

Windows NT4.0では以下の2つの「プロパティ」ダイアログボックスで行います。

■ 「デバイスプロパティ」ダイアログボックス

プリンタの物理的な設定をするプロパティダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートからなります。このダイアログボックスはアプリケーションからでは表示されません。

- 「全般」シート
- 「ポート」シート
- 「スケジュール」シート
- 「共有」シート
- 「セキュリティ」シート
- 「プリンタの設定」シート
- 「プリンタの構成」シート

■ 「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートからなります。

- 「用紙」シート
- 「レイアウト」シート
- 「グラフィックス」シート
- 「フォント」シート
- 「印刷品質」シート
- 「フォーム」シート
- 「プリンタの状態」シート

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- デスクトップ上の[スタート]ボタンを使って呼び出す方法



チェック

一般的に「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは各アプリケーションのメニューから呼び出してから開けます。ただし、アプリケーションから呼び出せるのは、印刷の詳細設定を行う「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスだけです。また、設定はそのアプリケーションでのみ有効です。

これに対して[スタート]ボタンから呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「プロパティ」ダイアログボックスを呼び出す場合、Windows 95と同じ方法で行います。

5章の「アプリケーションから呼び出す」(50ページ)をご覧ください。

[スタート]ボタンを使って呼び出す

1. [スタート]ボタンをクリックし、「設定」をポイントする。次に「プリンタ」をクリックします。



2. 「NEC MultiWriter 2200X」アイコンを右クリックします。

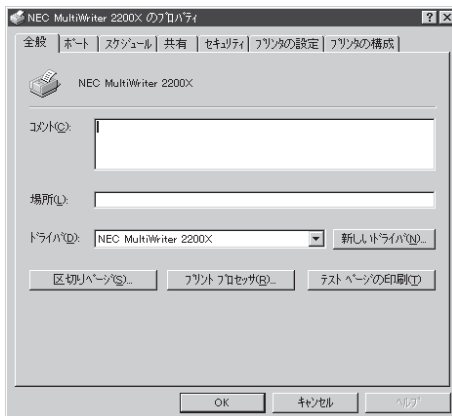
プリンタのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

「デバイスプロパティ」ダイアログボックスを開きたい場合は手順3を、「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを開きたい場合は手順4を行ってください。

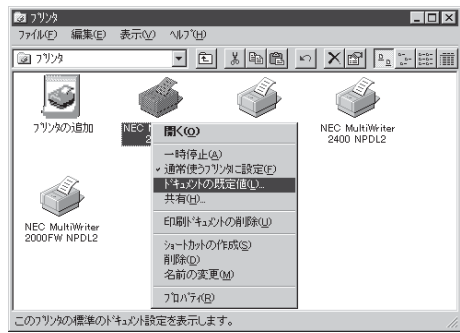


3. 「デバイスプロパティ」ダイアログボックスを開くには、メニューの「プロパティ」をクリックします。

このような「デバイスプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



4. 「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを開くには、メニューの「ドキュメントの設定値」をクリックします。



このような「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの使い方

リストボックス

▼ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

【ヘルプ】ボタン

クリックし目的の項目をクリックすると項目の説明を表示できます。または画面上の項目を直接、右ボタンでクリックしても同じ説明を表示できます。

【閉じる】ボタン

ダイアログボックスが閉じます。



チェックボックス

希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が“ON”状態です。一度に複数の項目が選択できます。

【標準に戻す】ボタン

現在開いているプロパティシート上の設定を出荷時の設定に戻します。

【ヘルプ】ボタン

プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

【OK】ボタン

設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

【キャンセル】ボタン

設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

設定の詳細



ヒント

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上の項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。

デバイスプロパティ



チェック

このプロパティシートはアプリケーションから呼び出して表示させることはできません。スタートボタンを使って呼び出してください。

[全般]シート

このプロパティシートはWindows NT4.0(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT4.0(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[ポート]シート

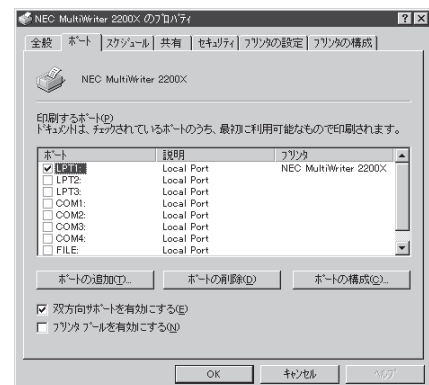
このプロパティシートはWindows NT4.0(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。



チェック

PrintAgentを使用する場合は、「双方向サポートを有効にする」が選択されている必要があります。

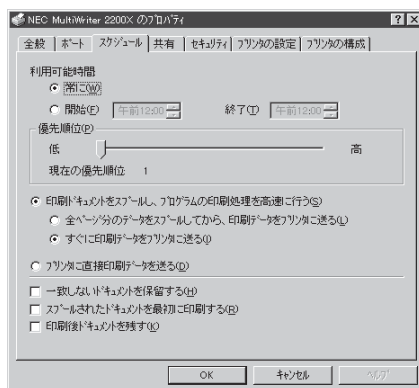
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT4.0(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[スケジュール]シート

このプロパティシートはWindows NT4.0(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT4.0(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[共有]シート

このプロパティシートはWindows NT4.0(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。

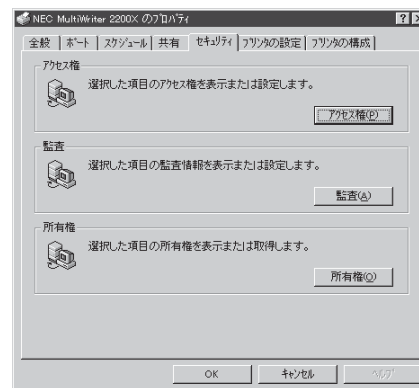
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT4.0(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows NT4.0(日本語版)対応のプリンタドライバ共通のものです。

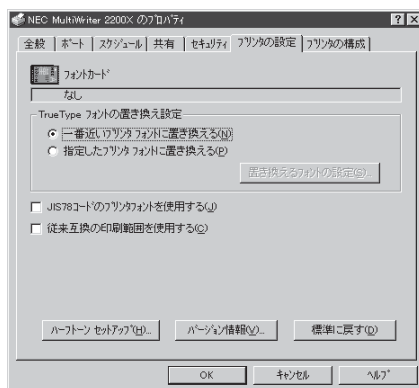
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT4.0(日本語版)のヘルプをご覧ください。



[プリンタの設定]シート

このプロパティシートはフォントの置き換えなどプリンタの設定を行うものです。

[ハーフトーンセットアップ]ボタンをクリックすることにより、さらに「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスを表示することができます。



「フォントカード」

「プリンタの構成」シートで設定されたオプションのフォントカードが表示されます。プリンタとコンピュータが双方向通信していれば自動的に表示されます。

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- 一番近いプリンタフォントに置き換える

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントに置き換えます。

TrueTypeフォント → プリンタフォント	
MS明朝	明朝
MSゴシック	ゴシック

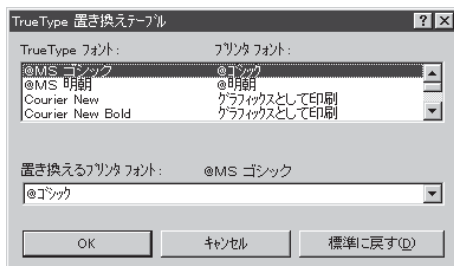
- 指定したプリンタフォントに置き換える

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]ボタンによって設定したプリンタフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]ボタン

以下のダイアログボックスを使って置き換えるプリンタフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。

[標準に戻す]ボタンをクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。





チェック

フォントの置き換えについて

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は「ユーザーズマニュアル[3/3]」の「疑似OCR-Bフォントについて」(79ページ)をご覧ください。

「JIS78コードのプリンタフォントを使用する」

プリンタフォントをJIS78コードで印刷します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

【ハーフトーンセットアップ】ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンと白の明るさの設定を行います。



プリンタドライバ

情報を設定中のプリンタの名前です。

ハーフトーンのパターン

ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。

デバイスガンマ

デバイスのガンマ補正を行うことができます。

ピクセルの大きさ

ピクセルの大きさを設定することができます。

輝度

白の明るさの値を調整することができます。

【戻す】ボタン

クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。

【標準値】ボタン

クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

【バージョン情報】ボタン

クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

【標準に戻す】ボタン

クリックすると「プリンタの設定」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95のプロパティシートと表示・設定するものが同じです。

プロパティシートの内容についてはWindows 95の「[プリンタの構成]シート」(64ページ)をご覧ください。



ドキュメントプロパティ



「ドキュメントプロパティ」シートのうち、[用紙]、[印刷品質]、[フォーム]、[プリンタの状態]の各シートで設定できる項目は、Windows 95のものと同じです。各シートの内容については、Windows 95の該当するシートをご覧ください。

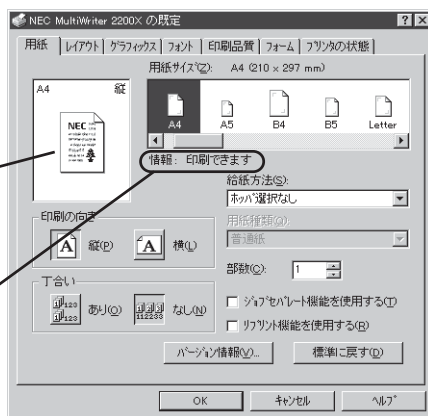
[用紙]シート

このプロパティシートは以下に示すようにWindows 95の[用紙]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows 95の「[用紙]シート」(55ページ)をご覧ください。

選択されている用紙サイズの
イメージ

プリンタ情報



[レイアウト]シート

このプロパティシートは両面印刷に関する設定を行うものです。両面印刷の詳細については10章の「両面印刷機能」(138ページ)をご覧ください。



チェック

[用紙]シートの[用紙サイズ]で「はがき」、「往復はがき」、「封筒」が選択されている場合や、[用紙種類]で「厚紙」、「OHP」が選択されている場合には、両面印刷はできません。



「両面印刷」

両面印刷の種類を選択できます。「片面」、「長辺綴じ」、「短辺綴じ」から選択できます。

「綴じ方向」

綴じ方向と綴じしろを設定することができます。綴じ方向は「長辺綴じ」を選択したとき「右綴じ」、「左綴じ」、「短辺綴じ」を選択したとき「上綴じ」、「下綴じ」から設定します。綴じしろは0mm～20mmまで設定可能です。



ヒント

綴じ方向、綴じしろの詳細については46ページ、47ページをご覧ください。

「印刷開始ページ」

最初のページを両面印刷するかどうかを設定します。「表面」を選択すると最初のページから両面印刷します。「裏面」を選択すると最初のページの裏面から印刷します。

[標準に戻す]ボタン

クリックすると「レイアウト」プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに関するプリンタの処理の設定を行うものです。



「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpiから選択できます。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。600dpi、300dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に、400dpi、240dpi、200dpiでは2倍に拡大して印刷します。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

「すべてビットマップで印刷する」

文字、図形などをすべてビットマップで印刷できます。

「ハーフトーンカラーの調整」ボタン

クリックすると以下のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンと白の明るさの設定を行います。



設定できる項目はプリンタによって異なります。カラー印刷に適用される項目は MultiWriter 2200Xのようなモノクロプリンタでは無効です。

「測光用の光」

照度を調整して、イメージの表示を調整します。

「コントラスト」

明暗の色調の差を調整することができます。

「明るさ」

光の輝度を調整することができます。

「色」

色の鮮やかさを調整することができます。

「濃淡」

色合いを調整することができます。

「暗い色」

露出過度のグラフィックを調整することができます。

「反転」

色を反転することができます。

「RGBガンマの入力」

入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。「リニア」チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。

「黒/白の混合率」

モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。

「テストパターン」

参照色またはグラフィックを選択することができます。

「表示」

テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示します。

「最大化」

フルスクリーンを使ってグラフィックを表示します。

「パレット」

グラフィックのカラーパレットを表示します。

「スケール」

グラフィックを元の比率で表示します。

「Xフリップ」

イメージを水平軸に沿って反転します。

「Yフリップ」

イメージを垂直軸に沿って反転します。

「標準値」ボタン

クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

「戻す」ボタン

クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。

「開く」ボタン

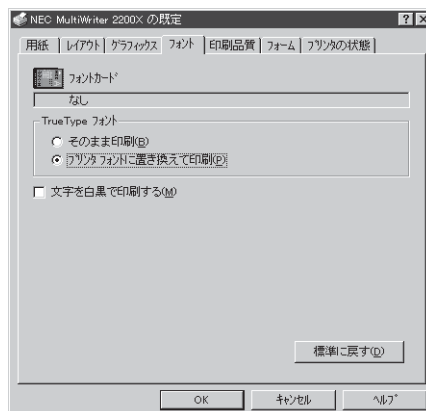
クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。

「名前を付けて保存」ボタン

クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート

このプロパティシートはTrueTypeフォントに関する設定を行うものです。



「フォントカード」

プリンタ本体にセットしたオプションのフォントカードが表示されます。プリンタとコンピュータで双方向通信が行われてないときは「**プリンタの構成**」シート(78ページ)が表示されます。

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの印刷方法を設定することができます。

- **そのまま印刷**

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのまま印刷します。

- **プリンタフォントに置き換えて印刷**

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを「**プリンタの構成**」プロパティシートによって設定したプリンタフォントで印刷します。



チェック

フォントの置き換えについて

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待通りの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は「**ユーザーズマニュアル**[3/3]」の「**疑似OCR-Bフォントについて**」(79ページ)をご覧ください。

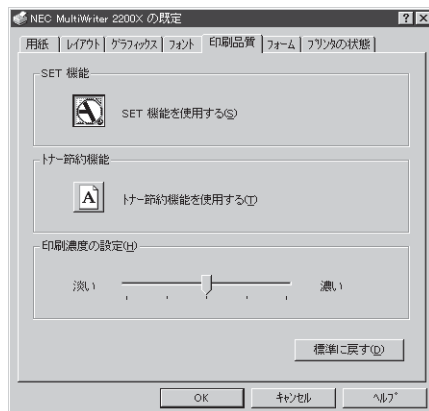
「文字を白黒で印刷する」

文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[印刷品質]シートと同じです。

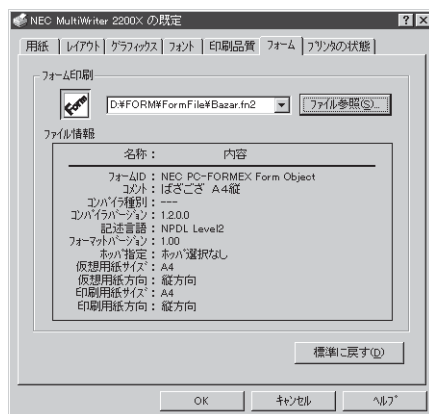
各設定項目の内容についてはWindows 95の「[印刷品質]シート」(62ページ)をご覧ください。



[フォーム]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[フォーム]シートと同じです。

各設定項目の内容についてはWindows 95の「[フォーム]シート」(63ページ)をご覧ください。



[プリンタの状態]シート

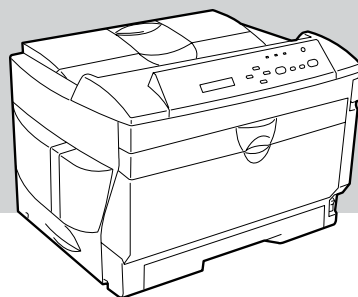
このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[プリンタの状態]シートと同じです。

各設定項目の内容についてはWindows 95の「[プリンタの状態]シート」(65ページ)をご覧ください。



7 印刷の設定

(Windows NT3.51)



Windows NT3.51から印刷する

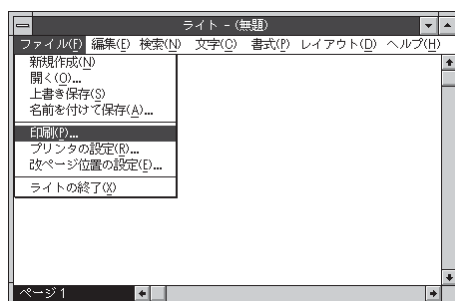
印刷の設定はアプリケーション側から行うのが一般的ですが、デスクトップ上からも行うことができます。

ここでは、Windows NT3.51に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。

お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれませんが、詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

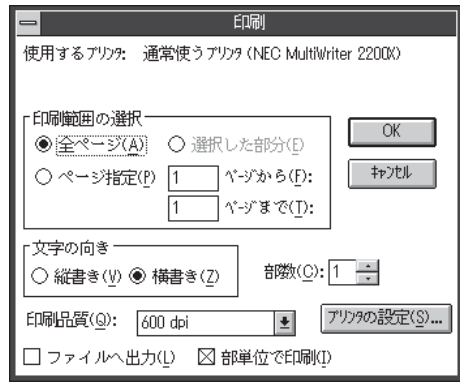
「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. 使用する「プリンタ名：」として「NEC MultiWriter 2200X」が選択されていることを確認します。

もし選択されていなければ選択しなおします。

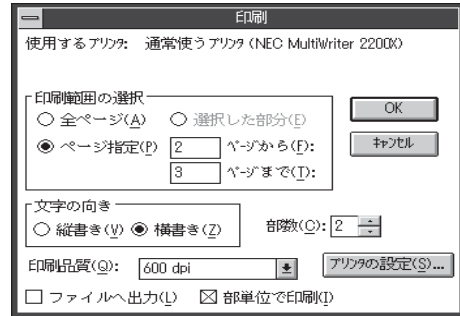
→「プリンタを選択する」参照(87ページ)



3. 印刷範囲、部数を指定します。

さらに詳しい設定をしたい場合は[プリンタの設定]ボタンおよび[プロパティ]ボタンをクリックし、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスを開き、設定を行ってください。

→詳細については「プリンタドライバから設定する」(90ページ)をご覧ください。



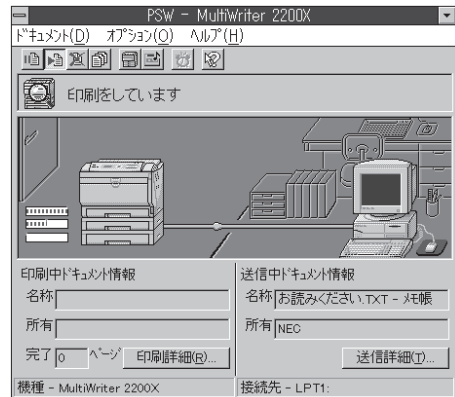
4. 印刷の設定が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

印刷が開始されると画面上にこのような「プリンタステータスウィンドウ」が現れます。



重要

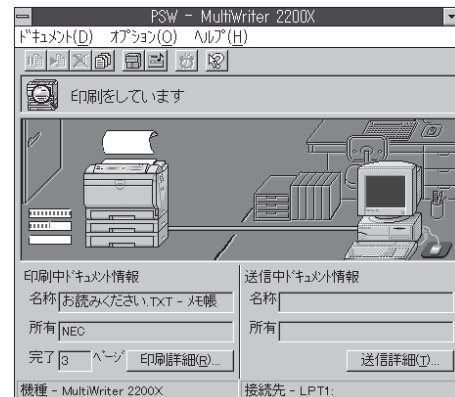
印刷を行っているときは、用紙カセットを引き抜かないでください。紙づまりが発生するだけでなく、プリンタの故障の原因となる場合があります。



プリンタステータスウィンドウは印刷の状態をアニメーション表示したり、一時中断や中止を指令することができます。

→「プリンタステータスウィンドウ」(116ページ)参照

印刷が終了するとプリンタステータスウィンドウは「印刷を終了しました」の音声メッセージを通知してウィンドウを閉じます。



プリンタを選択する

Windows NT3.51から印刷するために、あらかじめMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。



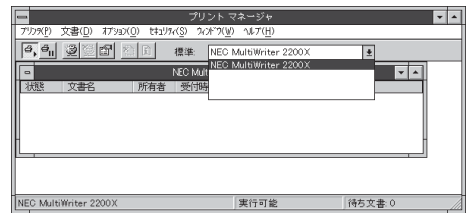
お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループを開き、[プリントマネージャ]を開きます。



2. ツールバーの「標準：」リストボックスから「NEC MultiWriter 2200X」を選びます。

プリンタドライバがインストールされていないと「NEC MultiWriter 2200X」は表示されません。



印刷の詳細設定を行う

印刷の設定を行う方法として、Windows NT3.51ではリモートパネルから行う方法とプリンタドライバのプロパティから行う方法があります。これら2つの方法の違いは次のとおりです。

● リモートパネルから設定した場合

リモートパネルで設定した内容は、プリンタ内部の不揮発性メモリに書き込まれます。したがって、設定した内容は印刷した後も継続され、プリンタの初期化または設定の変更を行うまで保持されます。設定した内容は電源をOFFにしても変わりません。

Windows NT3.51で使用するリモートパネルは、Windows 95で説明しているリモートパネルの起動、使い方、設定項目と同じです。Windows NT3.51におけるリモートパネルの使い方については、5章の「リモートパネルから設定する」(34ページ)をご覧ください。

● プリンタドライバから設定した場合

プリンタドライバで設定した内容は、現在印刷しているデータのみ有効です。印刷が終了すると、設定した内容はクリアされ変更前の設定に戻ります。

リモートパネル、プリンタドライバともPrintAgentにより、プリンタの状態や設定されている内容を確認しながらプリンタの設定ができます。

ただし、PrintAgentには、以下に示す注意事項があります。

PrintAgentを動作させる前に、注意事項をご確認ください。

PrintAgentに関する注意事項

PrintAgentを動作させる前に

- PrintAgentはローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバ、クライアント両者にインストールされている必要があります(詳細についてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください)。
- Windows NT3.51でローカルプリンタをお使いになる場合、印刷先を「LPTNx」に設定しておかないとPrintAgentが正常に機能しません。
- ネットワーク共有プリンタが直接つながっているコンピュータのOSがWindows NT4.0の場合のプリンタスプールはサポートしていません。サーバコンピュータのプリンタスプールを無効にするにはサーバコンピュータ上ですべてのプリンタの「プリンタのプロパティ」-「ポート」タブの「プリンタスプールを有効にする」のチェックを外してください。「プリンタスプールを有効にする」をチェックした場合、プリンタの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentをクライアント・サーバシステムでご使用の場合、1台のサーバに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンタの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は「PrintAgentのプロパティ」の設定の「共有プリンタを利用する」のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentに関する注意事項(つづき)

PrintAgentの動作中は

- PrintAgentは定期的にプリンタの状態を確認しています。PrintAgentが起動した状態で、プリンタの電源をON/OFFしたり、プリンタケーブルの抜き差しは行わないでください。誤印字などの原因となります。
- 一つのコンピュータに複数のNMPS対応プリンタドライバがインストールされている場合、リモートパネルを表示させるときダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。Windows NT3.51の場合、「プリンタの選択」ダイアログボックスは「システムアイコン」をクリックしたときのメニューから表示させることができます。

PrintAgentの制限事項

- プリンタのメモリスイッチ5-1(同期コードの有効/無効の切り替え)がONになっているとPrintAgentが正しく機能しない場合があります。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- Windows NT3.51とPC-PTOSで同一プリンタを共有している場合はPrintAgentが正常に機能しません。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- PrintAgentとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティ(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
- 一部コンピュータの平行ポートの設定(例：ECPモードなど)によっては、PrintAgentの動作に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、平行ポートの設定を変更していただくことにより、PrintAgentが正常に動作できるようになる場合があります。

プリンタドライバから設定する

Windows NT3.51では以下の2つの「プロパティ」ダイアログボックスで行います。

■ 「デバイスプロパティ」ダイアログボックス

プリンタの物理的な設定をするプロパティダイアログボックスです。次の2枚のプロパティシートからなります。このダイアログボックスはアプリケーションからでは表示されません。

- 「プリンタの設定」シート
- 「プリンタの構成」シート

■ 「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートからなります。

- 「用紙」シート
- 「レイアウト」シート
- 「グラフィックス」シート
- 「フォント」シート
- 「印刷品質」シート
- 「フォーム」シート
- 「プリンタの状態」シート

ダイアログボックスの開き方

「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- Windows付属の「プリントマネージャ」を使って呼び出す方法



チェック

一般的に「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは各アプリケーションのメニューから呼び出してから開けます。ただし、アプリケーションから呼び出せるのは、印刷の詳細設定を行う「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスだけです。また、設定はそのアプリケーションでのみ有効です。

これに対して「プリントマネージャ」から呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

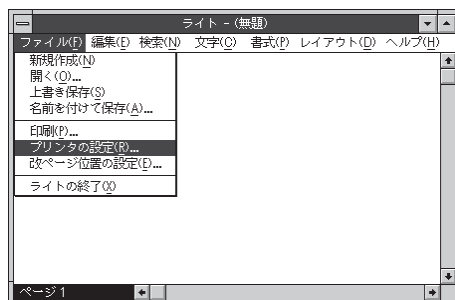
アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「プロパティ」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドが「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドは「ファイル」メニューの中にありますが、「ファイル」メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここでは印刷の操作手順をWindows NT3.51に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。

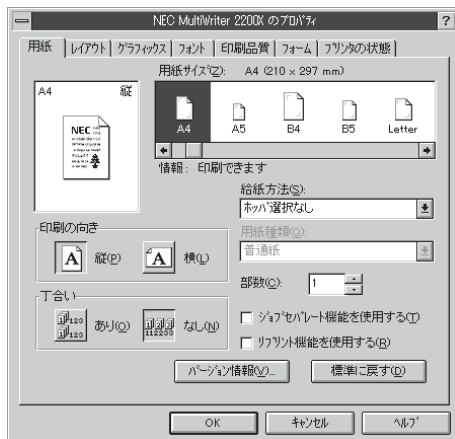
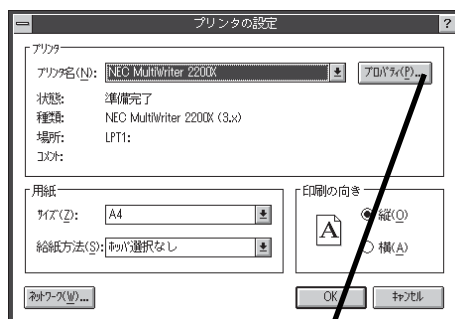
1. 「ファイル」メニューの[プリンタの設定]を選択します。

「プリンタの設定」ダイアログボックスが開きます。



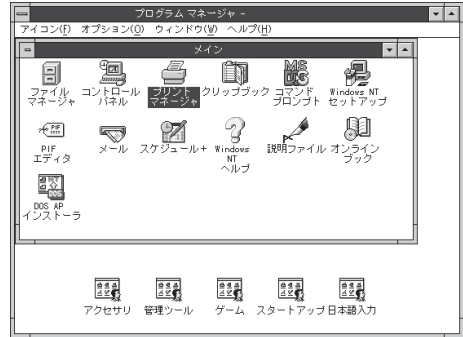
2. 「プロパティ」ボタンをクリックします。

このような「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



「プリントマネージャ」を使って呼び出す

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループを開き、[プリントマネージャ]を開きます。



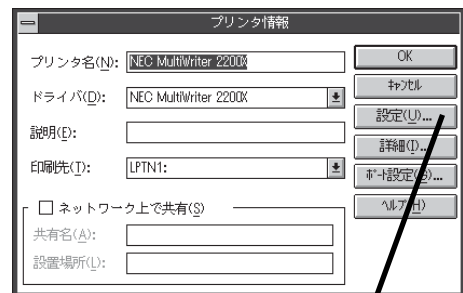
2. 「プリンタ」メニューの「プリンタ情報」を選択します。

「プリンタ情報」ダイアログボックスが表示されます。

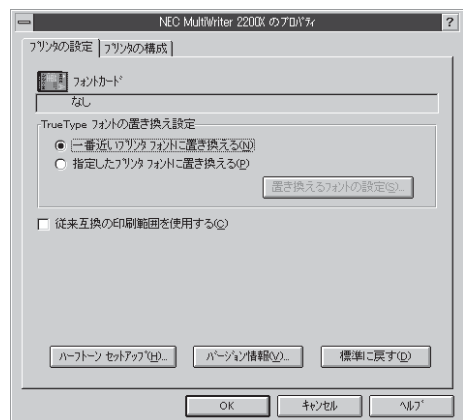
「デバイスプロパティ」ダイアログボックスを開きたい場合は手順3を、「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを開きたい場合は手順4および手順5を行ってください。



3. [設定]ボタンをクリックします。

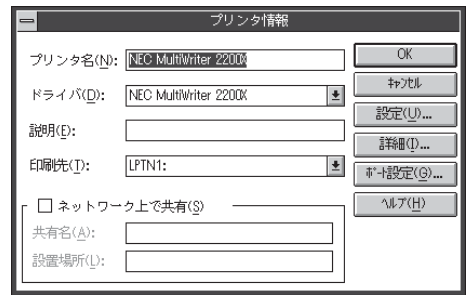


このような「デバイスプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

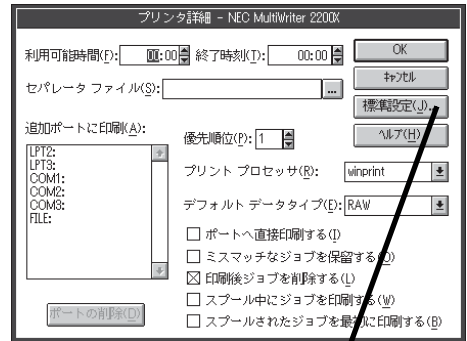


4. 「詳細」ボタンをクリックします。

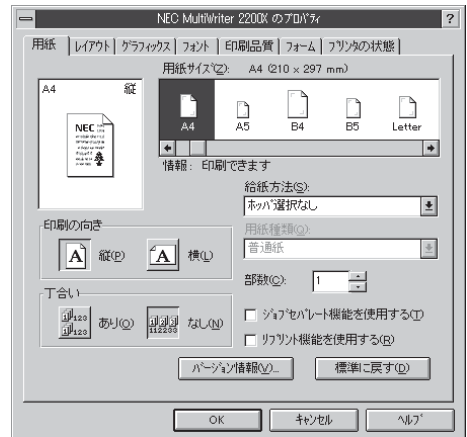
「プリンタ詳細」ダイアログボックスが表示されます。



5. 「標準設定」ボタンをクリックします。



このような「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの使い方

[閉じる]ボタン
ダイアログボックスが閉じます。

リストボックス
▼ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

[ヘルプ]ボタン
クリックし目的の項目をクリックすると項目の説明を表示できます。または画面上の項目を直接右ボタンでクリックしても同じ説明を表示できます。



[標準に戻す]ボタン
現在開いているプロパティシート上の設定を出荷時の設定に戻します。

チェックボックス
希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が“ON”状態です。一度に複数の項目が選択できます。

[キャンセル]ボタン
設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

[ヘルプ]ボタン
プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

[OK]ボタン
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

設定の詳細



ヒント

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。

デバイスプロパティ



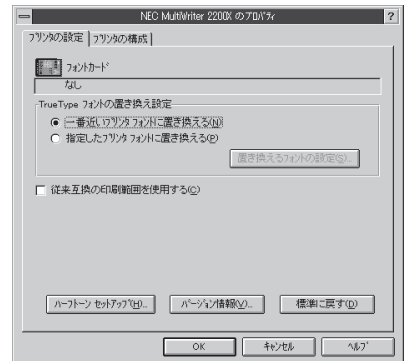
チェック

このプロパティシートはアプリケーションから呼び出して表示させることはできません。プログラムマネージャを使って呼び出してください。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows NT4.0の[プリンタの設定]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows NT4.0の「[プリンタの設定]シート」(76ページ)をご覧ください。



[プリンタの構成]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[プリンタの構成]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows 95の「[プリンタの構成]シート」(64ページ)をご覧ください。



ドキュメントプロパティ



チェック

「ドキュメントプロパティ」シートのうち、[用紙]、[印刷品質]、[フォーム]、[プリンタの状態]の各シートで設定できる項目は、Windows 95の同シートと設定項目が同じです。
[レイアウト]、[グラフィックス]、[フォント]の各シートで設定できる項目は、Windows NT4.0の同シートと設定項目が同じです。各シートの内容については、Windows 95、Windows NT4.0の各該当するシートをご覧ください。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[用紙]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows 95の「[用紙]シート」(55ページ)をご覧ください。



[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows NT4.0の[レイアウト]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows NT4.0の「[レイアウト]シート」(79ページ)をご覧ください。



[グラフィックス]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows NT4.0の[グラフィックス]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows NT4.0の「[グラフィックス]シート」(80ページ)をご覧ください。



[フォント]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows NT4.0の[フォント]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows NT4.0の「[フォント]シート」(82ページ)をご覧ください。



[印刷品質]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[印刷品質]シートと設定項目が同じです。

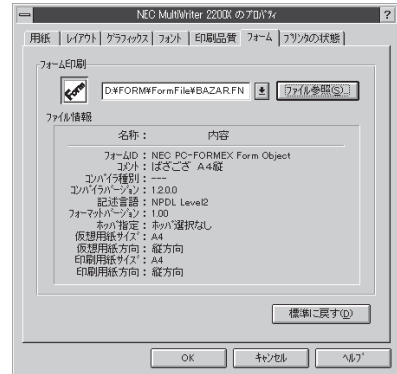
各設定項目の内容については、Windows 95の「[印刷品質]シート」(62ページ)をご覧ください。



[フォーム]シート

このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[フォーム]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows 95の「[フォーム]シート」(63ページ)をご覧ください。



[プリンタの状態]シート

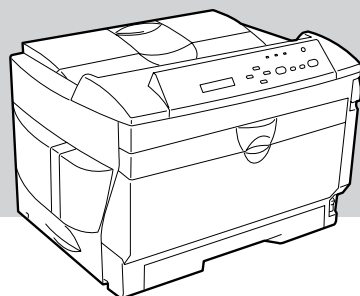
このプロパティシートは以下に示すとおりWindows 95の[プリンタの状態]シートと設定項目が同じです。

各設定項目の内容については、Windows 95の「[プリンタの状態]シート」(65ページ)をご覧ください。



8

印刷の設定 (Windows 3.1)



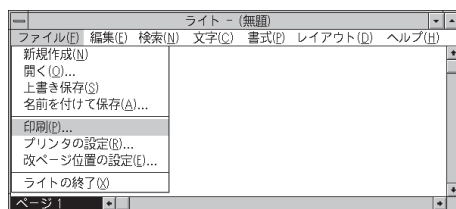
Windows 3.1から印刷する

印刷の設定はアプリケーション側から行うのが一般的ですが、デスクトップ上からも行うことができます。

ここでは印刷の操作手順をWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

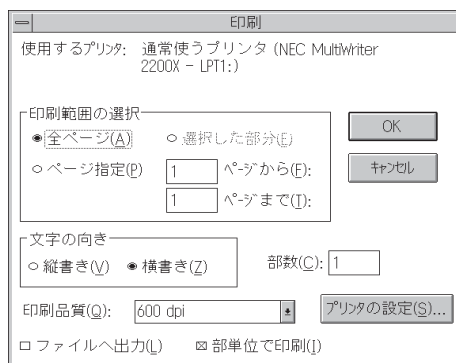
「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. 「使用するプリンタ名：」として「NEC MultiWriter 2200X」が選択されていることを確認します。

もし選択されていなければ選択し直します。

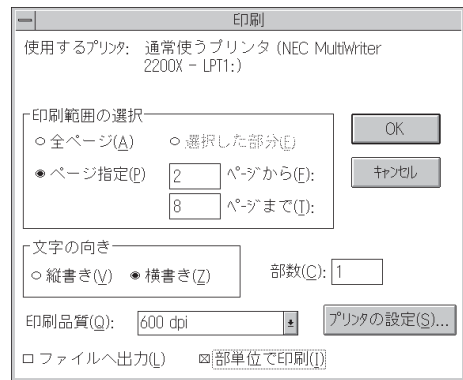
→「プリンタを選択する」参照(101ページ)



3. 印刷範囲、部数を指定します。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定を変更したい場合は[プリンタの設定]ボタンをクリックします。

→詳細は「プリンタドライバから設定する」参照(103ページ)



4. 印刷の設定が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。



印刷を行っているときは、用紙カセットを引き抜かないでください。紙づまりが発生するだけでなく、プリンタの故障の原因となる場合があります。

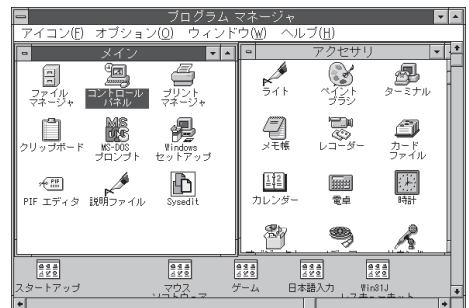
プリンタを選択する

Windows 3.1から印刷するために、あらかじめMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく必要があります。



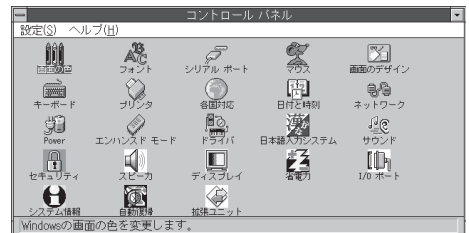
お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループを開き、[コントロールパネル]を開きます。

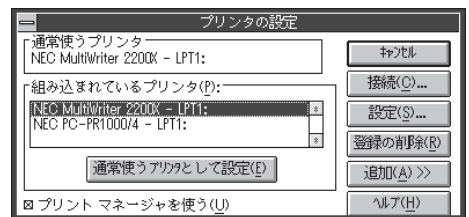


2. 「プリンタ」アイコンを開きます。

メニューが表示され、「プリンタの設定」ダイアログボックスが表示されます。



3. [組み込まれているプリンタ]リストボックスから「NEC MultiWriter 2200X」を選んで「通常使うプリンタとして設定」ボタンをクリックします。



印刷の詳細設定を行う

印刷の設定を行う方法として、Windows 3.1ではMS-DOS用リモートパネルから行う方法とプリンタドライバのプロパティから行う方法があります。これら2つの方法の違いは次のとおりです。

- **MS-DOS用リモートパネルから設定する**

MS-DOS用リモートパネルで設定した内容は、プリンタ内部の不揮発性メモリに書き込まれます。したがって、設定した内容は印刷した後も継続され、プリンタの初期化または設定の変更を行うまで保持されます。設定した内容は電源をOFFにしても変わりません。

MS-DOS用リモートパネルから設定する方法については11章の「MS-DOS用リモートパネル」(162ページ)をご覧ください。

- **プリンタドライバから設定する**

プリンタドライバで設定した内容は、現在印刷しているデータのみ有効です。印刷が終了すると、設定した内容はクリアされ変更前の設定に戻ります。

プリンタドライバから設定する

Windows 3.1では、「印刷設定」ダイアログボックスで印刷に関する詳細な設定を行うことができます。

ダイアログボックスの開き方

「印刷設定」ダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- Windows付属の「コントロールパネル」を使って呼び出す方法



チェック

一般的に「印刷の設定」ダイアログボックスは各アプリケーションの「ファイル」メニューから呼び出してから開けます。ただし、その設定はそのアプリケーションでのみ有効です。これに対して「コントロールパネル」から呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

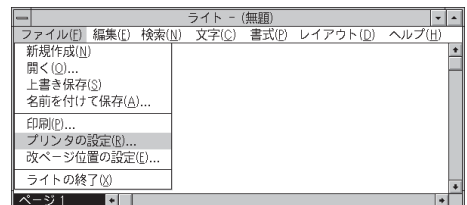
アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「印刷設定」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドが「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドは「ファイル」メニューの中にありますが、「ファイル」メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

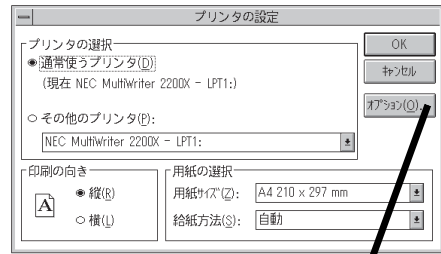
ここではWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。

1. 「ファイル」メニューの「プリンタの設定」をクリックします。

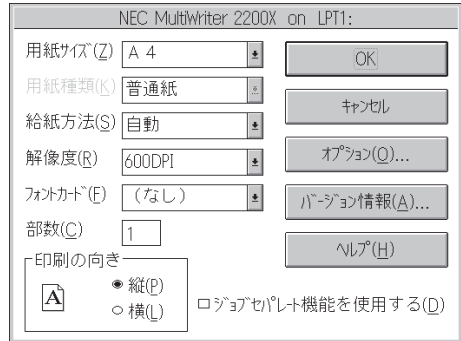
「プリンタの設定」ダイアログボックスが開きます。



2. 「オプション」ボタンをクリックします。

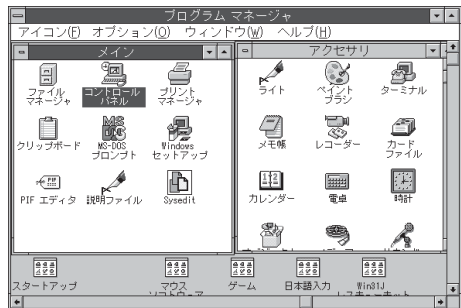


このような「印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。



「コントロールパネル」を使って呼び出す

1. 「プログラムマネージャ」の[メイン]グループを開き、「コントロールパネル」を開きます。

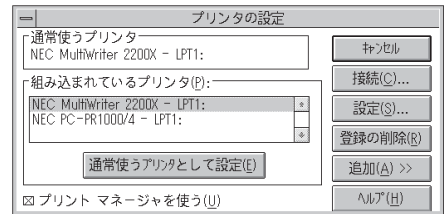


2. 「プリンタ」アイコンを開きます。

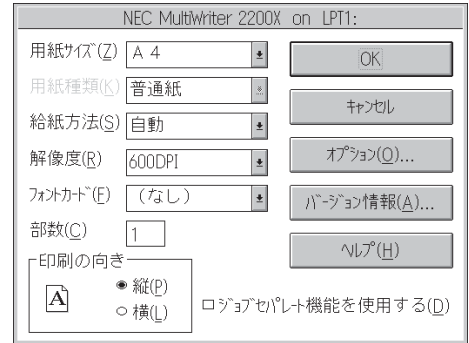
メニューが表示されます。「プリンタの設定」ダイアログボックスが表示されます。



3. 「設定」ボタンをクリックします。



このような「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの使い方

ダイアログボックスで共通に使うボタン類の機能について説明します。

リストボックス

矢印ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

[OK]ボタン

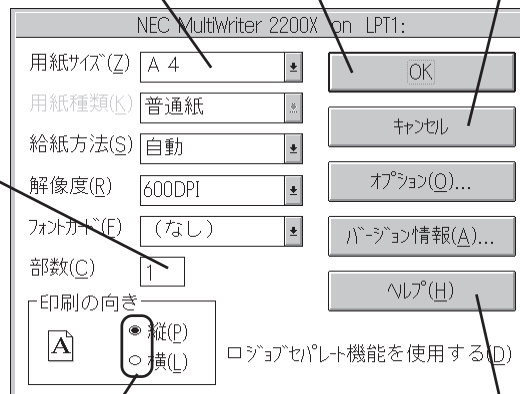
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]ボタン

設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

テキストボックス

このボックスの中に直接数値をタイプして設定します。



ラジオボタン

希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。一度に選択できる項目は1つだけです。

[ヘルプ]ボタン

プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

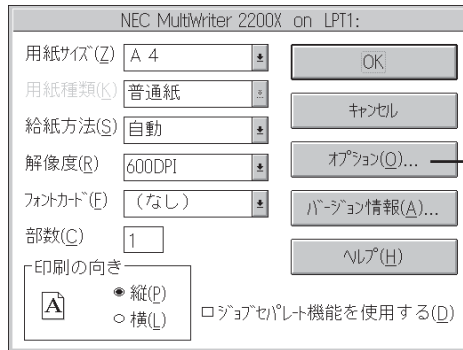
設定の詳細



ダイアログボックス内の項目なら直接右クリックすることにより、それぞれの項目についての説明を表示させることができます。

[プリンタの設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行うものです。さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は「オプション」ダイアログボックスから設定することができます。



【オプション】ボタン
「オプション」ダイアログボックスを表示します。

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。リストボックス内をクリックして選択します。



アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「用紙種類」

「給紙方法」が「トレイ」のときのみ、用紙の種類を「普通紙」、「厚紙」、「OHP」の3種類から選択できます。「トレイ」以外のときは「普通紙」のみとなり、選択することができません。

「給紙方法」

給紙先ホoppaをリストボックスから選択します。リストボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホoppaまたはトレイから自動的に給紙されます。

「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、240dpiから選択できます。

「フォントカード」

プリンタ本体にセットしたオプションのフォントカードを設定できます。

「部数」

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます。1~99枚まで設定可能です。



チェック

アプリケーションによってはアプリケーションの部数設定もダイアログボックスでの部数設定も有効にするものがあります。たとえばアプリケーションで3部、ダイアログボックスで2部と設定すると、6(3×2)部印刷してしまいます。このような結果を避けるためにもアプリケーションの設定は常に1部にしておいて、部数の設定はダイアログボックスで行うようにしてください。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)で使用するか横長(ランドスケープ)で使用するかを設定するものです。[縦]を選択すると縦長方向で、[横]を選択すると横長方向で印刷します。



チェック

「用紙サイズ」で「LP→A4」、「LP→B4」が設定されていると[縦]は設定できません。

「ジョブセパレート機能を使用する」

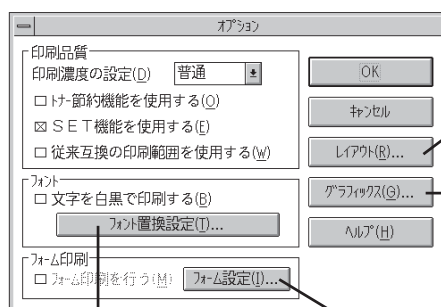
ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能については10章の「ジョブセパレート機能」(134ページ)をご覧ください。

「バージョン情報」ボタン

クリックするとプリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

「オプション」ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行うものです。



[レイアウト]ボタン
「レイアウト」ダイアログボックス
を表示します。

[グラフィックス]ボタン
「グラフィックス」ダイアログボックス
を表示します。

[フォント置換設定]ボタン
「フォント置換設定」ダイアログボックス
を表示します。

[フォーム設定]ボタン
「フォーム設定」ダイアログボックスを
表示します。

「印刷濃度の設定」

「濃い」、「やや濃い」、「普通」、「やや薄い」、「薄い」から選択します。

「トナー節約機能を使用する」

トナー節約機能を使用するかしないかを切り替えます。



チェック

トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。この機能は試し印刷などにご使用ください。また、2000Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

「文字を白黒で印刷する」

文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

「フォーム印刷を行う」

このボックスをチェックすると、フォーム印刷を行うことができます。

[フォーム設定]ボタンについては[フォーム設定]ダイアログボックス(111ページ)をご覧ください。

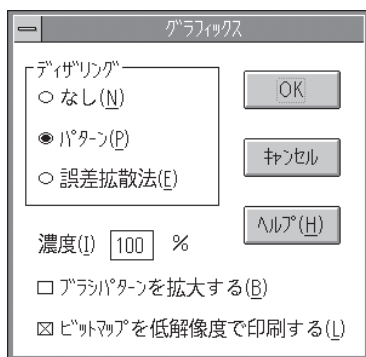
「レイアウト」ダイアログボックス

このダイアログボックスは以下に示すとおりWindows 95の[レイアウト]シートと設定項目が同じです。各設定項目の内容については、Windows 95の[「レイアウト」シート](57ページ)をご覧ください。



[グラフィックス]ダイアログボックス

このダイアログボックスはグラフィックスデータに対するプリンタの処理の設定を行うものです。



「ディザリング」

グレイスケールイメージのデータをプリンタで処理できるように変換する設定です。



チェック

アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。

- **なし** グラフィックスのグレイを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。
- **パターン** グレイの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。グレイの濃淡が少ない電子的に作成されたグラフィックスなどの印刷に適しています。
- **誤差拡散法** 「パターン」と同様にドットに変換する方法ですが、ドットをよりふさわしい位置に配置します。写真のような切れ目のない濃淡で構成されるイメージに適しています。高画質で印刷されますが印刷には時間がかかります。

「濃度」

グラフィックスの明暗を0～200%の数値で設定することができます。初期値は100%になっています。数値が大きくなると印刷は薄くなります。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。設定すると600dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に、400dpiでは2倍に拡大して印刷します。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果が出ないことがあります。

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータの解像度を落として印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。240dpiではこの設定は無効です。

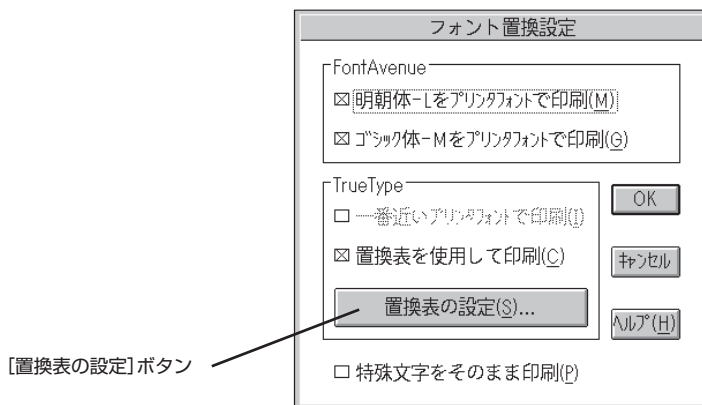


チェック

印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。

[フォント置換設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷する設定を行うものです。



「FontAvenueフォント」

FontAvenueフォントの置き換え方法を設定します。

- **明朝体-Lをプリンタフォントで印刷**
アプリケーションから送られたFontAvenueの明朝体をプリンタフォントの明朝体に置き換えて印刷します。
- **ゴシック体-Mをプリンタフォントで印刷**
アプリケーションから送られたFontAvenueのゴシック体をプリンタフォントのゴシック体に置き換えて印刷します。

「TrueTypeフォント」

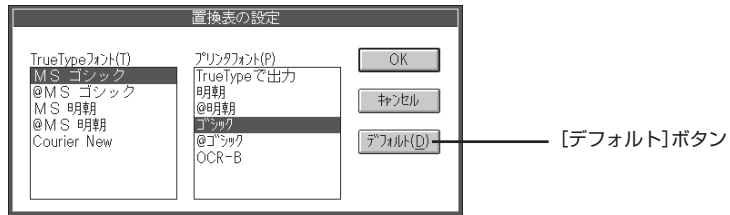
TrueTypeフォントの置き換え方法を設定します。

- **一番近いプリンタフォントで印刷**
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントで置き換えます。

TrueTypeフォント	→	プリンタフォント
MS明朝		明朝
MSゴシック		ゴシック

- **置換表を使用して印刷**
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置換表の設定]ボタンによって設定したプリンタフォントで印刷します。

置換表の設定ダイアログボックスは以下のとおりです。プリンタフォントに置き換えることのできるTrueTypeフォントと置き換えられるプリンタフォントが一覧表示されています。それぞれフォントをクリックして[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。



[デフォルト]ボタン

クリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



チェック

フォントの置き換えについて

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は「ユーザーズマニュアル[3/3]」の「疑似OCR-Bフォントについて」(79ページ)をご覧ください。

「特殊文字をそのまま出力」

アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える際、IBM拡張漢字などフォントのデザインが異なる特殊文字はそのまま出力するかどうかを設定します。

[フォーム設定]ダイアログボックス

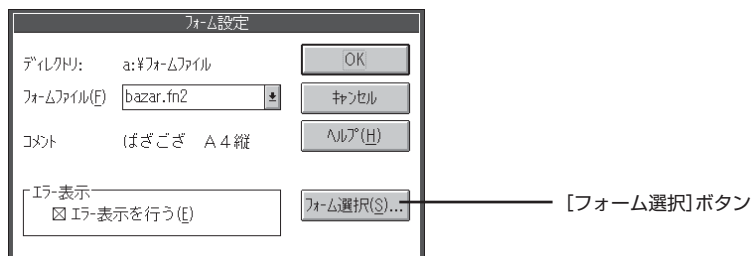
このダイアログボックスの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。フォームファイルを指定するためのダイアログボックスです。



チェック

フォーム印刷について

フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータの作成するには別売のアプリケーションが必要です。



「ディレクトリ」

フォームファイルを指定するために現在開かれているディレクトリを表示します。この表示は[フォーム選択]ボタンによって指定されたディレクトリです。

「フォームファイル」

リストボックスから使用するファイルを選択します。リストボックスに希望のファイルがない場合は[フォーム選択]ボタンを押して他の場所のファイルを参照することができます。

「コメント」

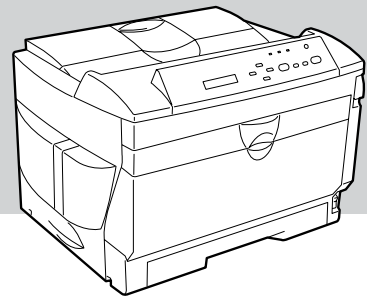
選択したフォームファイルのコメントを表示します。

「エラー表示を行う」

フォームファイルが壊れている場合にエラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

9

印刷状況の確認



PrintAgentの起動

Windows 95、Windows NT4.0/NT3.51がインストールされているコンピュータでは、デスクトップ上から印刷の進行状況やプリンタの状態をPrintAgentのソフトウェアにより確認することができます。

PrintAgentを起動させるには、Windows 95またはWindows NT4.0なら[スタート]ボタンから、Windows NT3.51なら「プログラムマネージャ」から「MultiWriter 2200X」を開いてください。以下のようなPrintAgentのソフトウェアが表示されます。

プリンタステータスウィンドウ: プリンタステータスウィンドウを表示させプリンタの状態を確認することができます。

リモートパネル: リモートパネルを表示させ、プリンタの各種設定を変更することができます。

システムメニュー: 「システムメニュー」ダイアログボックスを表示させ、PrintAgentの各種機能呼び出すことができます。

システム起動: PrintAgentシステムを起動させます。通常はWindows 95の場合は起動時に、Windows NTの場合はログオン時に自動的に立ち上がる設定になっています。

ヘルプ: PrintAgentに関する説明が参照/印刷できます。

お読みください: PrintAgentをお使いになるときの参考情報が表示されます。

アンインストーラ: Windows NT3.51の場合これを使ってPrintAgentを削除することができます。

PrintAgentに関する注意事項

PrintAgentを動作させる前に

- PrintAgentはローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバ、クライアント両者にインストールされている必要があります(詳細についてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください)。
- Windows 95の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで「双方向通信機能」をサポートするように設定しておく必要があります。(54ページ参照)
- Windows NT3.51でローカルプリンタをお使いになる場合、印刷先を「LPTNx」に設定しておかないとPrintAgentが正常に機能しません。
- ネットワーク共有プリンタが直接つながっているコンピュータのOSがWindows NT4.0の場合のプリンタスプールはサポートしていません。サーバコンピュータのプリンタスプールを無効にするにはサーバコンピュータ上ですべてのプリンタの「プリンタのプロパティ」-「ポート」タブの「プリンタスプールを有効にする」のチェックを外してください。「プリンタスプールを有効にする」をチェックした場合、プリンタの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentをクライアント・サーバシステムでご使用の場合、1台のサーバに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンタの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は「PrintAgentのプロパティ」の設定の「共有プリンタを利用する」のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentの動作中は

- PrintAgentは定期的にプリンタの状態を確認しています。PrintAgentが起動した状態で、プリンタの電源をON/OFFしたり、プリンタケーブルの抜き差しは行わないでください。誤印字などの原因となります。
- 一つのコンピュータに複数のNMPS対応プリンタドライバがインストールされている場合、プリンタステータスウィンドウまたはリモートパネルを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。Windows NT3.51の場合、「プリンタの選択」ダイアログボックスは「システムアイコン」をクリックしたときのメニューから表示させることができます。

PrintAgentに関する注意事項(つづき)

PrintAgentの制限事項

- プリンタのメモリスイッチ5-1(同期コードの有効/無効の切り替え)がONになっているとPrintAgentが正しく機能しない場合があります。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- Windows 95、Windows NT3.51/4.0とPC-PTOSで同一プリンタを共有している場合はPrintAgentが正常に機能しません。PrintAgentをご使用になる場合はメモリスイッチ5-1をOFFにしてください(159ページ参照)。
- PrintAgentとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティ(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
- 一部コンピュータの平行ポートの設定(例：ECPモードなど)によっては、PrintAgentの動作に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、平行ポートの設定を変更していただくことにより、PrintAgentが正常に動作できるようになる場合があります。

赤外線通信(IrDA)オプションをご使用の場合は

Windows 95で赤外線通信(IrDA準拠)オプションでPrintAgent対応プリンタを接続している場合は、PrintAgentはご利用になれません。

プリンタステータスウィンドウ

通常プリンタが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生するとプリンタステータスウィンドウ(以下PSWと呼ぶ)ソフトウェアが自動的に起動し、画面上に次のようなウィンドウを表示します。



Windows 95またはWindows NT4.0の場合、タスクバーのトレイにあるシステムアイコンをダブルクリックするとPSWをすぐに表示することができます。

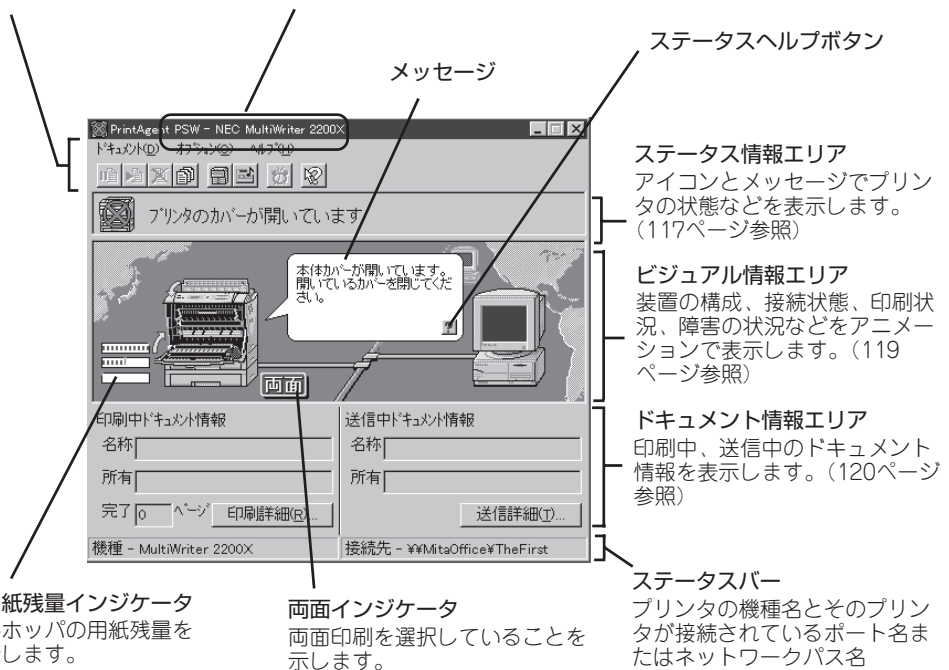
PSWは印刷の進行状況やプリンタの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。また、印刷の一時停止や取り止めなどの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー&ツールバー

処理中ドキュメントを制御することができます。またPSWの通知形式の変更やプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。

プリンタ名

プリンタに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダ「プリントマネージャ」で設定した名前です。



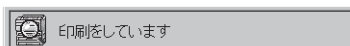
本章の説明には原則としてWindows 95またはWindows NT4.0の画面を使っています。Windows NT3.51とは基本的にタイトルバーなどの形状が異なるだけです。OSの違いによる機能の違い、制限事項があった場合はその都度説明を付け加えています。

プリンタの状態を知る

ステータス情報エリア

3種類のアイコンでプリンタの状態を表示します。文字によるメッセージ(ステータスメッセージ)と音声によるメッセージが付随します。2200Xが表示するステータスメッセージについては「ユーザーズマニュアル[3/3]」の付録Kの「PrintAgent通知一覧」(96ページ)をご覧ください。

- 通常表示



通常に印刷できる状態、または処理中の表示です。

- 通知表示



「トナーの減少」など印刷を続行するために必要な情報を表示します。プリンタアイコン上の黄色い通知アイコンが回転します。

- エラー表示



「用紙切れ」など印刷を再開するために必要な情報が表示されます。プリンタアイコン上の赤いエラーアイコンが回転します。

プリンタの構成情報

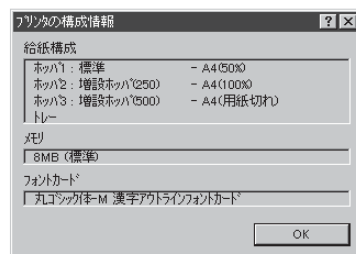
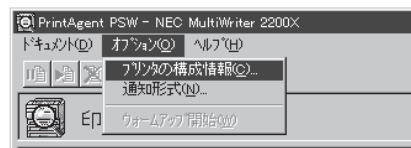
プリンタの構成情報を確認するためには、次の2つの方法があります。

- ボタンをクリックする



このボタンをクリック

- 「オプション」メニューの「プリンタの構成情報」をクリックする



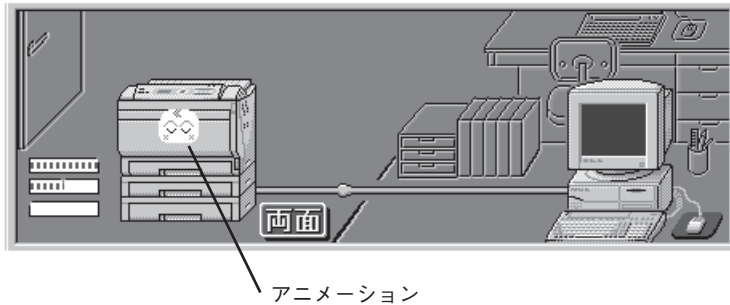
チェック

プリンタとコンピュータで双方向通信が行われていないときは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックス(Windows 95またはWindows NT4.0の場合)または「デバイスプロパティ」ダイアログボックス(Windows NT3.51の場合)の「プリンタの設定」の内容が表示されます。

ウォームアップを開始させる

プリンタが節電状態になっているかどうかをメッセージとアニメーションで確認することができます。

プリンタが節電状態であるとき、プリンタの前面に以下のようなアニメーションを表示します。



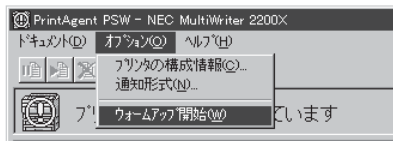
以下のボタンまたは「オプション」メニューを使って印刷前にウォームアップを開始させることができます。あらかじめ、ウォームアップを開始させておくためには、次の2つの方法があります。

- ボタンをクリックする



このボタンをクリック

- 「オプション」メニューの「ウォームアップ開始」をクリックする

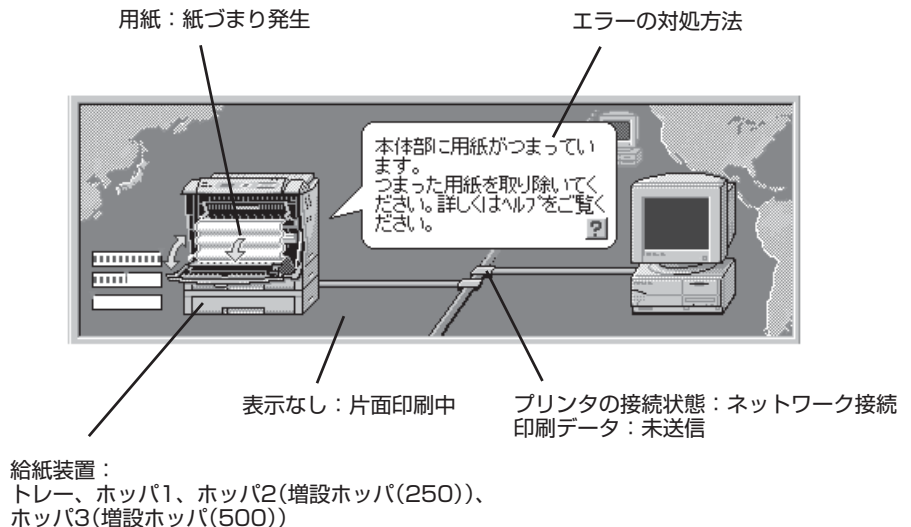
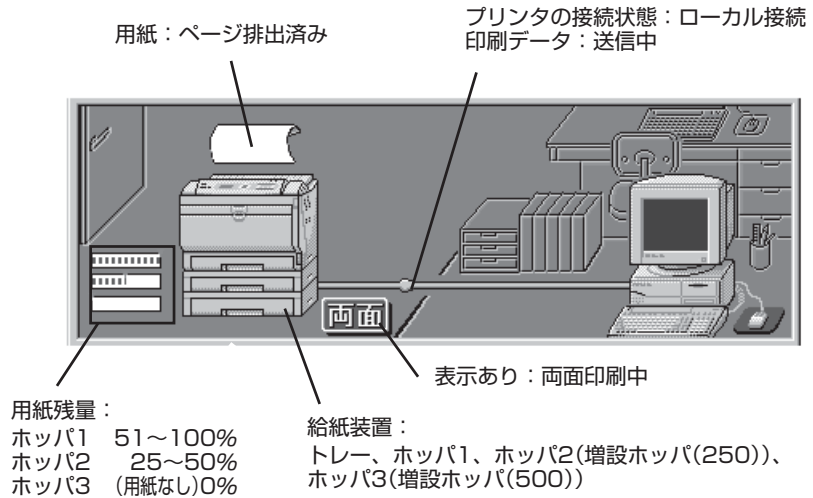


印刷の進行状況を見る

ビジュアル情報エリア

このエリアはイラストと動画(アニメーション)で次の情報を表示します。

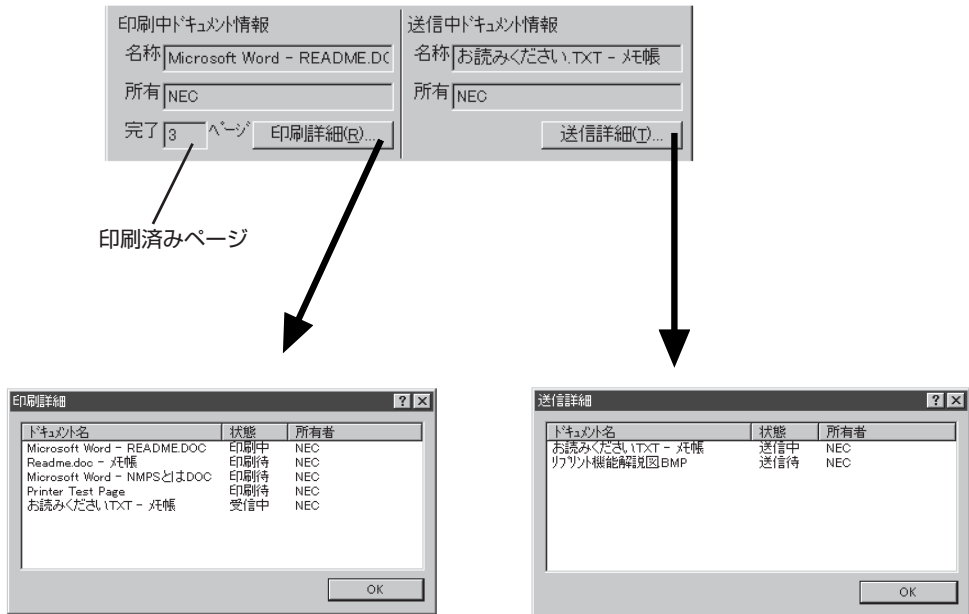
- プリンタの接続状態
- 給紙装置の構成
- 各ホッパの用紙残量
- 印刷データの処理状況
- 用紙の処理状況
- エラーの対処方法
- 両面印刷の状況



ドキュメント情報エリア

現在処理中の印刷データのドキュメント情報(ドキュメント名称、所有者名、印刷完了ページ)を表示します。

[送信中ドキュメント情報]はコンピュータからプリンタへ「送信中」のドキュメント情報を表示します。[印刷中ドキュメント情報]はプリンタで「印刷中」のドキュメント情報を表示します。さらに[詳細]ボタンをクリックすれば詳細なドキュメント情報がリスト表示されます。



送信中ドキュメントを制御する

ボタンまたは「ドキュメント」メニューを使って送信中ドキュメントを制御することができます。



Windows NTでは「一時停止」、「印刷再開」は実行できません。
またネットワーク上のWindows 95クライアントにもこの機能は実行できません。

送信中ドキュメントを制御するためには、次の2つの方法があります。

- ボタンをクリックする



印刷中止：クリックすると印刷を中止します。



印刷再開：クリックすると印刷を再開します。

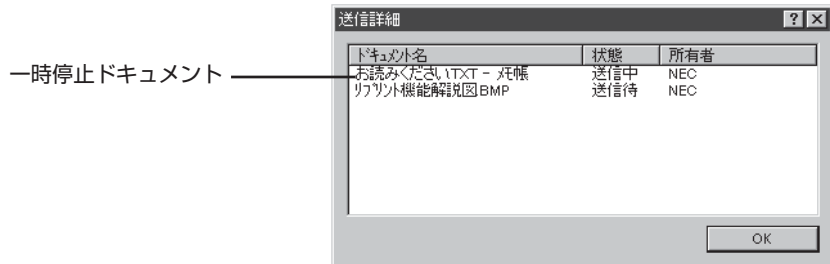


一時停止：クリックすると印刷を一時停止します。

- 「ドキュメント」メニューを使う



複数のドキュメントが送られていた場合、一時停止を行うとプリンタは次の印刷待ちドキュメントの印刷を始めるわけではありません。一時停止されたドキュメントを「印刷再開」または「印刷中止」しない限り、以降のドキュメントは処理されません。一時停止中の送信詳細ウィンドウは以下のとおりです。



リプリントを行う



チェック

リプリントを行うには、印刷時にプリンタドライバの「リプリント機能を使用する」をチェックしておく必要があります。また、「PrintAgentのプロパティ」においても「リプリント機能を提供する」をチェックしておく必要があります。（128ページ参照）

リプリントを行うためには、次の2つの方法があります。

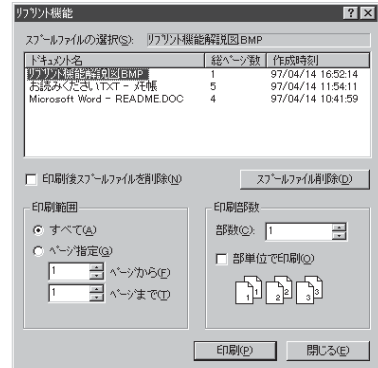
リプリント機能については、10章の「リプリント機能」(131ページ)をご覧ください。

- ボタンをクリックする



このボタンをクリック

- 「ドキュメント」メニューの「リプリント機能」をクリックする



「スプールファイルの選択」

リプリントを行うドキュメントを選択します。

「印刷後スプールファイルを削除」

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

「スプールファイル削除」ボタン

クリックすると「スプールファイルの選択」で選択したドキュメントを削除します。

「印刷範囲」

「スプールファイルの選択」で選択ドキュメントの印刷範囲を指定します。

「印刷部数」

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます。(1~99枚まで設定可能)
印刷時の部数を複数枚指定した場合、丁合いの有無について指定します。

「印刷」ボタン

クリックするとリプリントを実行します。

「閉じる」ボタン

クリックするとリプリントを実行せずに、「リプリント」ダイアログボックスを閉じます。

通知形式を変更する

通知形式を変更することによって、必要とする情報だけを選択することによりウィンドウをコンパクトにすることができます。

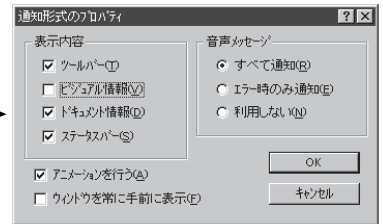
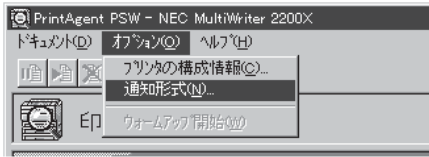
通知形式を変更するためには、次の2つの方法があります。

- ボタンをクリックする



このボタンをクリック

- 「オプション」メニューの「通知形式」をクリックする



上記のプロパティダイアログボックスの設定で表示されたPSWは次のとおりです。



「表示内容」

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報
- ステータスバー

「音声メッセージ」

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない



チェック

- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはPSWが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は「音声メッセージ」で「利用しない」を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については「PSWのプロパティ」(126ページ)をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

「アニメーションを行う」

ステータス情報エリアまたはビジュアル情報エリアでアニメーション(エラー/通知アイコン、排紙、節電状態、印刷データの送信状況の動画表現)を行うかどうかを切り替えます。

「ウィンドウを常に手前に表示」

これをチェックしておくとも一番手前にPSWが表示され続けるので、プリンタの状態を常に確認できます。

ヘルプを見る

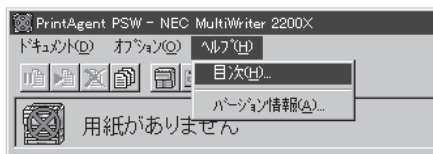
ヘルプを見るためには、次の2つの方法があります。

- ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させ、ウィンドウ内の各部分をクリックする



このボタンをクリック

- 「ヘルプ」メニューの「目次」をクリックし、「PSWヘルプ目次」を表示させる



システムメニュー

メニューの表示

システムメニューは次の2通りの方法で表示できます。

- [スタート]ボタンまたは「プログラムマネージャ」から表示させる

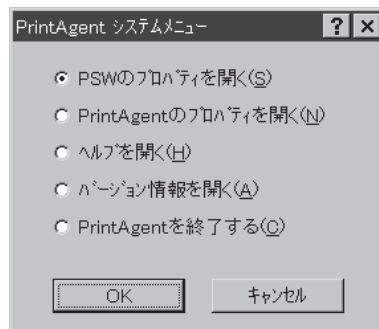
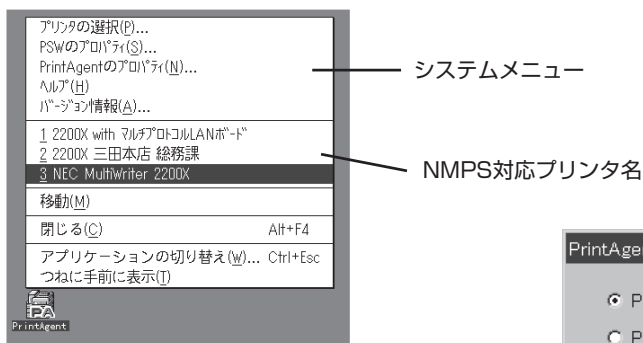
Windows 95またはWindows NT4.0なら[スタート]ボタンから、Windows NT3.51なら「プログラムマネージャ」から「MultiWriter 2200X」フォルダの「システムメニュー」を開きます。

- 「トレイアイコン」から表示させる

Windows 95/NT4.0の場合、「システムアイコン」を右クリックして表示させます。



Windows NT3.51の場合、「システムアイコン」を左クリックして表示させます。



ヒント

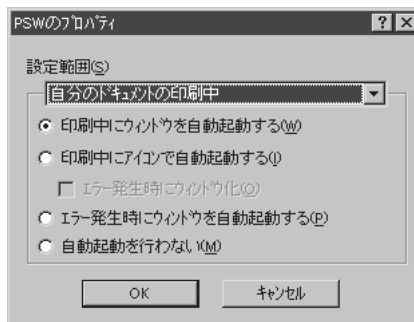
システムメニュー下段のグループは複数のNMPS対応プリンタの中から希望のプリンタのPSWを表示させるためのものです。

PSWのプロパティ

プリンタステータスウィンドウをいつ自動起動(表示)させるかを設定します。設定範囲のリストボックスから以下の2つのいずれかを選択できます。

■ [自分のドキュメントを印刷中]

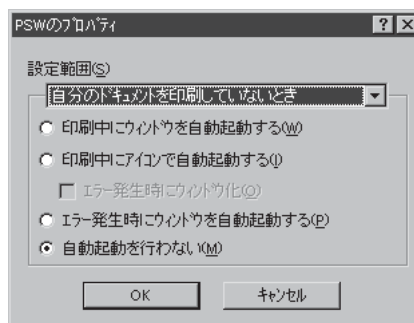
画面枠内の設定は、自分が印刷を行ったときのPSWの自動起動に関して設定できます。



■ [自分のドキュメントを印刷していないとき]

自分が印刷していない場合(ネットワーク上でプリンタを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む)のPSWの自動起動に関して設定できます。

特定のクライアントで、プリンタを管理する場合等は、[自分のドキュメントを印刷していないとき]を選択し、自動起動を行うようにすれば便利です。



以下枠内の選択項目について説明します。

「印刷中にウィンドウを自動起動する」

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

「印刷中にアイコンで自動起動する」

印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをデスクトップ上に(Windows 95、Windows NT4.0ではタスクバー上)表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、「エラー発生時にウィンドウ化」をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示されます。

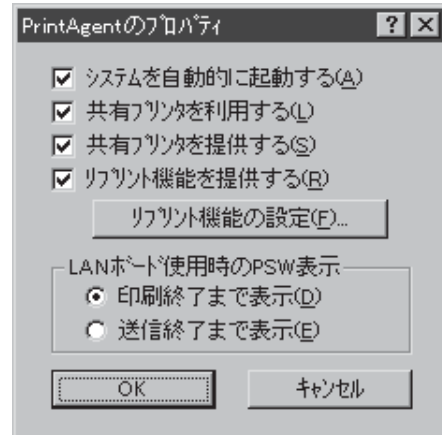
「エラー発生時にウィンドウを自動起動する」

なんらかの対処をしなれば印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

「自動起動を行わない」

印刷時の自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ



「システムを自動的に起動する」

Windowsの起動時にPrintAgentシステムが自動的に起動します。設定した内容は、次のWindows起動時またはログオン時から有効となります。

「共有プリンタを利用する」

他のコンピュータ(プリントサーバ)がネットワーク共有プリンタとして提供しているMultiWriter 2200Xに対してPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウ、リモートパネル)を利用できるようになります。

この設定は、共有プリンタに対するPrintAgent機能の利用のみを設定するもので、OFFになっても印刷自体は可能です。



チェック

設定が有効になるためには、プリントサーバ側のPrintAgentのプロパティで「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。

「共有プリンタを提供する」

お使いのコンピュータに接続されているMultiWriter 2200Xをネットワーク共有プリンタとして他のコンピュータに対して提供している場合に、他のコンピュータからPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウ、リモートパネル)が利用できるようになります。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、OFFになってもクライアントから共有プリンタに印刷することはできます。

共有プリンタを提供するコンピュータがWindowsのログオン画面表示中(ユーザーがログオンしていない間)であっても他のコンピュータからPrintAgent機能は利用可能です。



チェック

本項目は、Windows NTでは、管理者レベルのユーザのみ設定を変更できます。

「共有プリンタを利用する」、「共有プリンタを提供する」は、通常はONのままです。支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- ネットワークの回線速度が遅い
低速回線を経由する共有プリンタに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。
- コンピュータの処理能力が十分でない
コンピュータの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンタでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。
- 課金されるネットワークを使用している
プリントサーバとクライアントが電話回線やルータなどを介して通信する場合、PrintAgentは共有プリンタを利用する時に印刷を行わなくても通信を行うため、予想以上に課金されることがあります。ただし、プリンタのプロパティ(Windows 95、Windows NT4.0の場合)やプリントマネージャ(Windows NT3.51の場合)で共有プリンタを利用・提供しない設定になっている場合は、これらの設定は何も影響を与えません。

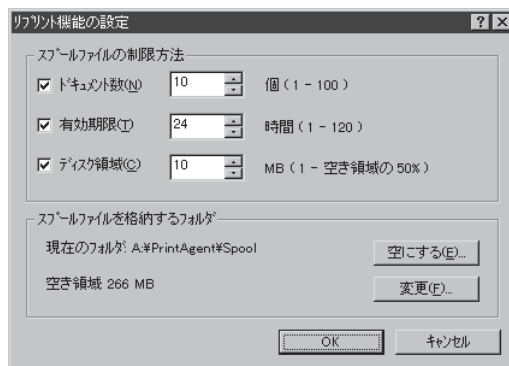
「リプリント機能を提供する」

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピュータ上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには以下のボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。

「リプリント機能の設定」ボタン

クリックすることにより、以下のリプリント機能の設定画面が表示されます。

以下の制限のいずれかに相当した場合は、すでにスプールしてあるドキュメントの中から最も古いファイルから消去されます。



ドキュメント数

スプールする最大ドキュメント数を限定します。

有効期限

スプールしておく時間を設定します。

ディスク領域

スプールに使う最大ディスク領域を設定します。

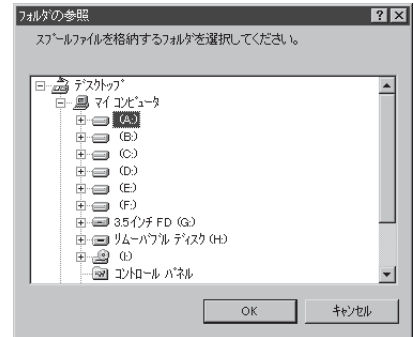
[空にする]ボタン

クリックすることにより、スプールしてあるドキュメントをすべて削除します。

[変更]ボタン

クリックすることにより、スプールするフォルダを変更します。

空き容量が不足した場合には、ボタンをクリックし、以下のフォルダの参照画面により、スプールするフォルダを変更します。



ネットワークで接続されたフォルダやリムーバブルディスクはスプールするフォルダとして指定できません。

「LANボード使用時のPSW表示」

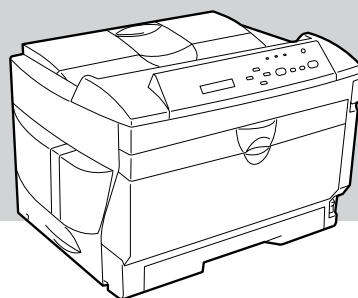
[印刷終了まで表示]ボタン選択時

自動起動の場合、印刷が終了するまでPSWを表示します。

[送信終了まで表示]ボタン選択時

自動起動の場合、プリンタへの送信が終了するとPSWを閉じます。

10 便利な機能



リプリント機能

一度印刷した文書を再度印刷できる機能です (Windows 95、Windows NT4.0/NT3.51のみ)。アプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウから直接実行できるため短時間で再印刷できます。

たとえば次のように利用すると短時間に印刷できるだけでなく、用紙の節約にもなります。

- 複数の部数を印刷するような**コピー印刷**をするとき、1部だけ試しに印刷してフォントサイズや配置などを確認してから、残りの部数を印刷する
- 一度印刷した文書を**追加印刷**する



チェック

ご使用のコンピュータにPrintAgentおよびプリンタドライバがインストールされていることが必要です。また、プリンタとコンピュータとの間で双方向通信が行われる環境で機能します。

ここではリプリント機能を使った印刷方法をWindows 95での操作を例に説明します。Windows NT4.0/NT3.51でも同様の操作で印刷できます。



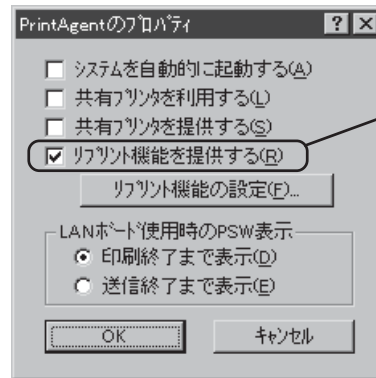
ネットワーク環境でリプリント機能を使用する場合、プリンタが接続されているサーバ上のPrintAgentのプロパティの「リプリント機能を提供する」がチェックされている必要があります。

1. 「プロパティ」ダイアログボックスの「用紙」シートを開き、「リプリント機能を使用する」をチェックします。

Windows NT4.0/NT3.51の場合は、「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスの「用紙」シートを開き、「リプリント機能を使用する」をチェックします。

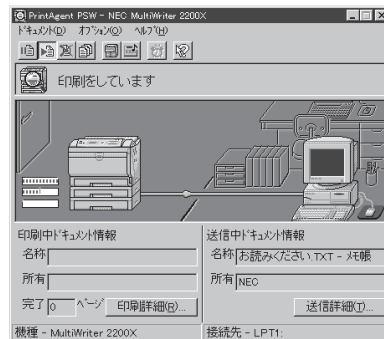


2. PrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、「リプリント機能を提供する」をチェックします。

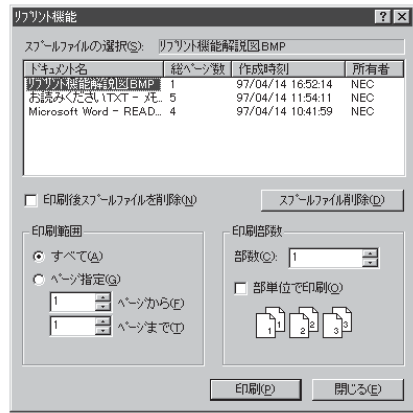


3. アプリケーションでドキュメントを印刷します。

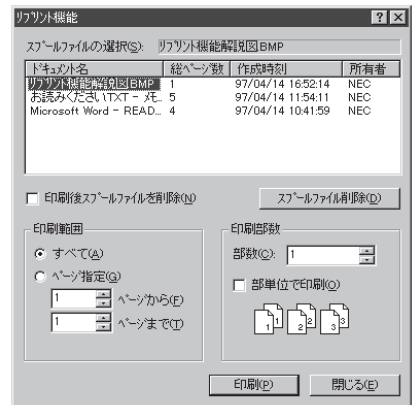
手順1～2の設定後、印刷した文書をリプリントすることができます。



4. プリントステータスウィンドウの「リプリント機能」ダイアログボックスを開き、再印刷したいドキュメントをプライベートスプールしてあるドキュメントから選びます。

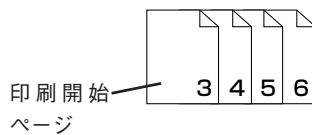


5. 再印刷する印刷範囲、印刷部数、丁合いを設定し、印刷します。

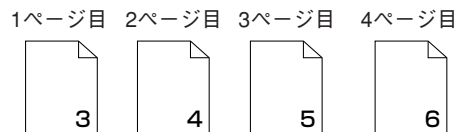


- リプリント機能で印刷できるページは手順3で実際に印刷したページから選べます。
たとえば10ページある文書の中から3～7ページを印刷した場合、リプリント機能で再印刷できるページは3～7ページの範囲です。1、2、8～10ページを再印刷することはできません。
- リプリント機能で印刷するページを指定する場合、手順3で印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。
たとえば文書の3～6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

アプリケーションからの印刷
(ページ指定:3~6)



リプリント機能での印刷



- ネットワーク環境ではプリントサーバや2200Xを共有プリンタとして他のクライアント(利用者)に提供しているコンピュータにスプールされます。

ジョブセパレート機能

ソータ機能の代わりとして利用できる機能です。印刷ジョブ(ひとつのドキュメント)ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙をスタッカ上で仕分ける機能です。

複数のドキュメントを印刷する場合やネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンタを共有して使用する場合、複数のドキュメントがスタッカ上で重なり、仕分けするのに手間がかかります。このような場合、この機能を使用すると印刷ジョブごとに印刷の向きに関係なく縦置き、横置きで交互にスタッカ上に排出するため、印刷後、ドキュメントごとに仕分ける手間がなくなります。

ジョブセパレート機能を使って印刷する



チェック

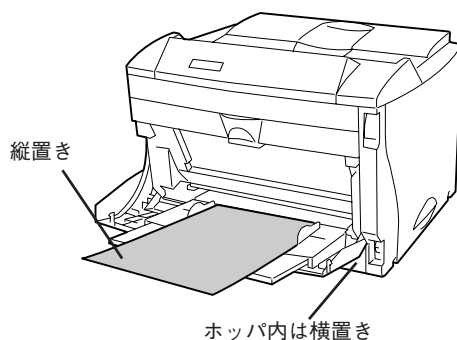
- ジョブセパレート機能は、A4用紙を縦置き、横置きに2か所以上セットしたときに機能します。A4用紙以外の用紙サイズをホッパまたはトレーにセットしても機能しません。
- トレーに用紙をセットした場合は、必ず用紙サイズを「A4」、用紙種類を「普通紙」に設定してください。設定されていないと用紙サイズエラーとなり、ジョブセパレートが正しく機能しません。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンタを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、「ジョブセパレート機能を使用する」および「給紙方法」の項目が「自動」に設定されている必要があります。

1. トレーとホッパにA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットします。

トレーに「縦置き」にセットしたときはホッパには「横置きで」、トレーに「横置き」にセットしたときはホッパには「縦置き」にセットします。

増設ホッパを装着しているときは、ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3ごとにA4用紙を縦置き、横置きにセットしてもジョブセパレートは機能します。

<トレーの用紙を縦置きにセットした場合>



2. 「プロパティ」ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、ホッパの給紙方法が「自動」になっていることを確認します。

Windows NT4.0/NT3.5.1は「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows 3.1では「印刷設定」ダイアログボックスで確認してください。

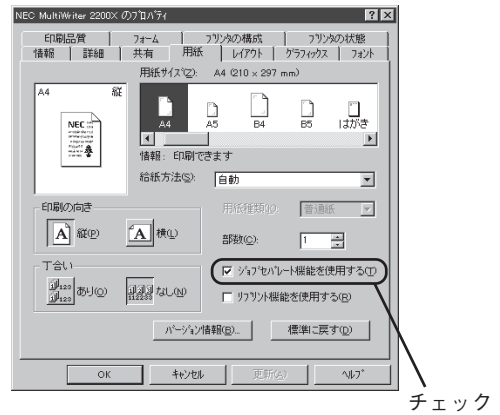


チェック

3. ジョブセパレート機能を設定します。

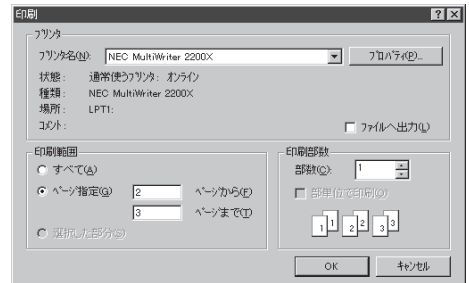
「プロパティ」ダイアログボックスの「用紙」シートを開き、「ジョブセパレート機能を使用する」をチェックします。Windows 3.1では、「プリンタの設定」ダイアログボックスを開き、「ジョブセパレート機能を使用する」をチェックします。

MS-DOS環境で印刷する場合はDOSリモートパネルがメニューモードで設定してください。

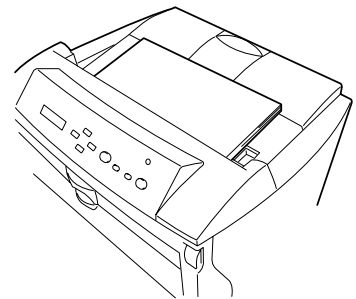


4. ジョブセパレート機能を設定した後、印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]ボタンをクリックします。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は「プロパティ」ボタンをクリックし、設定変更します。
→詳細については「プリンタドライバから設定する」(49ページ)をご覧ください。

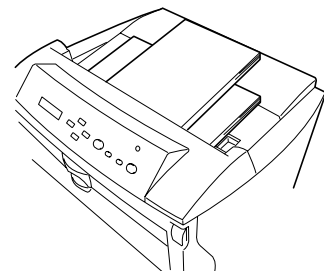


印刷が始まり、給紙設定されている(プリンタのディスプレイに表示されている)給紙部から給紙され、スタッカ上に排出されます。



5. 次の文書の印刷範囲、印刷部数を指定して印刷します。

印刷が始まり、前に印刷された用紙の置き方(横置き)と別の置き方(縦置き)にセットされている給紙部から給紙され、縦置きでスタッカ上に排出されます。



丁合い機能と組み合わせて印刷する

ジョブセパレート機能は、丁合い機能と組み合わせて使用すると、あるドキュメントを複数の部数を印刷(コピー印刷)するような場合、部単位ごとに用紙を縦置き、横置きと交互にスタック上に仕分けて排出します。

部単位ごとに縦置き、横置きと交互にスタック上に仕分けて排出されますので、スタック上で重なって排出された用紙を部単位ごとに仕分ける手間がなくなり、印刷された後の作業の効率化を図ることができます。



- 丁合い機能の選択は「プリンタプロパティ」で行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合いの指定ができる場合がありますが、これらの機能を使用しないでください。アプリケーションの印刷機能で丁合いを指定した場合、正しく機能しない場合があります。
- この機能はWindows 95、Windows NT4.0/3.51で動作しているコンピュータで利用できます。また、コンピュータにPrintAgentおよびプリンタドライバがインストールされていること、プリンタとコンピュータとの間で双方向通信が有効であることを確認してください。

1. 「ジョブセパレート機能を使って印刷する」(134ページ)を参照しながら、プリンタにジョブセパレート機能を設定します。

2. 「プロパティ」ダイアログボックスの「用紙」シートを開き、「丁合い」項目で、「あり」を選択します。

Windows NT4.0/NT3.51は「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスの「用紙」シートを開いて選択します。



クリック

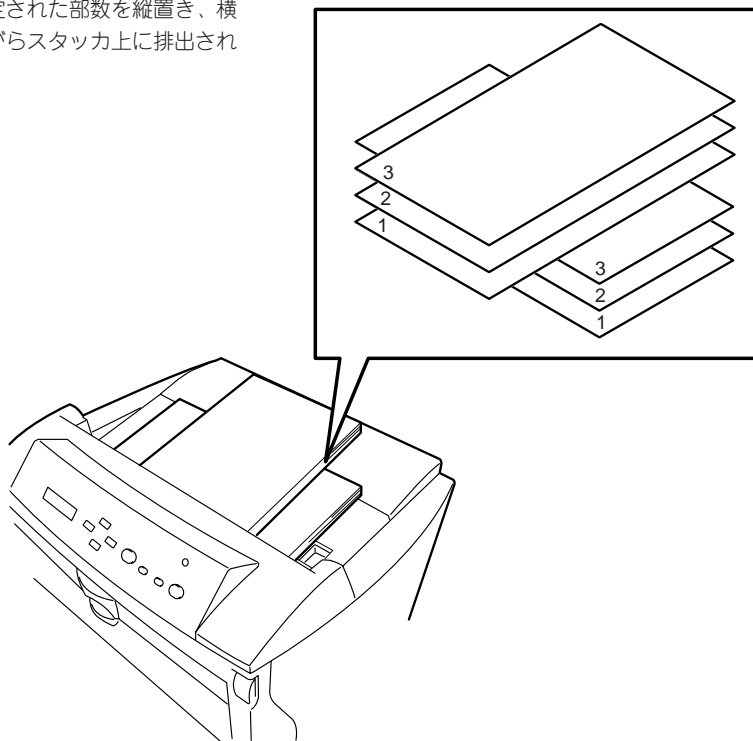
3. 指定範囲、印刷部数を指定して印刷します。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]ボタンをクリックし、設定変更します。

→詳細については「プリンタドライバから設定する」(49ページ)をご覧ください。



部単位ごとに指定された部数を縦置き、横置きで仕分けながらスタッカ上に排出されます。



両面印刷機能

MultiWriter 2200Xは標準で両面印刷機能を搭載しています。この機能はA3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。

厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、ラベル紙が選択されている場合は使用できません。用紙に関しては4章の「用紙の取り扱い」(23ページ)をご覧ください。



本書で指定している用紙を使用してください。また、両面印刷で使用する用紙は両面とも印刷されていない用紙です。指定以外の用紙を使って印刷をしたり、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンタの故障の原因となります。

両面印刷を行う印刷データが非常に複雑な場合、両面印刷を行う用紙サイズがB4、A3サイズのように大きい場合は両面印刷が片面印刷になったり、表面が白紙になったりして正しく印刷できないことがあります。その場合には、メモリを増設し、ページプロテクトをONに設定することで解決できます。

用紙サイズに対して、どの程度メモリを増設すればよいかは以下に示す一覧表を参照してください。A4サイズより小さい用紙サイズでは、メモリを増設しなくても正しく印刷できます。

メモリ増設

印刷データ サイズ	ページ プロテクト	片面/両面	プリンタのメモリ			
			8MB (標準)	16MB (+8MB)	24MB (+16MB)	40MB (+32MB)
A4	OFF	片面	◎	◎	◎	◎
		両面	○	○	○	◎
	ON	片面	—	◎	◎	◎
		両面	—	◎	◎	◎
B4	OFF	片面	○	○	◎	◎
		両面	○	○	○	○
	ON	片面	—	◎	◎	◎
		両面	—	◎	◎	◎
A3	OFF	片面	○	○	○	◎
		両面	○	○	○	○
	ON	片面	—	◎	◎	◎
		両面	—	△	◎	◎

- ◎ : 印刷が可能
- : 印刷が可能 (圧縮率1/5での印刷は保証。ただし、「メモリオーバー」「インサツフカ」になる場合がある)
- △ : 両面印刷が不可の場合がある (片面印刷になる)
- : 設定不可

次の手順で両面印刷をします。

1. 両面印刷、綴じしろ、綴じ方向を設定します。

「プロパティ」ダイアログボックスを開きます。Windows 3.1では、「プリンタの設定」ダイアログボックスから「レイアウト」ダイアログボックスを開きます。

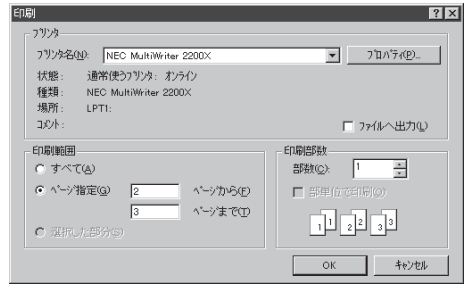
MS-DOS環境で印刷する場合はDOSリモートパネルかメニューモードで設定してください。



2. 指定範囲、印刷部数を指定します。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]ボタンをクリックし、設定変更します。

→詳細については「プリンタドライバから設定する」(49ページ)をご覧ください。



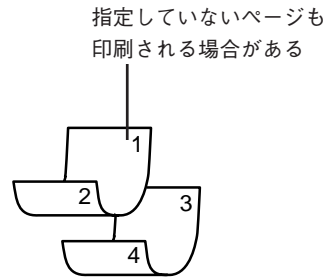
ページの指定と印刷結果について

印刷データの印刷範囲に奇数ページが指定されたとき、指定ページ以外のページ数が印刷されることがあります。

1～5ページある印刷データで、2～4ページの印刷範囲を指定した場合、1枚目は1ページと2ページが印刷され、2枚目は3ページと4ページが印刷される場合があります。

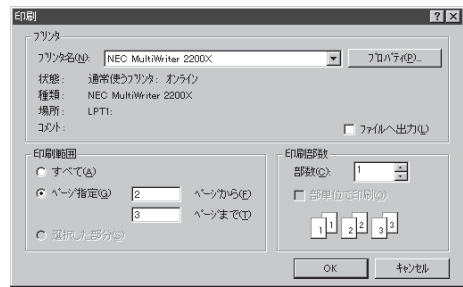


印刷の合計ページは3ページ(奇数)



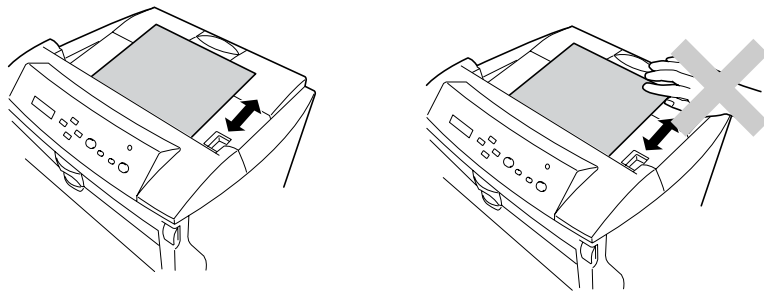
3. [OK]ボタンをクリックして印刷を開始します。

プリンタの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。



両面印刷中のプリンタの動作について

両面印刷中は、片面印刷を終了した用紙が、いったん、スタッカ上に現れますが、再びプリンタ内部に吸い込まれていきます。これは用紙を反転させるための動作で、故障ではありません。片面印刷が終了し、スタッカ上に現れた用紙を引き抜いたり、用紙にさわったりしないでください。印刷範囲がずれたり、思うように印刷できないばかりでなく、紙づまりやプリンタの故障の原因となることがあります。



印刷ログ出力機能

MultiWriter 2200Xには印刷した履歴をログ情報として、Windows NT4.0/NT3.51のPrintAgentをインストールしたフォルダ上に出力し、記録させる機能があります(この機能はプリンタ管理者のみご使用になれます)。

プリンタがどのクライアントに一番多く使用されているか、毎月何日頃に多く使用されているか、一回の印刷で使用されている用紙の枚数はどの程度かなどを集計することができます。

これらの情報から、年間・月ごとやクライアント別のプリンタの使用頻度の統計、消耗品の準備時期などの管理ができます。

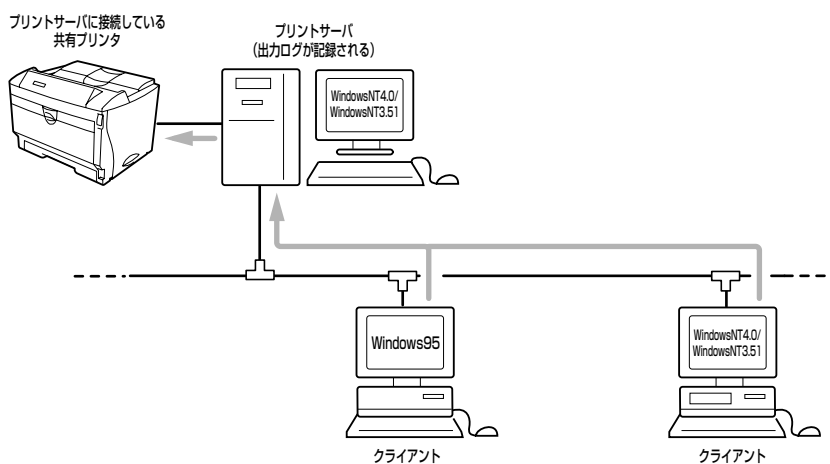
この機能を使用できる環境は以下のとおりです。



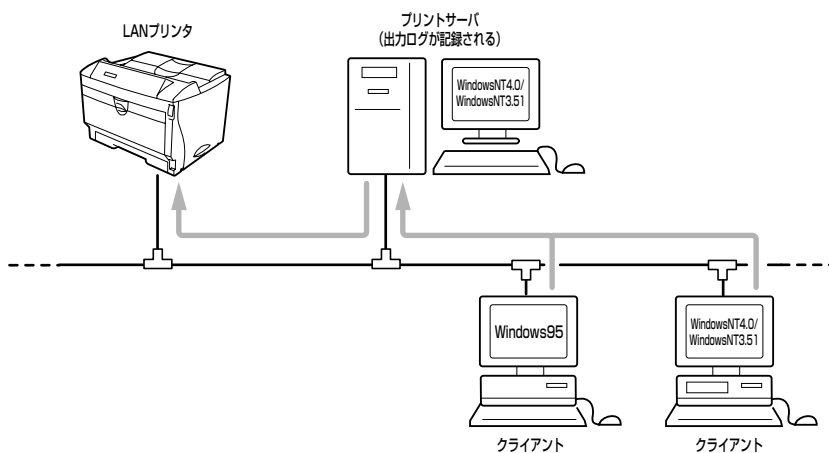
チェック

Windows 95では、ローカル接続、ネットワーク接続に関係なくWindows 95上に印刷ログは記録できません。

- Windows NT4.0/NT3.51 サーバ経由での印刷(クライアントはWindows 95も可)

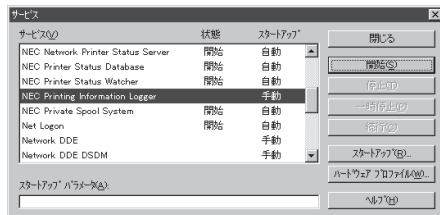


- Windows NT4.0/NT3.51 のサーバ経由でマルチプロトコルLANボードによりネットワークに直結されたプリンタへの印刷([PrintAgentのプロパティ]-[LANボード使用時のPSW表示]で、「印刷終了まで表示」がチェックされている必要があります。「送信終了まで表示」を選択した場合には印刷ログは記録されません。)

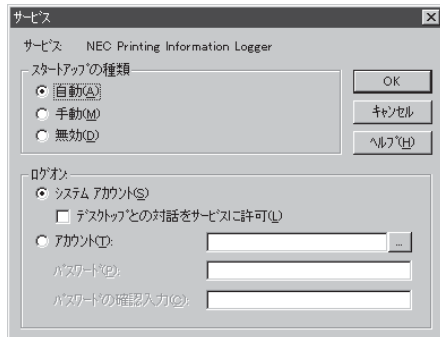


印刷ログ出力機能を設定する

印刷ログ出力機能を利用するときは、サーバとなるWindows NT4.0/NT3.51の[コントロール パネル]-[サービス]で「NEC Printing Information Logger」を選択し、[開始]ボタンをクリックしてサービスを起動してください。



次回起動時も自動的にサービスを起動するには、[スタートアップ]をクリックしてダイアログボックスを開き、「手動」から「自動」へ変更してください。

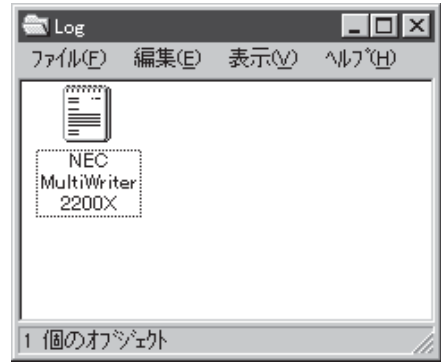


印刷ログファイルの内容

印刷ログ出力機能を利用する設定にして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダに「LOG」というサブフォルダが作成されます。



また印刷が行われると、そのサブフォルダ内に「NEC MultiWriter 2200X.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。



AドライブのルートにPrintAgentをインストールし、NEC MultiWriter 2200Xで印刷を行ったとき、ログファイルは以下のディレクトリに作成されます。

ログファイル：A:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 2200X.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”, “ドキュメント名”, “ドキュメント所有者名”, 印刷開始日, 印刷開始時刻, 印刷終了日, 印刷終了時刻, 印刷枚数

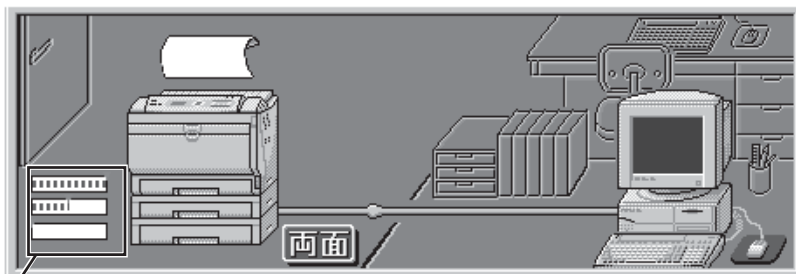
- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は“.log”から“.001”, “.002”...のようになります。

(例) ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 2200X", "お読みください - メモ帳", "近藤", 97/04/25, 午後 07:12:20, 97/04/25, 午後 19:12:44, 5,
"NEC MultiWriter 2200X", "海辺の思い出", "逸見", 97/04/25, 午後 07:13:53, 97/04/25, 午後 19:14:05, 1,
"NEC MultiWriter 2200X", "NEC MultiWriter 2200X - メモ帳", "竹田", 97/04/25, 午後 07:17:49, 97/04/25, 午後 19:17:57, 1,
"NEC MultiWriter 2200X", "network", "鷺津", 97/04/25, 午後 07:20:45, 97/04/25, 午後 19:21:40, 16,

用紙残量表示

ステータスウィンドウにはホッパにセットされた用紙の残量が4段階(用紙なし、1-24%、25-50%、51-100%)に表示されます。



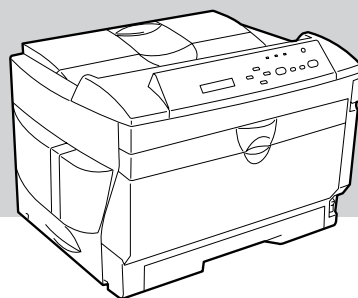
用紙残量：
ホッパ1- 51~100%
ホッパ2- 25~50%
ホッパ3- (用紙なし)0%

印刷する前にプリンタの用紙残量をデスクトップ上で確認することができるので、ネットワーク環境でプリンタを使用している場合、プリンタの設置場所まで行き、用紙の残量を確認する必要がありません。ただし、トレーにセットされている用紙の残量は表示できません。この表示により、使用するホッパの用紙残量をこまめにチェックすることができます。



ご使用のコンピュータにPrintAgentおよびプリンタドライバがインストールされていることが必要です。また、双方向通信が可能でなければなりません。

11 プリンタの設定



設定項目一覧

5章、6章、7章、8章では各Windows環境から印刷の設定を行う方法を説明していますが、MultiWriter 2200Xでは、Windows環境以外からも印刷の設定を行うことができます。

印刷の設定方法には以下のものがあります。

- メニューモード(メモリスイッチも含む)
- MS-DOS用リモートパネル

これらの設定方法はそれぞれ、変更できるプリンタの設定項目が異なります。各設定方法で設定できる項目の一覧を以下に示します。

設定項目	メニューモード	メモリスイッチ (MSW)	MS-DOS用リモートパネル	
			書式設定	MSW設定
テスト印刷メニュー				
ステータス印刷実行	○	×	×	×
サンプル印刷実行	○	×	×	×
連続印刷実行	○	×	×	×
16進ダンプ実行	○	×	×	×
印刷設定メニュー				
コピー枚数設定	○	×	○	×
トナー節約	○	×	×	×
印字濃度	○	×	×	×

設定項目	メニューモード	メモリスイッチ (MSW)	MS-DOS用リモートパネル	
			書式設定	MSW設定
用紙メニュー				
ホッパ初期設定	○	×	×	○
用紙サイズ設定	○	×	×	○
トレイ用紙種別	○	×	×	○
リレー給紙設定	○	×	×	○
ジョブセパレート機能	○	×	×	○
印字位置設定メニュー				
ホッパ1微調整	○	○	×	○
ホッパ2微調整	○	○	×	○
ホッパ3微調整	○	○	×	○
トレイ微調整	○	○	×	○
表面微調整	○	○	×	○
裏面微調整	○	○	×	○
両面印刷メニュー				
初期設定	○	×	×	○
とじしろ	○	×	×	○
余白	○	×	×	○
クリップ	○	×	×	○
運用メニュー				
節電機能	○	○	×	○
自動排出	○	○	×	○
メモリ設定	○	○	×	○
フォントメニュー				
1バイト系ゼロ	○	○	×	○
2バイト系ゼロ	○	×	×	○
ANK	○	×	×	○
漢字	○	×	×	○
漢字1	○	×	×	○
漢字2	○	×	×	○
文字セット	○	×	×	○
国別	○	○	×	○
動作メニュー				
動作エミュレーション	○	×	×	○
動作自動切り替え	○	×	×	○
NPDL設定メニュー				
A4ポートレート桁数	○	○	×	○
エミュレーション	○	○	×	○
136桁モード設定	○	○	×	○
プロッタ設定	○	×	×	×
RS232C設定メニュー	○	×	×	×
設定初期化メニュー				
初期化	○	×	×	○
呼び出し	○	×	×	×
記憶	○	×	×	×
メモリスイッチメニュープロッタ設定				
ペン選択	○	×	×	×
原点位置設定	○	×	×	×
SPコマンド排出	○	×	×	×

メニューモード

プリンタのメニューモードに入ると、プリンタの操作パネル上のスイッチを使ってプリンタのさまざまな設定を変更することができます。



チェック

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

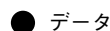
メニューモードへの入り方と終わり方

1. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にします。

印刷可ランプが消灯します。



2. データランプが点灯していないことを確認します。



3. [メニュー]スイッチを押します。

ディスプレイに“テストメニュー →”と表示されます。



テストメニュー →

4. メニューモードの設定内容を変更します。

メニューモードの内容は巻末のメニューモード一覧表を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

◀、▼、▶、▲スイッチ

このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

設定変更スイッチ

レベル3をひとつずつ表示し、同時に表示された内容が自動的に選択されます。

5. [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了します。

プリンタはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。



ホッパ° A4 ホート
NPDL

メニューの内容

テスト印刷 (テストインサツメニュー)

ステータス印刷、サンプル印刷、連続印刷(テスト印刷)または16進ダンプ印刷を実行します。テスト印刷は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押し、[ストップ]スイッチを押しながら[印刷可]スイッチを押してください。

詳細については「ユーザーズマニュアル[1/3]」(31ページ)をご覧ください。

印刷環境の設定 (インサツセッテイメニュー)

1. コピー枚数

コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。

プリンタをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先します。

2. トナー節約

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。

トナー節約機能はプリンタドライバから設定することもできます。Windowsから2200Xのドライバを使用して印刷する場合には、ドライバ上での設定が優先されます。



チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

3. 印字濃度

印字濃度を「淡い」、「やや淡い」、「普通」、「やや濃い」、「濃い」の5段階の中から設定できます。

用紙の設定 (ヨウシメニュー)



チェック

設定できる機能には、「メモリスイッチの設定」(154ページ)で設定できる機能もあります。その場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

1. ホッパ初期設定

増設ホッパ(オプション)が取付けられている時のみ表示されます。

電源投入時およびリセット時のホッパ設定をどのホッパにするかを選択します。

2. 用紙サイズ設定

ホッパ給紙時の用紙サイズ設定を自動設定にするか、固定サイズ(レターサイズ)設定にするかを選択します。

3. トレー用紙

トレーで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「OHP」の3種類から設定します。ここで指定した種別はすべての用紙サイズで有効です。

4. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。

指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパかトレーに同じサイズの内紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。

リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパやトレーの内、2つ以上に同じサイズの内紙をセットしている。

5. ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。ジョブセパレート機能の詳細については10章の「ジョブセパレート機能」(134ページ)をご覧ください。

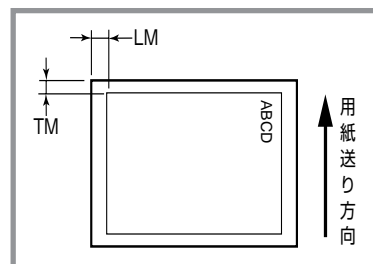
印字位置微調整の設定 (インジセツテイメニュー)

ホッパ、トレー、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。

メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。

調整できる範囲は、「-3.9ミリ」~「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。

設定変更スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。



チェック

この設定は、プリンタやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。

またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

両面印刷の設定 (リョウメンインサツメニュー)

1. 初期設定

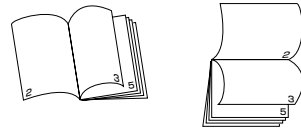
電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. とじしろ

綴じしろを付加する位置を設定します。

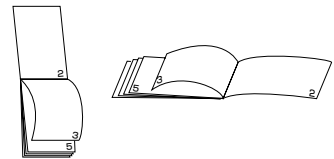
- ロング1

印刷方向がポートレートの場合は長い辺の左側を綴じ、ランドスケープの場合は長い辺の上側を綴じます。



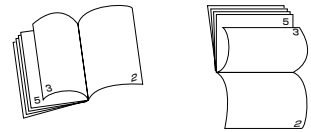
- ショート1

印刷方向がポートレートの場合は短い辺の上側を綴じ、ランドスケープの場合は短い辺の右側を綴じます。



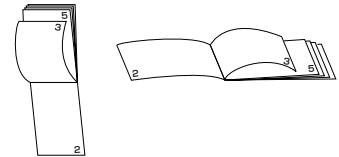
- ロング2

印刷方向がポートレートの場合は長い辺の右側を綴じ、ランドスケープの場合は長い辺の下側を綴じます。



- ショート2

印刷方向がポートレートの場合は短い辺の下側を綴じ、ランドスケープの場合は短い辺の左側を綴じます。



3. 余白

綴じしろを付加する量を設定します。設定範囲は0~20mmで、1mm間隔で設定可能です。

4. クリップ

綴じしろを付加した場合、印字領域が狭くなることによって、印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか自動改行/改ページするかを設定します。

運用環境の設定 (ウツヨメニュー)

1. 節電機能

節電機能を使用するかしないかを選択します。節電機能に入るまでの時間を選択します。



チェック

プリンタの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を30W以下の状態に節約できる機能です。

節電機能を使用しているときは、プリンタは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります(最大で約95秒)。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

2. 自動排出

自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。

データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

3. メモリセッテイ

プリンタが持つメモリの使用方法を選択します。

● ページプロテクト

プリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定します。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮され、分割されてメモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなります。このためメモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかしデータが非常に複雑な場合や両面印刷設定の場合、プリンタは操作パネルに“メモリオーバー”あるいは“インサツフカ”を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データを圧縮処理せず、分割してメモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。

ただし、メモリ増設サイズによっては、両面印刷ができない用紙サイズが存在します。



チェック

ページプロテクトをONにするためには8MB以上のメモリを増設する必要があります。また、両面印刷をすべての用紙サイズで実行できるようにするためには、16MB以上のメモリを増設する事をお勧めします。両面印刷については138ページをご覧ください。

通常はOFFのみで使用してください。“メモリオーバー”あるいは“インサツフカ”が表示される時のみ、メモリを増設してページプロテクトをONにしてください。

- メモリ割り当て

ページプロテクトで印刷データのために割り当てられた容量を除く残りのメモリを、印刷する場合にどのように利用するかを指定します。

- 標準

通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリを最適に割り当てます。通常はこの設定のままでお使いください。

- 受信バッファ優先

印刷データをプリンタ内部に蓄えるために使用されるメモリ(受信バッファ)に優先してメモリを割り当てます。これにより、コンピュータが印刷のために行う処理を少なくすることができます。



チェック

「ジュシンバッファユウセン」に設定した場合、ネットワーク用プリンタユーティリティ使用時に表示される「メモリサイズ」の各々の項には実装されているメモリ容量よりも少ない値が表示されます。NPDLのステータス印刷では正しい値が表示されます。

- 文字キャッシュ優先

印刷データ中の文字データを認識するために使用されるメモリ(文字キャッシュ)に優先してメモリを割り当てます。文字データの多いもの(テキストデータなど)を印刷するときこの設定を指定しておくこと、処理能力が向上します。

- フォーム登録優先

フォーム登録のために使用されるメモリに優先してメモリを割り当てます。定型の印刷データを使う場合はこの設定に指定しておくこと、多量の印刷データを取り扱うことができます。

フォーム登録についての詳細は、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」を参照してください。

フォント環境の設定 (フォントメニュー)

フォントに関する設定は、プリンタが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「ユーザズマニュアル[3/3]」の「文字の種類」(80ページ)をご覧ください。

- 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。
メモリスイッチ2-1でも選択できます。

- 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。

- ANK

1バイトコード系のフォントのANK文字(アルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。

- 漢字

標準フォント(2バイト文字)を選択します。

“←カンジ カンジ1*”はこの後の“←カンジ1”で、“←カンジ カンジ2*”は“←カンジ2”で選択した書体を選択します。

- 漢字1
カンジ1のフォントとして、漢字アウトラインフォントカード(オプション)のフォントを選択します。
漢字アウトラインフォントカードが未装着のときは、ゴシック体のみが表示されて選択できます。
- 漢字2
カンジ2のフォントとして、漢字アウトラインフォントカード(オプション)のフォントを選択します。
漢字アウトラインフォントカードが未装着のときは、ゴシック体のみが表示されて選択できます。
- 文字セット
2バイト系文字セットを選択します。
- 国別
各国文字セットを選択します。

動作環境の設定 (トウサメニュー)

1. 動作エミュレーション

プリンタ前面、背面のインターフェースで個別にプリンタの動作モードを設定します。NPDモードとESC/Pエミュレーションモードのどちらかを設定することができます。MS-DOS等のアプリケーションで、NPDや201PLEミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

2. 動作自動切り替え

自動切り替えチェックボックスをONにすると送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。

NPD環境の設定 (NPDセッテイメニュー)

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

B5サイズの場合には67桁、B4サイズの場合には96桁となります。

メモリスイッチ2-7でも選択できます。

2. エミュレーション

ページプリンタモードが201PLEミュレーションモードかを選択します。

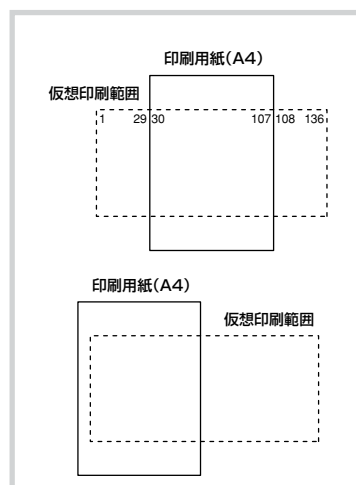
メモリスイッチ2-2でも選択できます。

3. 136桁モード設定

- 用紙位置

136桁モードの有効・無効を選択します。
136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリスイッチ3-6でも選択できます。

- ◇ 用紙位置中央合わせでは、A4サイズ of 用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
- ◇ 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。



- 微調整

136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。メモリスイッチ3-1、3-2、3-3、3-4の組み合わせで選択することもできます。

プロッタ環境の設定 (フロッタセッテイ)

プロッタエミュレーションボード(オプション)を装着時のみ設定できます。
ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出の選択をすることができます。詳細についてはプロッタエミュレーションボードの取扱説明書をご覧ください。

RS232C環境の設定 (RS232Cセッテイメニュー)

プロッタエミュレーションボード(オプション)を装着時のみ設定できます。
RS232Cインタフェースの通信速度、通信プロトコル、通信データのパリティ、データビット、ストップビットの選択をします。詳細についてはプロッタエミュレーションボードの取扱説明書をご覧ください。

メニュー項目の登録 (セッテイシヨクメニュー)

設定をまとめて記憶させ、必要なときに呼び出します。同時にメニューモードを終了します。
設定初期化を実行すると、プリンタは初期設定に戻ります。
設定呼び出しを実行すると、セッテイキオクで記憶されている内容を呼び出します(初期設定に戻すこともできます)。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定とトレースイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

メモリスイッチの設定

メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがここにまとめられています。詳細については、「メモリスイッチの内容」(155ページ)をご覧ください。

メモリスイッチの内容

メモリスイッチはONかOFFを選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。

メモリスイッチは1-1から8-8まであります(未使用のスイッチもあります)。

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容

番号	機能	OFF	ON	ESC/Pモードでの機能
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより5か国語の文字を切り替えます。(157ページ参照)		○
1-2				
1-3		すべてOFF(日本語)		
1-4	(未使用)			—
1-5	DC1、DC3の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他	×
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	○
2-1	1バイトコード系のゼロの字形の切り替え	0	∅	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	201PLIミューション(NPDL)	ページプリンタ	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード	×
2-4 ~2-5	(未使用)			—
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁	○
2-8	B4→A4縮小の縮小率	4/5	2/3	○
3-1	レフトマージン量の設定または用紙位置微調整量の設定(136桁モード)	4つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位)(158ページ参照)		○
3-2				
3-3				
3-4		すべてOFF(0インチ)		
3-5	用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)	左	右	○
3-6	用紙位置の設定(136桁モード)	左端合わせ	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	無効	有効	×
3-8	ブザー機能の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
4-1	解像度の選択	600dpi	400dpi	○
4-2	(未使用)			—
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	初期化する	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	出力する	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り	○
4-6 ~4-8	(未使用)			—

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容(続き)

番号	機能	OFF	ON	ESC/Pモードでの機能
5-1	同期コードの有効/無効の切り替え	無効	有効	×
5-2 ~5-8	(未使用)			-
6-1	SETを使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-2	メモリオーバー時の動作指定	停止する	解像度を落として印刷	○
6-3 ~6-6	(未使用)			-
6-7	節電機能を使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-8	(未使用)			-
7-1	データストロープのデータラッチタイミング (前面のセントロニクス・インタフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-2	データストロープのデータラッチタイミング (前面のセントロニクス・インタフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-3	(未使用)			-
7-4	ホッパ2に装着した増設ホッパの種類	増設ホッパ(250)	増設ホッパ(500)	○
7-5	ホッパ3に装着した増設ホッパの種類	増設ホッパ(250)	増設ホッパ(500)	○
7-6	(未使用)			-
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する/しないの切り替え	表示する	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする/しないの切り替え	自動縮小する	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ピジィアクノリッジ(BUSY-ACK)のタイミング(前面セントロニクスインタフェース)	2つのスイッチのON/OFFの組みあわせで、BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA		○
8-3 8-4	アクノリッジ(ACK)の幅(前面セントロニクス・インタフェース)	2つのスイッチのON/OFFの組みあわせで、ACKの幅を切り替えます。 1 μs		○
8-5 8-6	ピジィアクノリッジ(BUSY-ACK)のタイミング(背面セントロニクスインタフェース)	2つのスイッチのON/OFFの組みあわせで、BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA		○
8-7 8-8	アクノリッジ(ACK)の幅(背面セントロニクス・インタフェース)	2つのスイッチのON/OFFの組みあわせで、ACKの幅を切り替えます。 1 μs		○

表中の太字は工場設定を表します。

メモリスイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるもの(※)もあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

1-1~1-3 各国文字の切り替え※

3つのメモリスイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
日本	OFF	OFF	OFF
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON

- 表中の太文字は工場設定を表します。
- 表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「ユーザーズマニュアル[3/3]」の「国別相違点」(87ページ)をご覧ください。

1-5 DC1およびDC3の有効/無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

1-6 自動復帰改行の切り替え

バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。
同期コード無効(メモリスイッチ5-1 OFF)時に有効です。

1-7 印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8 CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1 1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え※

1バイト(8ビット)コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2 エミュレーションモードの切り替え※

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンタ(NPDL)にするかを切り替えます。

2-3 グラフィック(ドット列印刷)モードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

2-6

7ビット/8ビットデータの切り替え

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。
ページプリンタ(メモリスイッチ2-2 ON)時は8ビット有効に固定されます。

2-7

A4ポートレート印刷桁数の切り替え※

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

B5サイズの用紙の場合は67桁、B4サイズの用紙の場合は96桁となります。

2-8

B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの縮小スイッチまたは制御コード(FS f)を使ってB4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1~3-4

レフトマージン量の設定※

レフトマージン量を設定します。

ページプリンタ(メモリスイッチ2-2 ON)時に有効です。

レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第1印刷位置までの距離です。

レフトマージン量は4つのメモリスイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

用紙位置の微調整(136桁モード)※

印刷位置がずれた場合、用紙位置を調整します。

136桁モード(メモリスイッチ3-7 ON)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

用紙位置調整量は4つのメモリスイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
0インチ	OFF	OFF	OFF	OFF
1/10インチ	ON	OFF	OFF	OFF
2/10インチ	OFF	ON	OFF	OFF
3/10インチ	ON	ON	OFF	OFF
4/10インチ	OFF	OFF	ON	OFF
5/10インチ	ON	OFF	ON	OFF
6/10インチ	OFF	ON	ON	OFF
7/10インチ	ON	ON	ON	OFF
8/10インチ	OFF	OFF	OFF	ON
9/10インチ	ON	OFF	OFF	ON
1インチ	OFF	ON	OFF	ON
11/10インチ	ON	ON	OFF	ON
12/10インチ	OFF	OFF	ON	ON
13/10インチ	ON	OFF	ON	ON
14/10インチ	OFF	ON	ON	ON
15/10インチ	ON	ON	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

3-5

用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
136桁モード(メモリスイッチ3-7 ON)時に有効です。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

3-6

用紙位置の設定(136桁モード)※

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
136桁モード(メモリスイッチ3-7 ON)時に有効です。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

3-7

136桁モードの有効/無効の切り替え※

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

3-8

ブザー機能の有効/無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-1

解像度の選択

プリンタの解像度を切り替えます。600dpiと400dpiが指定できます。

4-3

ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない(メモリスイッチ4-3 ON)ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

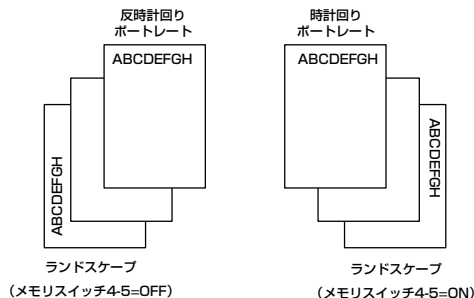
FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない(メモリスイッチ4-4 ON)ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカ上での積み重なり方を切り替えます。



5-1

同期コードの有効/無効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。PC-PTOS環境で使用する場合は、このスイッチをON(同期コード有効)にする必要があります。

6-1

SETを使用する/しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-2

メモリアーバー時の動作指定

印刷データ圧縮を指定したとき(メニューモードの「メモリ設定」で「ページプロテクト」をOFFに設定した場合)、メモリアーバーが起きた場合の動作を指定します。

OFFにすると、メモリアーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。印刷可スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。ONにすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

6-7

節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

データストロープ信号のデータラッチタイミング

7-1：前面のセントロニクス・インタフェース

7-2

データストロープ信号のデータラッチタイミング

7-2：背面のセントロニクス・インタフェース

7-1または7-2を前縁ラッチに指定した場合は、高速にデータを受信することができます。ただし、接続するコンピュータによっては、うまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。

7-4

ホッパ2に装着した増設ホッパの種類

増設ホッパ(250)または増設ホッパ(500)のどちらがホッパ2に装着されているのかをプリンタに認識させます。

7-5

ホッパ3に装着した増設ホッパの種類

増設ホッパ(250)または増設ホッパ(500)のどちらがホッパ3に装着されているのかをプリンタに認識させます。

7-7

FS fコマンドで指定サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8

FS fコマンドで自動縮小を表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1, 8-2

ビジー(BUSY)－アックノリッジ(ACK)のタイミング

8-1、8-2：前面のセントロニクス・インタフェース

8-5, 8-6

ビジー(BUSY)－アックノリッジ(ACK)のタイミング

8-5、8-6：背面のセントロニクス・インタフェース

2つのメモリスイッチの組み合わせにより、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。

ACKのタイミング	8-1または8-5	8-2または8-6
タイミングA	OFF	OFF
タイミングB	ON	OFF
タイミングC	OFF	ON
タイミングA	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

8-3, 8-4

ACKの幅の切り換え※

8-3、8-4：前面のセントロニクス・インタフェース

8-7, 8-8

ACKの幅の切り換え※

8-7、8-8：背面のセントロニクス・インタフェース

ACKの幅	8-3または8-7	8-4または8-8
1μs	OFF	OFF
2μs	OFF	ON
4μs	ON	OFF
10μs	ON	ON

表中の太文字は工場設定を表します。

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピュータによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

MS-DOS用リモートパネル

MS-DOS用リモートパネルはMS-DOS、Windows 3.1(日本語版)で動作するソフトウェアであり、プリンタの操作パネルで行っていた各種設定をコンピュータの画面上で行うことができます。MS-DOS用リモートパネルには、用途に応じて以下の2つのソフトウェアが用意されています。

■ 書式設定リモートパネル (PCONF5A.EXE、PCONFV5A.EXE)

プリンタの用紙設定、コピー枚数の設定、フォントの設定等、比較的可変頻度が高いと思われるものをまとめてあります。PCONF5A.EXEは使用環境に応じて、非常駐タイプと常駐タイプの2種類の使い方ができます。

■ メモリスイッチ設定リモートパネル (PCONM5A.EXE、PCONMV5A.EXE)

プリンタのメモリスイッチなど、変更頻度が比較的低い機能の設定を行います。



チェック

印刷に使用するアプリケーションによっては、リモートパネルで設定した内容の一部が無効になることがあります。

Windows 3.1(日本語版)のMS-DOSプロンプトからは、プリンタ情報取得接続はできません。これはWindows 3.1(日本語版)上で動作しているアプリケーションなどにより、プリンタからの情報取得がうまく行かない場合があるためです。

Windows 95(日本語版)のMS-DOSプロンプトから、MS-DOS用リモートパネルユーティリティソフトウェアを使用した場合、表示が乱れる場合があります。Windows 95(日本語版)では、なるべくWindows 95(日本語版)用リモートパネルユーティリティを利用してください。

ソフトウェアのインストール

リモートパネルは、フロッピーディスクから起動することもできますが、コンピュータ本体の固定ディスクにコピーして使用することもできます。

● PC-9800シリーズの場合

- PCONM5A.EXE (PC-9800シリーズ用のメモリスイッチ設定用)
- PCONF5A.EXE (PC-9800シリーズ用の書式設定用)

● DOS/V*対応機の場合

- PCONMV5A.EXE (DOS/V対応機*用のメモリスイッチ設定用)
- PCONFV5A.EXE (DOS/V対応機*用の書式設定用)

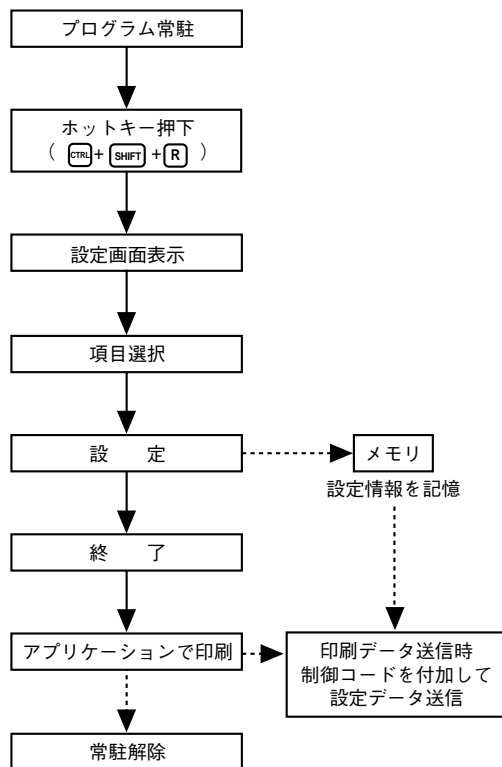
* IBM PC/AT 100%互換機

書式設定リモートパネル

PC-9800シリーズ用書式設定リモートパネル(PCONF5A. EXE)は、使用環境に応じて、非常駐タイプと常駐タイプの2種類の使い方ができます。DOS/V対応機(IBM PC/AT100%互換機)用(PCONFV5A. EXE)は非常駐タイプでのみ使用することができます。

常駐タイプ

ソフトウェアをコンピュータのメモリ上に常駐させて使う方式です。一度常駐させてしまうとホットキー(**CTRL** + **SHIFT** + **R**)を押すことにより、リモートパネルを呼び出すことができるのでいちいち記憶装置からソフトウェアを読み出す必要がありません。また、常駐タイプのソフトウェアは、他のアプリケーションソフトの実行中であっても起動することが可能です。



常駐させて使用する場合には、書式設定データは印刷に使用するソフトウェアからの印刷開始時に印刷データと同時にプリンタに送信されます。

リモートパネルを常駐タイプとして使用される場合には、常駐タイプのソフトウェアの性質上、環境によっては正常に動作しない場合があります。そのときは、非常駐で使用してください。

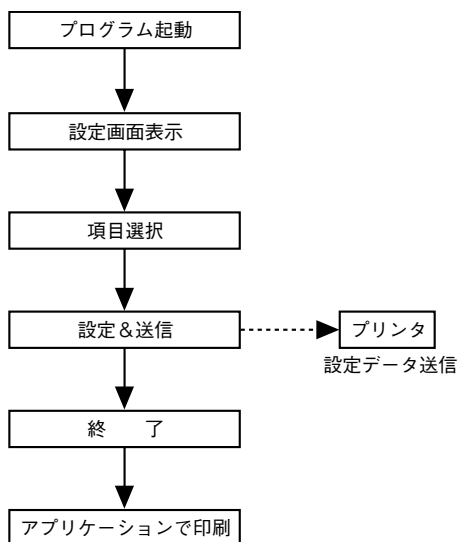


チェック

実行ファイルをコンピュータの固定ディスクのいずれかのドライブにコピーしても起動できます。その際、必要に応じて、実行ファイルのあるドライブ、ディレクトリを示す正確なパス名をコマンドラインで指定してください。

非常駐タイプ

通常のMS-DOSのソフトウェアと同様に、使用するたびに記憶装置(ハードディスクやフロッピーディスク)から読み出して実行する方式です。ソフトウェアの起動は、コマンドラインからファイル名を入力することで行います。



[常駐しない場合]
ホットキーで起動でなく、コマンドライン
の入力で起動する。(オプション -U)

コマンドの入力

- 常駐

次のコマンドを入力することによって、ソフトウェアを常駐させます。

```
>PCONF5A 
```

正常に常駐できたときは、次のように表示されます。

リモートパネルが常駐しました。CTRL+SHIFT+Rキーで起動します。

また、すでに常駐しているときに、さらに常駐させようとしても常駐しません。

- **常駐解除**

次のコマンド（オプション）によって、ソフトウェアの常駐解除を行います。

```
>PCONF5A -R 
```

正常に常駐解除できたときは、次のように表示します。

リモートパネルの常駐を解除しました。

また、常駐していないときや解除ができなくなったときは、次のようなエラーメッセージを表示します。

リモートパネルの解除に失敗しました。

解除できなくなった場合は、リモートパネルが常駐したあとで別の常駐ソフトウェアを常駐させたことが考えられます。そのときは、その常駐ソフトウェアを解除してからリモートパネルの常駐を解除してください。それでも解除できない場合は、別の常駐ソフトウェアを常駐させないで、リモートパネルだけを常駐させるようにしてください。

- **非常駐で使用**

次のコマンド（オプション）によって、ソフトウェアを常駐させずに使用できます。

```
>PCONF5A -U  (PC-9800シリーズ)
```

```
>PCONFV5A  (DOS/V対応機)
```

- **グラフ画面オフ**

本機能はPC-9800シリーズのみ使用できます。コマンドに次のオプションを追加すると、リモートパネル使用中にコンピュータのグラフ画面の表示を停止します。

```
-G (オプション)
```

- **カーソル非表示**

コマンドに次のオプションを追加すると、リモートパネル使用後に、カーソルの表示を停止します。

```
-C (オプション)
```

- **パラレルポート出力先指定**

コマンドに次のオプションを追加すると、コンピュータのパラレルポート出力先を変更できます。


```
-P <n> (オプション) (n=1,2,3)
```

- **ソフトウェアの起動**

常駐した場合、次のキーを押すことによって、ソフトウェアが起動します。

```
 +  +  (ホットキー)
```

- **終了**

ソフトウェアの終了は  を押します。

起動と設定操作

1. ソフトウェアを起動します。

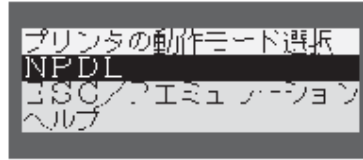
次の画面が表示されます。

2. 動作モードを選択します。

ここで指定する動作モードは、操作パネルからリセットをかけられるとクリアされ、メニューモード中の「エミュレーション」で設定されている内容に変更されます。

リモートパネル終了時の動作モードとしてNPDLMモードまたはESC/Pエミュレーションモードのどれかを **↓**、**↑** で選択し、**↵** を押します。

項目選択画面が表示されます。

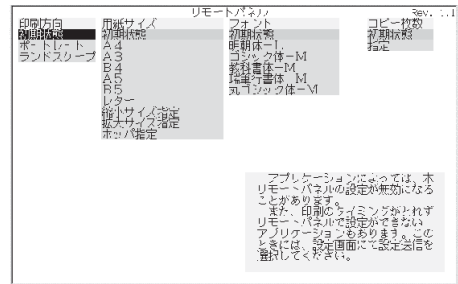


3. 設定の変更を行います。

[印刷方向]、[用紙サイズ]、[フォント]、[コピー枚数]の4項目の中から変更したい項目を選択します。

これらは、**←**、**→** の矢印キーで選択してください。

また、それぞれの項目内の移動は、**↓** で行い、コピー枚数の入力は数値入力で行ってください。



書式設定用リモートパネルは以下のキーを使って操作します。



- ←**、**→**、**↑**、**↓**： メニュー項目を移動、選択する。
- ↵**： 確認画面へ移る。
- ESC**： リモートパネルを終了する。コピー枚数入力の画面から抜ける。
- 0**～**9**（数字キー）： コピー枚数を入力する。
- Y**、**N**、**T**： 確認画面で入力する。

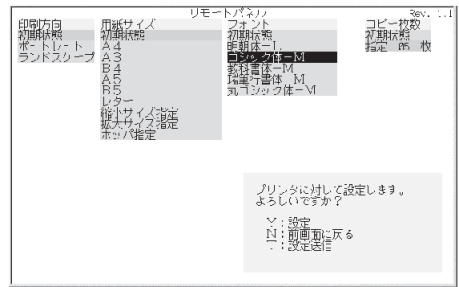


起動時には、MS-DOSのコマンド入力やアプリケーションソフトウェアのカーソルが本画面上のどこかに表示されていることがありますが、別に問題はありません。

4. 設定の変更または数値の入力をして を押します。

次のような確認画面となります。

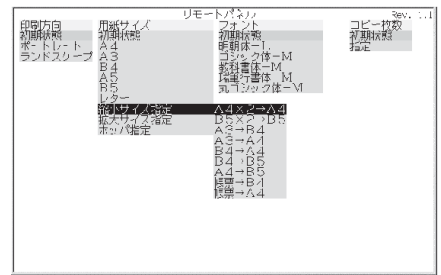
-  を押すと、その場でプリンタにデータを送信します。
-  を押すと、アプリケーションで印刷を行うまで設定データを送信せず、その後アプリケーションが印刷を実行するときに送信します。設定データの送信は一度しか行いませんので、もう一度印刷するときは事前にもう一度設定してください。



設定項目の概要

印刷方向

「ポートレート」、「ランドスケープ」、「初期状態」のいずれかを選択できます。



用紙サイズ

縮小／拡大を含めた用紙サイズを指定します。本項目を設定するときは、必ず印刷方向を設定してください。本項目のみの指定はできません。

フォント

装着可能なフォントカードすべてがフォント名で表示されます（内蔵フォントも表示されます）。この中から使用したいフォントを選択します。



チェック

「明朝体-L」または「ゴシック体-M」以外のフォントを指定するときは、必ず指定するフォントのフォントカードがプリンタに正しく装着されていることを確認してください。


コピー枚数

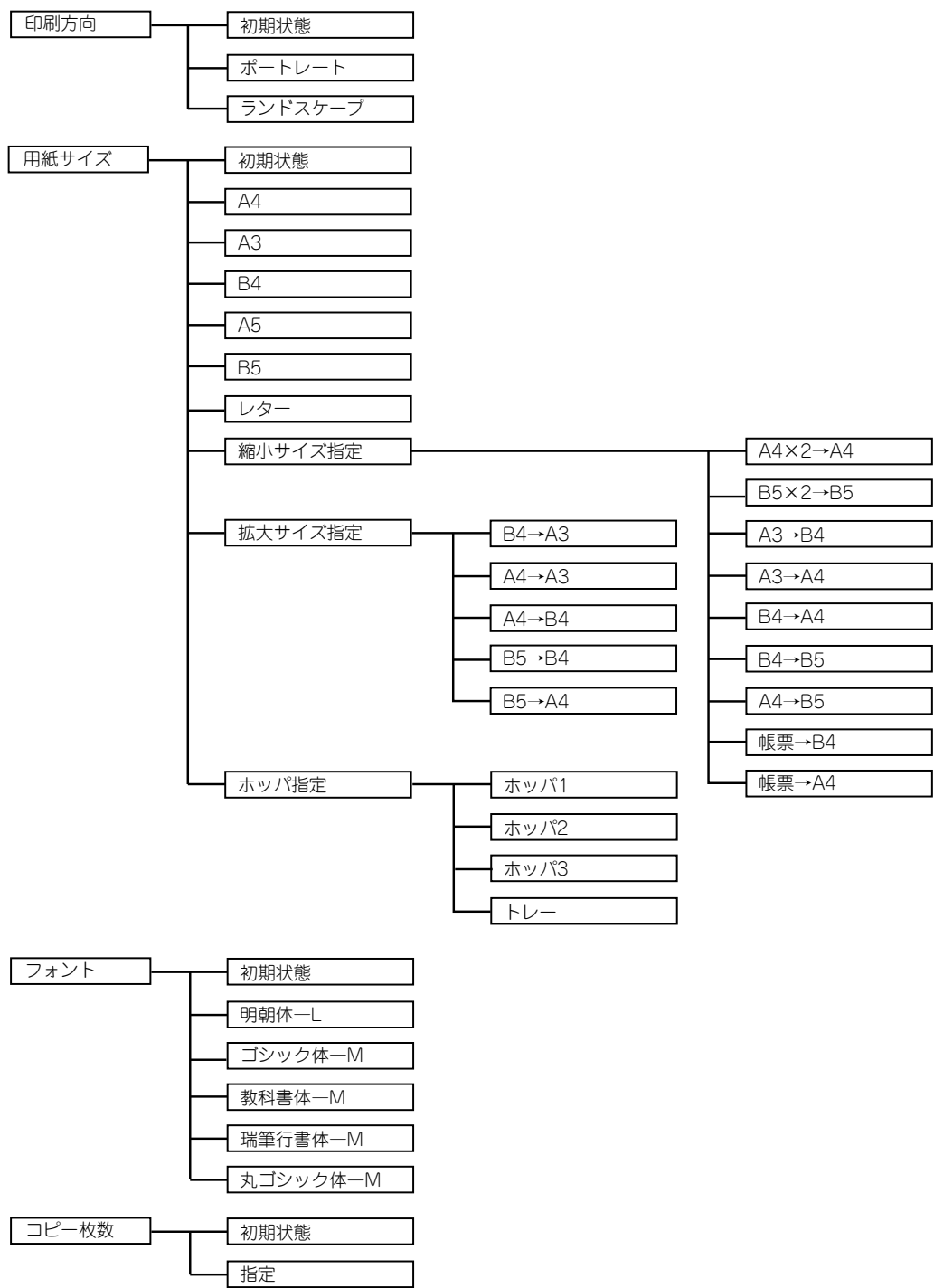
コピー枚数を1～20枚の範囲で指定します。



チェック

コピー枚数は、アプリケーションで設定を行うことができる場合には、アプリケーションで行ってください。リモートパネルで設定した場合、操作パネルに表示されたコピー枚数と実際に印刷される枚数が異なる場合があります。


間違って入力したときは  で入力し直してください。あるいは、一度入力画面を終了してカーソルを「指定」からずらし、もう一度「指定」を選択して入力し直せば設定を変更できます。





書式設定リモートパネルのメニューツリー

メモリスイッチ設定リモートパネル

起動と操作

1. 実行ファイル“PCONM5A.EXE”または“PCONMV5A.EXE”が入っているディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。
2. コマンドラインにディスクを挿入したドライブ名、パス名と共に“PCONM5A”または“PCONMV5A”と入力し、を押します。

(例) 実行ファイルをCドライブに挿入した場合のコマンドラインの入力

C:¥RPANEL¥PCONM5A.EXE  ... PC-9800シリーズをお使いの場合
C:¥RPANEL¥PCONMV5A.EXE  ... DOS/V対応機*をお使いの場合

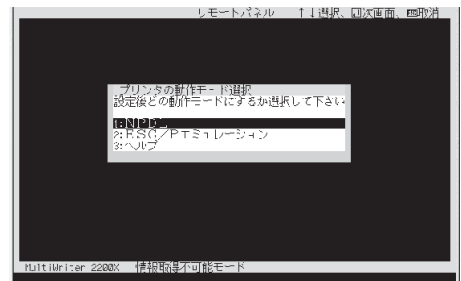
* IBM PC/AT 100%互換機



チェック


実行ファイル(PCONM5A.EXEまたはPCONMV5A.EXE)をコンピュータの固定ディスクのいずれかのドライブにコピーしても起動できます。その際、必要に応じて、実行ファイル(PCONM5A.EXEまたはPCONMV5A.EXE)のあるドライブ、ディレクトリを示す正確なパス名をコマンドラインで指定してください。

3. リモートパネルが起動して動作モードを選択する画面が表示されることを確認します。




チェック

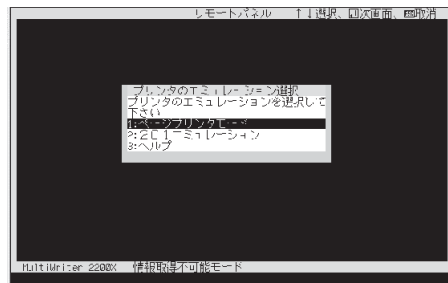
リモートパネルはプリンタと通信しています。プリンタが他のユーザーに使われていたり印刷中のときには、プリンタの設定情報取得に時間がかかるため、リモートパネルの起動に時間がかかったり、うまくプリンタとの通信が行われない場合があります。


4. 動作モードとしてNPDLまたはESC/Pエミュレーションのどれかを選択し、を押します。

ここで指定する動作モードは、操作パネルからリセットをかけられるとクリアされ、メニューモード中の「エミュレーション」で設定されている内容に変更されます。

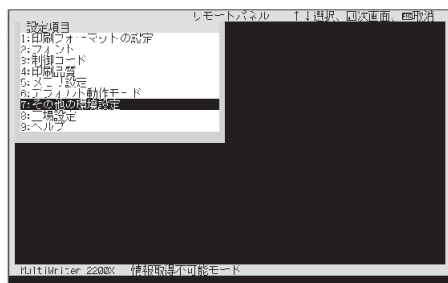
NPDLを選択した場合はエミュレーション選択の画面に移ります。









5. エミュレーション選択としてページプリンタモードまたは201エミュレーションのどちらかを選択し、を押します。




6. 設定したい項目を矢印キーとで選択します。

メモリスイッチ設定用リモートパネルは以下のキーを使って操作します。



- 、、、 : 項目を移動する。
-  : 次の画面に移る。各項目の設定を開始する。
-  : 前の画面に戻る。項目選択のときにリモートパネルを終了する。
-  ~  (数字キー) : コピー枚数を入力する。

7. を押して、設定を決定します。

画面は現在表示されている項目のみプリンタに設定されます。

設定項目の概要

0: プリンタ設定情報取得

プリンタの現在の設定情報を取得します。本機能は、プリンタの設定情報取得が可能な接続の場合にのみ表示され、画面左下に“情報取得可能モード”と表示されます。PC-CA202、PC-CA204、またはPC-PRCA-01のプリンタケーブルをお使いになっていれば情報取得が可能です。「ユーザーズマニュアル[1/3]」の12ページを参照ください。



チェック

プリンタが他のユーザーに使われていたり印刷中のときには、プリンタの設定情報取得に時間がかかるため、リモートパネルの起動に時間がかかったり、うまくプリンタとの通信が行われない場合があります。

1: 印刷フォーマットの設定

- ホッパの指定
 - 1: トレー用紙サイズの指定を行います。
 - 2: トレー用紙種別の指定を行います。
 - 3: リレー給紙の設定を行います。
 - 4: リセット時のホッパ指定を行います。
 - 5: ホッパ2給紙ユニットの識別を行います。
 - 6: ホッパ3給紙ユニットの識別を行います。
- A4桁数
1行あたりの文字数をパイカ文字幅で78桁にするか80桁にするかを選択します。
- 自動縮小の設定
自動縮小するかしないかを選択します。
- レフトマージン初期設定
レフトマージンの初期設定を行います。この設定を行うと、136桁モードは無効になります。
- 印字位置微調整
ホッパ、トレー、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。
調整できる範囲は、「-3.9ミリ」~「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
- 136桁モードの無効、有効、用紙位置
201エミュレーションとESC/Pエミュレーションを選択したときのみ表示されます。
136桁モードの有効/無効を設定し、有効の場合、用紙位置を指定します。この設定を行うと、レフトマージンの初期設定が無効になります。

2: フォント

- 漢字フォント
 - 1: リセット時のフォント設定
電源ON時やリセット時に選択されるデフォルトフォントを設定します。
 - 2: フォントの選択
プリンタに登録されているフォントを表示します。
- ANK文字フォント設定
ANK文字フォントを標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの中から選択します。
- 各国文字セット
文字セットを日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの中から選択します。
- 1バイト系0の書体
1バイト系文字の数字ゼロの字体を「0」と印刷するか「Ø」と印刷するかを指定します。
- 2バイト系0の書体
2バイト系文字の数字ゼロの字体を「0」と印刷するか「Ø」と印刷するかを指定します。

3: 制御コード

- 自動復帰改行コード選択
バッファフル印刷のとき、復帰のみか復帰改行かを指定します。
- 印刷指令コード選択
印刷指令を何にするかを切り替えます。(CRのみかCR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b)
- CR機能コード選択
印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか復帰改行かを指定します。
- ESC c1機能
ESC c1 (ソフトウェアリセットコマンド) を受信したとき、登録データの初期化をするかしないかを指定します。
- FFコードによる白紙出力
印刷データがないときFFコードを受信した場合、白紙を出力するかしないかを指定します。
- DC1、DC3の有効/無効
201エミュレーションとESC/Pエミュレーションを選択した場合のみ表示されます。制御コードDC1、DC3を有効にするか無効にするかを指定します。

4: 印刷品質

- トナー節約機能
トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。

トナー節約機能はプリンタドライバから設定することもできます。Windowsから本プリンタのドライバを使用して印刷する場合には、ドライバ上での設定が優先されます。



チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

- 解像度の設定
解像度を400dpiにするか600dpiにするかを指定します。
- SETの有効/無効の選択
SET機能を有効(ON)にするか無効(OFF)にするかを選択します。
- 印字濃度設定
印字濃度を「淡い」、「やや淡い」、「普通」、「やや濃い」、「濃い」の5段階の中から設定できます。

5: メモリ設定

- ページプロテクト
ページプロテクトを有効(ON)にするか無効(OFF)にするかを選択します。
- メモリ割り当て
増設メモリの使用用途を指定します。

6: 動作モード

電源ON時、リセット時の前部インタフェースデフォルト言語、後部インタフェースデフォルト言語の設定をします。



チェック

書式設定およびメモリスイッチ設定用のリモートパネル終了後、プリンタは起動時に選択する動作モードに移ります。[6: 動作モード]で選択する動作モードは電源ON時またはリセット時に有効になります。

7: その他

- 自動排出設定
自動排出の設定時間を選択します。
- ブザーの有無
ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを設定します。
- 節電モードの有効、無効
節電機能を使用するかしないかを選択します。節電機能に入るまでの時間を選択します。



チェック

プリンタの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を30W以下の状態に節約できる機能です。

節電機能を使用しているときは、プリンタは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります(最大で約95秒)。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

- FS fコマンドの指定サイズなしを表示する/しないの切り替え
FS fコマンドにおいて指定用紙がないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。
- メモリオーバー時の動作設定
詳細は151ページをご覧ください。
- 両面印刷の設定
詳細は150ページをご覧ください。
- ジョブセパレート機能
ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。ジョブセパレート機能の詳細については10章の「ジョブセパレート機能」(134ページ)をご覧ください。
- 動作モード自動切り換えの設定
動作モード自動切り換えの機能を使用する(ON)か使用しない(OFF)かを選択します。
- グラフィックモード
201エミュレーションとESC/Pエミュレーションを選択した場合のみ表示されます。横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを指定します。
- 7、8ビットデータ
201エミュレーションとESC/Pエミュレーションを選択した場合のみ表示されます。インタフェースのデータが7ビット有効か8ビット有効かを指定します。

8: 工場設定

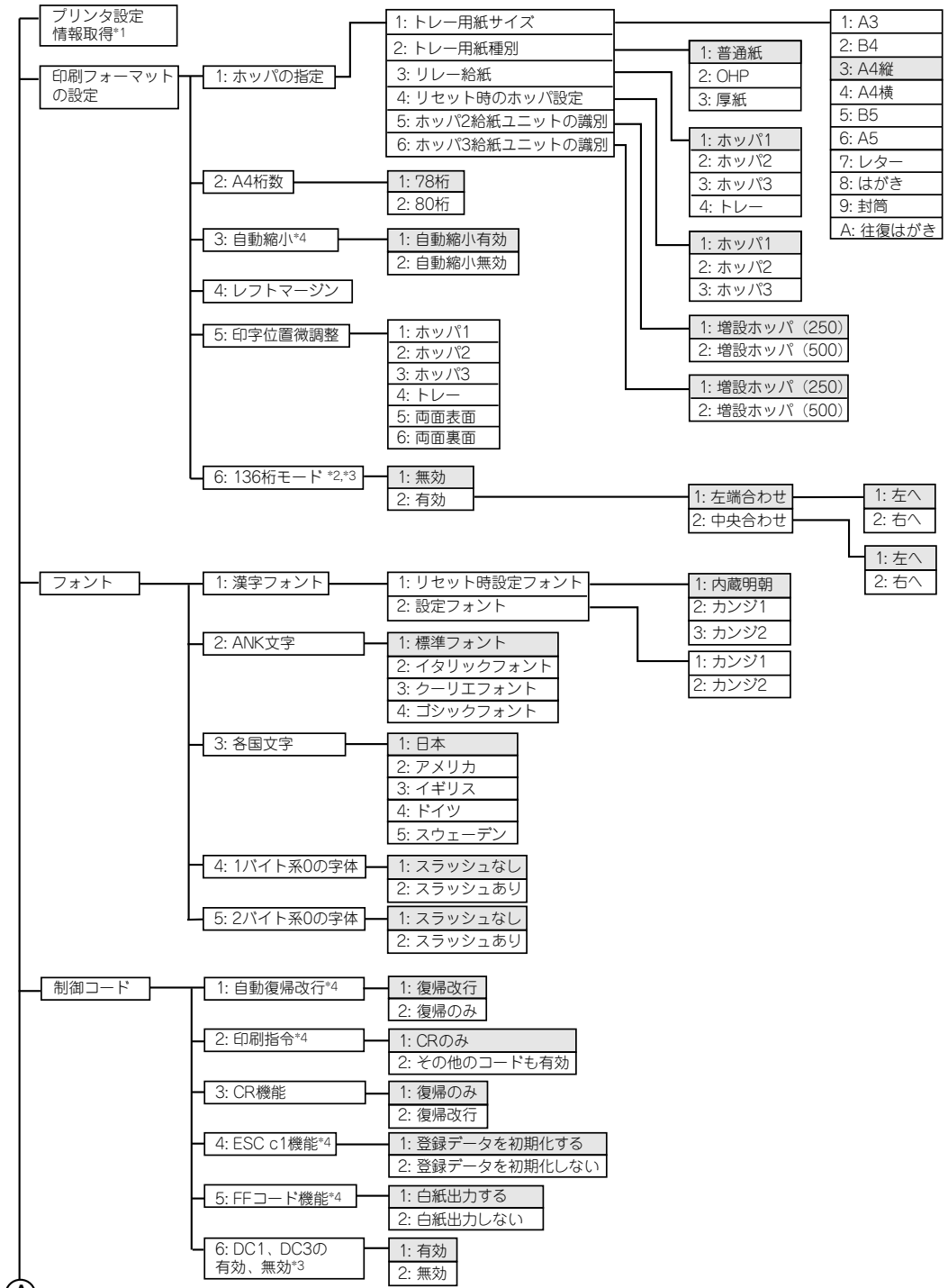
メモリスイッチ等の設定を工場出荷時の設定に戻します。工場出荷時設定は次のとおりです。

設定内容	工場設定
リレー給紙(ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、トレー)	無効
ホッパ初期設定	ホッパ1
A4ポートレート印刷桁数	78桁
FS fコマンドの自動縮小する/しない	自動縮小する
レフトマージン位置	0 (値)
印字位置微調整	0
136桁モードの有効/無効	無効
用紙位置微調整量 (136桁モード時)	0
用紙位置微調整方向 (136桁モード時)	左
用紙位置	左端合わせ
漢字のフォント	明朝体
漢字1	ゴシック
漢字2	ゴシック
ANK文字のフォント	標準フォント
各国文字	日本
1バイトコード系のゼロの字体	0 (スラッシュなし)
2バイト系のゼロの字体	0 (スラッシュなし)
自動復帰改行	あり
印刷指令コード	CRコードのみ
エミュレーションボードの切り替え	201PLエミュレーション
ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り
同期コードの有効/無効の切り替え	無効
データストロープのデータラッチタイミング (後部、前部インタフェース)	前縁ラッチ
増設ホッパの種類(ホッパ2、ホッパ3)	増設ホッパ(250)
ビジー-アクノリッジのタイミング (後部、前部インタフェース)	タイミングA
アクノリッジの幅 (後部、前部インタフェース)	1 μ s

設定内容	工場設定
2バイト文字セット	JIS1978
各ホッパの用紙サイズ	A4
トレー選択時の用紙サイズ	A4
トレー用紙種別	普通紙
トレーA4用紙の給紙方向	縦
コピー枚数	1枚
両面印刷設定	片面印刷
CRの機能	復帰のみ
ESC c1での登録データの初期化	初期化する
FFコードのみで白紙出力する/しない	出力する
DC1、DC3	有効
トナー節約機能	無効
解像度の指定	600dpi
SETを使用する/しない	使用する
メモリ割り当て	標準
後部インタフェースデフォルト言語	NPDL
前部インタフェースデフォルト言語	NPDL
自動排出	無効
ブザー機能の有効/無効	有効
節電モードを使用する/しない	使用する(10分)
FS fコマンドの指定サイズなし表示	表示する
メモリオーバー表示	エラー表示あり
動作モード自動切り換え (後部、前部インタフェース)	無効
動作モード自動タイムアウト	30秒
グラフィックモード	ネイティブモード
7ビット/8ビットデータ	8ビット

分類

設定項目



次ページへ

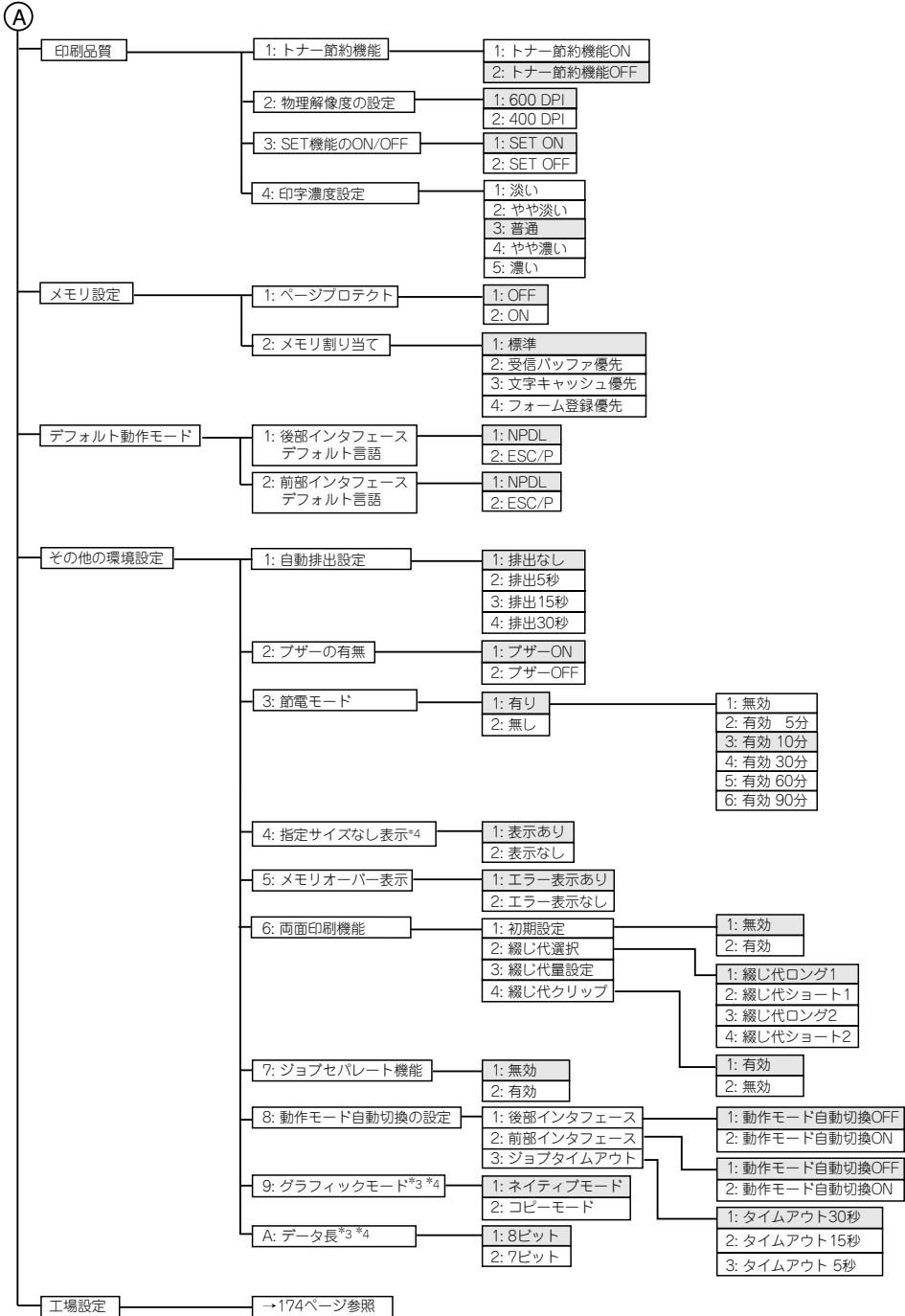
* 網かけ部分が工場出荷時の設定

メモリスイッチ設定リモートパネルのメニューツリー(1/2)

分類

設定項目

前ページから



*1 プリンタの設定情報取得ができない場合には表示されません。

*2 レフトマージンの設定と136桁モードの設定は同時に設定できません。後で設定したものが有効となります。

*3 動作モードにESC/Pエミュレーションまたはエミュレーション選択で201エミュレーションを選択したときのみ表示されます。

*4 ESC/Pエミュレーションを選択した場合には無効です。ただし、設定は可能です。

メモリスイッチ設定リモートパネルのメニューツリー(2/2)

ESC/Pエミュレーションでの機能

プリンタのメニューモードの設定項目のうち、一部の項目はESC/Pエミュレーションでは無効となります。ESC/Pエミュレーションで有効なもの、無効なものは次の表のとおりです。

無効とは、そのときのエミュレーションの印刷に影響を与えないということであり、メニュー、メモリスイッチの切り替えは可能です。

メモリスイッチのESC/Pエミュレーションでの有効なもの、無効なものは、「メモリスイッチの内容」(155ページ)をご覧ください。

機能	ESC/P
テストインサツメニュー	
ステータスインサツジッコウ	○
サンプルインサツジッコウ	○
レンゾクインサツジッコウ	○
16シンダンブジッコウ	○
インサツセッテイメニュー	
コピーマイスウセッテイ	○
トナーセツヤク	○
インジノウド	○
ヨウシメニュー	
ホッパシヨキセッテイ	○
ヨウシサイズセッテイ	○
トレーヨウシシュベツ	○
リレーキュウシセッテイ	○
ジョブセパレートキノウ	○
インジイチセッテイメニュー	
ホッパ1ピチヨウセイ	○
ホッパ2ピチヨウセイ	○
ホッパ3ピチヨウセイ	○
トレーピチヨウセイ	○
オモテメンピチヨウセイ	○
ウラメンピチヨウセイ	○
リョウメンインサツメニュー	○
ウンヨウメニュー	
セツデンキノウ	○
ジドウハイシュツ	○
メモリセッテイ	○
フォントメニュー	
1バイトケイゼロ 0	○
1バイトケイゼロ Ø	○
2バイトケイゼロ 0	○
2バイトケイゼロ Ø	○
ANK ヒョウジュン	○
ANK イタリック	○

機能	ESC/P
フォントメニュー(続き)	
ANK クーリエ	○
ANK ゴシック	○
カンジ ミンチョウ	○
カンジ カンジ1	○
カンジ カンジ2	○
カンジ1 ゴシック	×
カンジ1 (任意)	×
モジセット JIS1978	1983固定
モジセット JIS1983	○
モジセット JIS1990	1983固定
クニベツ ニッポン	○
クニベツ アメリカ	○
クニベツ ドイツ	○
クニベツ スウェーデン	○
ドウサメニュー	
ドウサエミュレーション	○
ドウサジドウキリカエ	○
NPDセッテイメニュー	
A4ポートレートケタスウ	○
エミュレーション	○
136ケタモードセッテイ	○
136ケタモード ユウコウ	○*
ヨウシイチ	○
ピチヨウセイ	○
プロッタセッテイ	
ペンセンタク	×
ゲンテンイチセッテイ	×
SPコマンドハイシュツ	×
RS232Cセッテイメニュー	○
セッテイシヨキカメニュー	○
メモリスイッチメニュー	155 ^{ページ} 参照

○: 有効 ×: 無効

* 136桁モード固定

- メニューの[フォント]の“カンジ”を、「ミンチョウ」に設定すると明朝体を、「カンジ1」に設定するとゴシック体を印刷します。「ミンチョウ」と「カンジ1」は、ESC/Pコマンドの「FS k(漢字の書体選択)」によって切り替えることができます。
- ESC/Pエミュレーションでは、文字セットは常に“JIS1983”になります。
- ESC/Pエミュレーションでは、常に136桁モードになります。

PC-PTOS環境での機能

PC-PTOSから使用する場合は、メモリスイッチ5-1以外のメニュー、メモリスイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままお使いください。メニューの出荷時設定は巻末のメニューモード一覧表をご覧ください。メモリスイッチの出荷時設定は「メモリスイッチの内容」(155ページ)をご覧ください。

設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

メニューの設定

- 各種テスト印刷／16進ダンプの実行
- 各種環境の設定*1
- 用紙の設定*1
- 印字位置微調整の設定
- 両面印刷の設定
- 運用環境の設定
- フォント環境の設定*2
- 動作環境の設定
- NPDL環境の設定
 - － A4ポートレート桁数
 - － 136桁モード設定
- RS232C環境の設定
- メニュー項目の設定

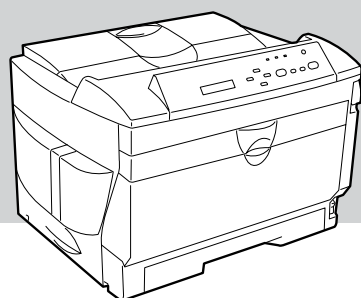
*1 印刷環境の設定中のコピー枚数設定、用紙の設定中のホッパ初期設定に関しては、使用するアプリケーションによってはアプリケーションでの指定が優先されます。

*2 PC-PTOSで規定した字形で印字する場合は、出荷時設定のままで使用してください。

メモリスイッチの設定(メニューで設定できるものを除く)

- (1-5) DC1、DC3の有効／無効の切り替え
- (1-6) 自動復帰改行の切り替え
- (1-7) 印刷指令の切り替え
- (1-8) CR機能の切り替え
- (2-3) グラフィックモードの切り替え
- (2-6) 7ビット／8ビットデータの切り替え
- (2-8) B4→A4縮小の縮小率
- (3-8) ブザーの有効／無効の切り替え
- (4-1) 解像度の選択
- (4-3) ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え
- (4-4) FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え
- (4-5) ランドスケープの方向の切り替え
- (5-1) 同期コードの有効／無効の切り替え
- (6-1) SETを使用する／しないの設定
- (6-2) メモリオーバー時の動作指定
- (7-1、7-2) データストロープのデータラッチタイミングの設定
- (7-4) ホッパ2に装着した増設ホッパの種類
- (7-5) ホッパ3に装着した増設ホッパの種類
- (7-7、7-8) FS fコマンドの動作に関する設定
- (8-1、8-2、8-5、8-6) ビジューアクノリッジのタイミングの設定
- (8-3、8-4、8-7、8-8) アクノリッジの幅の設定

12 日常の保守



EPカートリッジの交換

交換する前に

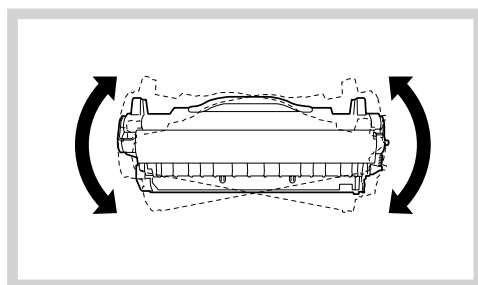
ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”または“87 OPCジ ュミョウ EPコウカン”と表示しトナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンタから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってみてください。もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。トナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。

トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったときは、トナーランプ点灯時と同様に、EPカートリッジをゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

“87 OPCジ ュミョウ EPコウカン”と表示した場合は、OPCドラムの寿命です。このときトナーランプが点灯しますが、故障ではありません。

[印刷可]スイッチを押すと印刷はできますが、印刷品質については保障できません。新しいEPカートリッジと交換してください。

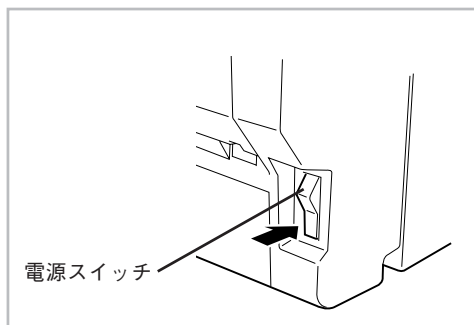


新しいEPカートリッジは、2200Xをお買い求めになった販売店、NEC Bit-INN、NECマイコンショップなどでお求めになれます。2200Xで使用できるEPカートリッジを「ユーザーズマニュアル[3/3]」でご確認のうえ、お買い求めください。

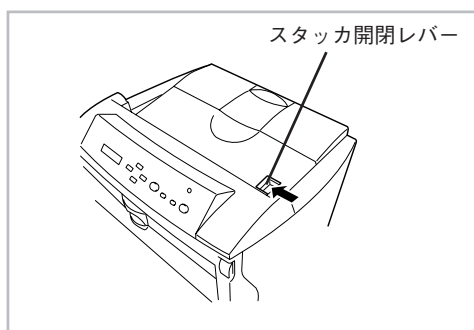
EPカートリッジの交換手順

1. 電源スイッチをOFFにします。

電源ランプが消灯します。

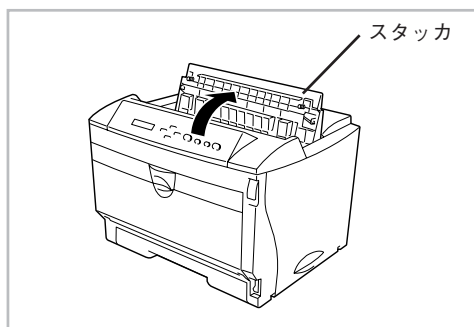


2. スタッカ開閉レバーを左側に押してロックを解除します。



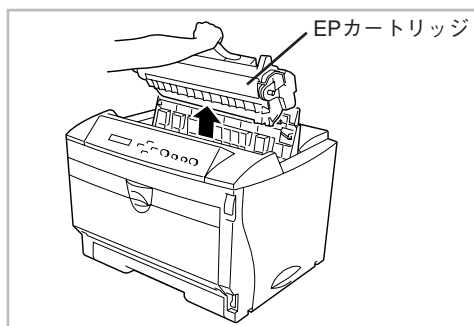
3. スタッカをゆっくりと開けます。

スタッカ開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカを開けてください。



4. 取っ手を持ち、使い終わったEPカートリッジを取り出します。

EPカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。



5. 新しいEPカートリッジをユーザーズマニュアル[1/3]の「EPカートリッジを取り付ける」に従って取り付けてください。



このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。お客様にはお手数ながらご使用後はお買い上げの販売店またはお近くのNECサービス窓口にお持ち寄りください。

EPカートリッジの寿命

プリンタに添付されているEPカートリッジの寿命は、A4用紙で画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率)5%のとき約6000枚になります(画像面積比による印刷枚数はあくまでも目安です。画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によっては異なります)。

また画像面積比が小さい印刷で、トナーが残ってもOPC寿命によりEPカートリッジの寿命となることがあります。

画像面積比5%の印刷例

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」の寿命は6000枚(A4、画像面積比5%)となっています。

ここで画像面積比5%の意味およびEPカートリッジの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンタ(ドットインパクトプリンタや熱転写プリンタなど)では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンタのようなページプリンタでは、「何枚」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何枚」に変えた理由には、

- ① ページプリンタでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
 - ② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。
- の2つがあります。

EPカートリッジの寿命を決定するものの1つに、その内部に収容されているトナー(インクに相当するもの)の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、EPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです)。

従って、「枚数」で寿命を考えると、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

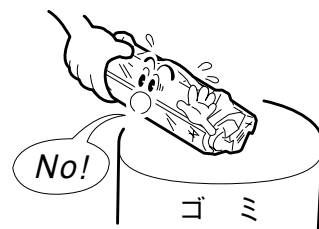
1ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。1ページの中に黒い部分(印刷)がまったくない状態が0%、真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから、EPカートリッジの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より大きい場合、6000枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

以上によりページプリンタではEPカートリッジの寿命が印刷枚数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

なお、この文書を10.5ポイントでA4用紙に印刷した場合が約5%の画像面積比になります。

EPカートリッジの廃棄

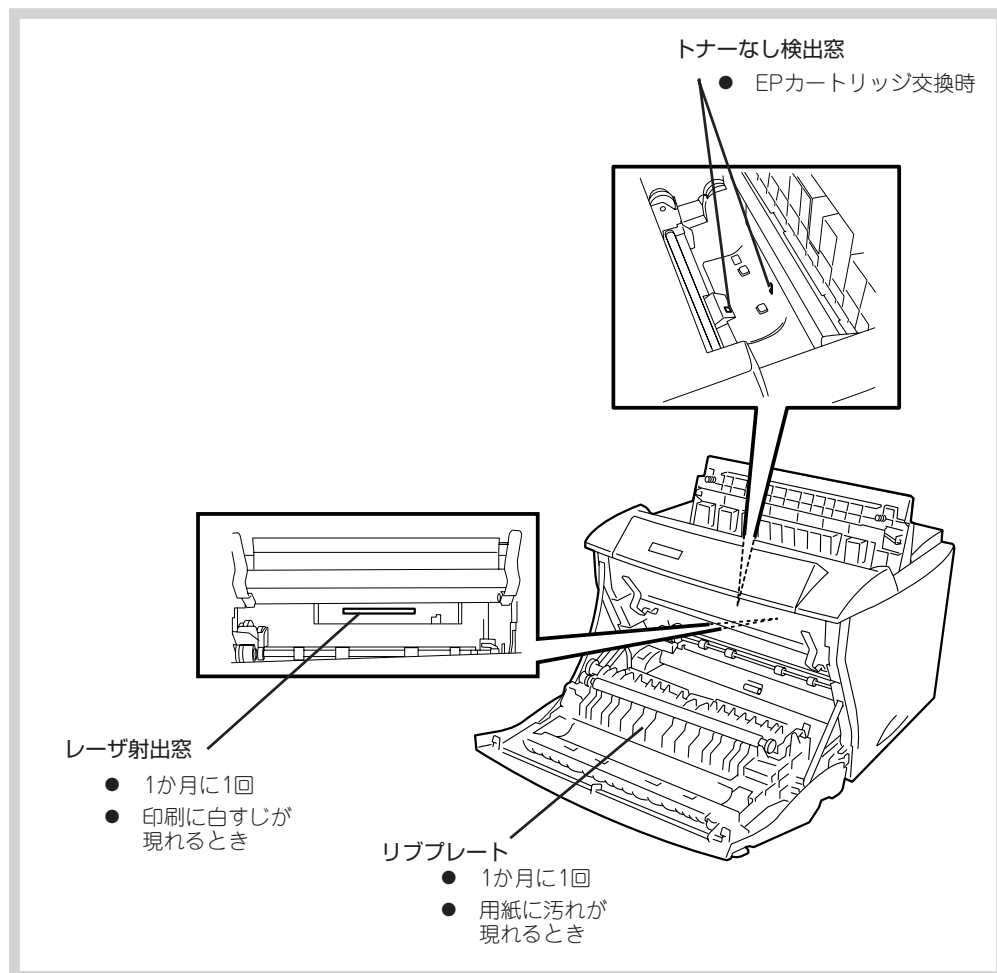
NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てずに、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。



清掃

清掃箇所と清掃時期

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています(ユーザーズマニュアル[3/3]参照)。



清掃手順

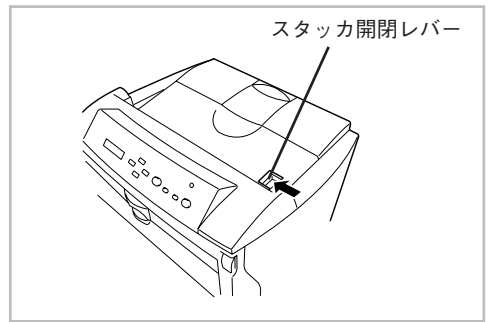


注意

清掃を行うときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードは必ずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

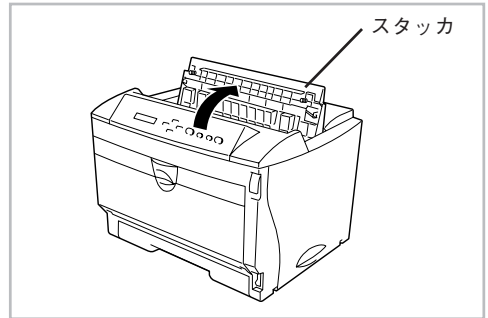
電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

- 1.** スタック開閉レバーを左側に押してロックを解除します。



- 2.** スタックをゆっくりと開けます。

スタック開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタックを開けてください。



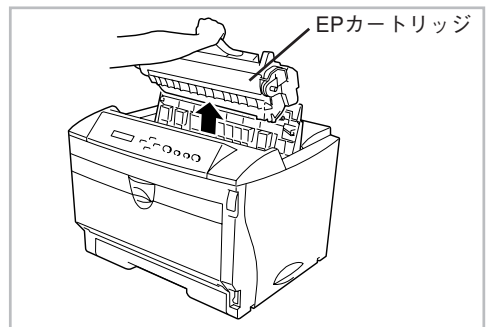
- 3.** 取っ手を持ち、EPカートリッジを取り出します。

EPカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。



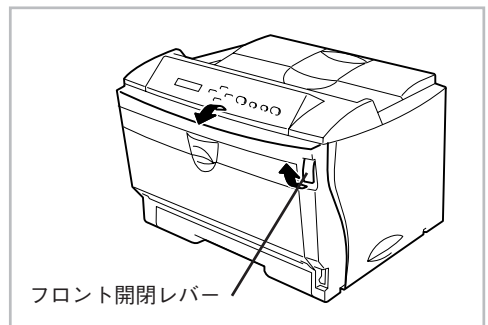
チェック

清掃時に取り外したEPカートリッジは、立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光のあたる場所やほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

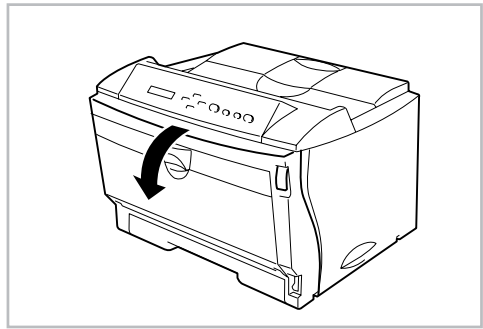


- 4.** フロント開閉レバーを引いてロックを外します。

フロントカバーが少し開いて止まります。

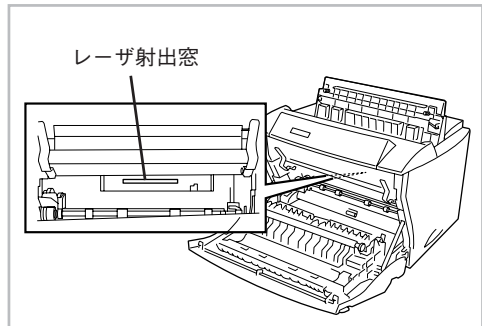


5. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開けます。



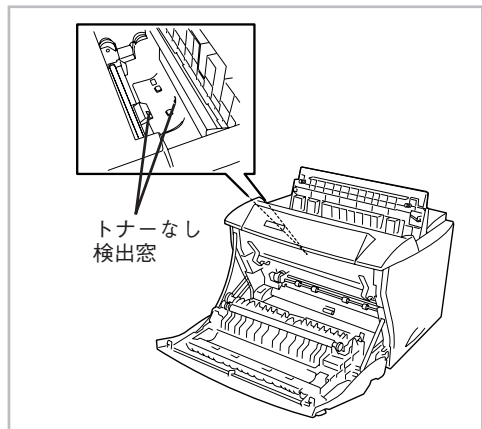
6. レーザ射出窓のガラスの汚れを柔らかい布または綿棒でふき取ります。

レーザー射出窓は特に汚れやすい箇所です。こまめに清掃してください。



7. トナーなし検出窓の汚れを乾いた柔らかい布で軽くふき取ります。

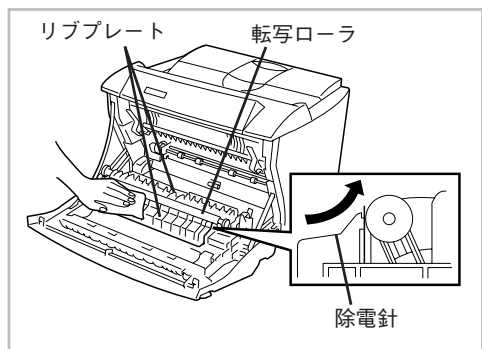
トナーなし検出窓は2か所あります。



8. リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取ります。

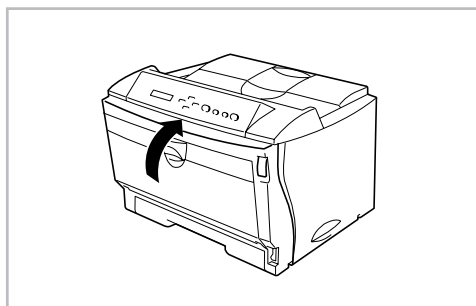


転写ローラ、除電針には触らないようにしてください。



9. フロントカバーを閉めます。

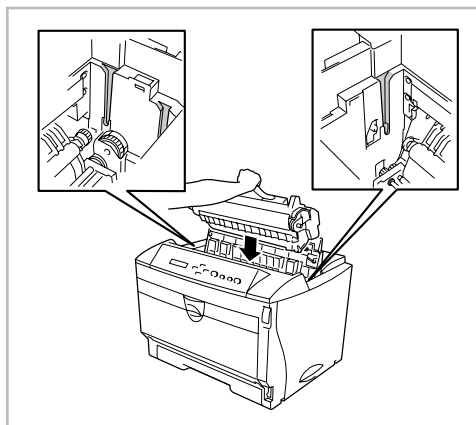
カチッと音がするまでゆっくりとフロントカバーを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。



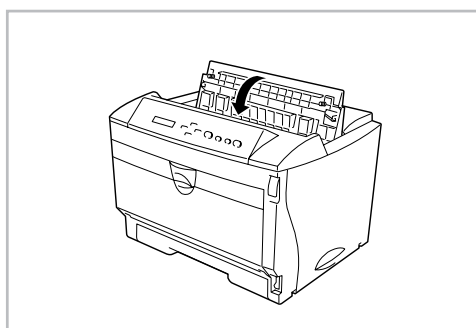
10. EPカートリッジをプリンタ本体に再びセットします。

EPカートリッジ上部に書いている矢印の方向をプリンタ正面に向けて、図のようにEPカートリッジの取っ手を持ち、カートリッジの両側(銀色、32か所)をプリンタの内部の溝に合わせてセットします。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせず確実に下までセットされていることを確認してください。

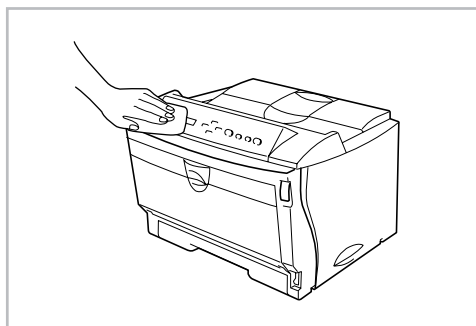


11. 上部カバーを閉じます。



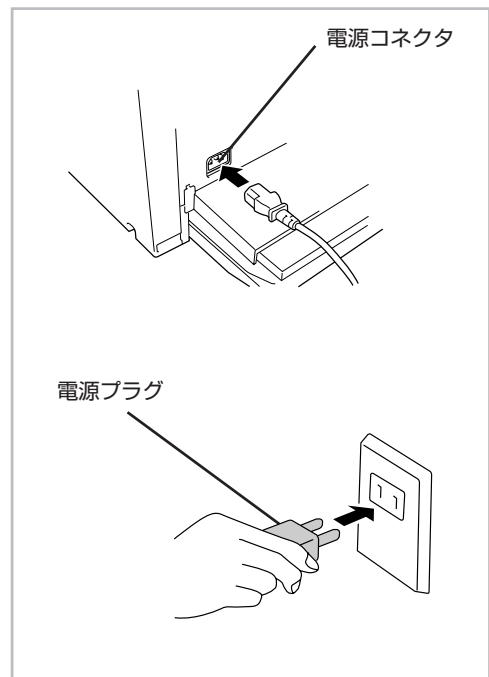
12. 外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取ります。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませてた布で拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

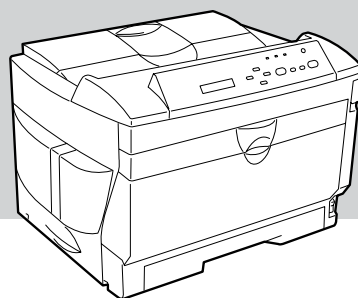


アルコール、シンナー等はプリンタの表面を痛めますので、使用しないでください。

- 13.** プリンタ背面の電源コネクタに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込みます。



13 故障かな?と 思ったら



印刷がおかしいときは

.....

プリンタの動作がおかしかったり、印刷結果が思うように出なかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置をしてください。


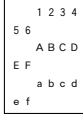

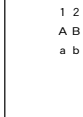
思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンタまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

症 状	原因と処理方法
PrintAgentを利用すると正常に印刷できない	プリンタのメモリスイッチ5-1がONになっていませんか。 → メモリスイッチ5-1をOFFにご利用ください。ただし、お使いのプリンタをPC-PTOSからお使いの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があるためPrintAgentはお使いになれません。

症 状	原因と処理方法
<p>斜線の太さが均一でない (線の角度によって線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい</p>	<p>プリンタのSETの設定が「使用する」になっていませんか。 → リモートパネル、プリンタドライバまたはメニューモードでSETの設定を「使用しない」にしてください。 SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。</p> <p>トナー節約機能がONになっていませんか。 → リモートパネル、プリンタドライバまたはメニューモードでトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。</p>
<p>印刷位置が以前使用していたプリンタと合わない</p>	<p>アプリケーションの用紙・印刷に関する設定がまちがっていませんか。 → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。 ソフトウェアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。</p> <p>プリンタのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されていませんか。 → メニューモードまたはリモートパネルでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンタとそうでないプリンタとでは印刷位置が異なります。</p> <p>使用している用紙がプリンタの規格に合っていないです。 → 「用紙について」(23ページ)を参照して、確認してください。 2200Xのようなカット紙プリンタは、用紙送りをローラの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンタと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。</p> <p>以前使用していたプリンタと2200Xとの間に印刷位置の互換性がありません。 → プリンタの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2) 対応のプリンタおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンタに対しては印刷位置の互換性はありません。</p>
<p>“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない</p>	<p>改ページコードまたは排出コードがありません。 → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 プリンタはページプリンタなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンタに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。</p> <p>(次ページに続く)</p>

症 状	原因と処理方法
<p>“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない (続き)</p>	<p>アプリケーションのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっていませんか。</p> <p>→ ページプリンタを選択してください。</p> <p>ソフトウェアのプリンタ設定がシリアルプリンタになっていると、排出コードをプリンタに送らないためにこのような症状が起こります。また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、必ず各ページの最後に排出コード (OCh) を付加するようにしてください。</p> <p>自動排出機能が無効になっていませんか。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルで自動排出の設定時間を選択してください。</p> <p>プリンタには自動排出機能 (コンピュータからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータを自動的に印刷・排出する機能) があります。ただし、コンピュータからのデータ送信が途中で長い時間途切れるような場合には、この機能は使用できません。</p>
<p>ページの途中までしか印刷されない または 1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう</p>	<p>自動排出機能が有効になっていませんか。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を無効にしてください。</p> <p>プリンタには自動排出機能 (コンピュータからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータを自動的に印刷・排出する機能) があります。しかし、コンピュータからのデータ送信をページの途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。</p> <p>綴じしろは合っていますか。</p> <p>→ 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。</p>
<p>用紙の左側が空白になる (印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される)</p>	<p>一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合があります。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。</p>
<p>縮小すると、縮小する前と印刷結果が異なる</p>	<p>印刷データによっては、縮小すると縮小する前と印刷結果が異なる場合があります。</p> <p>→ プリンタでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。</p>





症 状	原因と処理方法
<p>改行量（行の間隔）が2倍になる</p>  <p>1行が2行にわたる</p>  <p>各行の文字が重なって印刷されてしまう</p>  <p>用紙の途中から印刷が始まってしまう</p> 	<p>アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっていませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードまたはリモートパネルを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピュータの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 <p>アプリケーションのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっていませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 「ページプリンタ」を選択してください。 → メニューモードまたはリモートパネルを使ってプリンタの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンタ専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
<p>改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう</p>	<p>一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> → ソフトウェアの設定をシートフィーダ付きにするか、1ページの長さを67桁（A4サイズの場合）に設定してください。
<p>画面の文字と異なる文字が印刷された</p>	<p>ご使用のコンピュータ環境に最も適した方法でプリンタを指定していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 「ユーザズマニュアル[1/3]」の3章をご覧ください。 <p>適切なエミュレーションモードを選択していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 「プリンタの動作モードの切り替えについて」(153ページ)を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。 <p>プリンタケーブルがきちんと接続されていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → プリンタ側とコンピュータ側の接続状態を確認してください。 <p>プリンタバッファや切替器を使用していませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → プリンタバッファや切替器を使用しない接続方法に変更してください。
<p>白紙が出る</p>	<p>ソフトウェアのプリンタ設定がシートフィーダ付きになっていませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> → シートフィーダ付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリスイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。


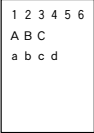

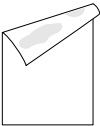


症 状	原因と処理方法
両面印刷が正しく機能しない	<p>ページプロテクトがOFFになっていませんか。 → 用紙サイズによっては、片面印刷になることがあります。ページプロテクトをONにしてください。</p> <p>メニューモード、メモリスイッチは合っていますか。 → 設定し直してください。</p> <p>セットされている用紙サイズは合っていますか。 → 両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。</p> <p>トレーの用紙種類を普通紙以外に設定していませんか？ → トレーから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。</p> <p>メモリが足りません。 → A3、B4サイズの内紙に両面印刷を行う場合、メモリの増設が必要です。10章のメモリ増設表(138ページ)をご覧ください。</p>
リプリント機能が使用できない	<p>プリンタとコンピュータは双方向通信が設定されていますか。 → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンタケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。</p> <p>「リプリント機能を使用する」がチェックされていますか。 → 「プロパティ」ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、確認してください。</p> <p>「リプリント機能を提供する」がチェックされていますか。 → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。</p>
ジョブセパレート機能が使用できない	<p>A4サイズが縦置き、横置きでセットされていますか。 → プリンタにセットされている用紙を確認してください。</p> <p>トレーの用紙サイズは設定されていますか。 → トレーの用紙サイズを設定してください。</p> <p>トレーの用紙種類を普通紙以外に設定していませんか？ → トレーから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。</p> <p>用紙給紙は自動に設定されていますか。 → ダイアログボックスを開き、自動に設定してください。</p> <p>「ジョブセパレート機能を使用する」がチェックされていますか。 → ネットワーク環境で共有プリンタとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタドライバで「ジョブセパレート機能を使用する」にしてください。</p>

症 状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能がうまく働かない	<p>丁合い機能は正しく選択されていますか。</p> <p>→ アプリケーションの印刷機能から丁合機能を指定している場合は正しく機能しません。指定を外してください。</p> <p>印刷部数(コピー印刷)は指定されていますか。</p> <p>→ 印刷部数の指定を確認してください。</p> <p>すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用するように設定されていますか？</p> <p>→ ネットワーク環境で共有プリンタとして使用しているすべてのクライアントが「ジョブセパレート機能を使用する」に設定していることを確認してください。</p>

印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。









症 状	原因と処理方法
<p>用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき</p> 	<p>用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(23ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>サイドガイドが用紙の幅に合っていない。 → 「用紙のセット」(25ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。</p> <p>トレー給紙の「用紙種類」はセットされている用紙に対して、正しく設定されていますか。 → リモートパネル、「プロパティ」ダイアログボックス、メニューで設定しなおしてください。</p> <p>設定濃度を濃くしていませんか。 → メニューモード、プリンタドライバで濃度を設定しなおしてください。</p>
<p>用紙が汚れているとき</p> 	<p>プリンタの内部が汚れています。 → 「清掃」(182ページ)を参照して、よく清掃してください。</p>
<p>印刷が薄いとき</p> 	<p>トナーがありません(トナーランプ点灯)。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>トナー節約機能を使用していませんか。 → メニューモード、プリンタドライバ、またはリモートパネルでトナー節約機能を解除してください。</p> <p>設定濃度を淡くしていませんか。 → メニューモード、プリンタドライバで濃度を設定しなおしてください。</p> <p>EPカートリッジのビニールシールが取り付けられたままです。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。</p> <p>トレー給紙の「用紙種類」はセットされている用紙に対して、正しく設定されていますか。 → リモートパネル、「プロパティ」ダイアログボックス、メニューで設定しなおしてください。</p>
<p>何も印刷されない</p> 	<p>トナーがありません(トナーランプ点灯)。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>EPカートリッジのビニールシールが取り付けられたままです。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>真っ黒に印刷されたとき</p> 	<p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。 → 「EPカートリッジの交換」(193ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。 → 「EPカートリッジの交換」(193ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
<p>文字のグレー印刷ができない</p> 	<p>「文字を白黒で印刷する」がチェックされていませんか。 → 「プロパティ」ダイアログボックスを開き、「文字を白黒で印刷する」がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。</p>
<p>印刷に縦線や横線が入るとき</p> 	<p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p> <p>レーザ射出窓にゴミがついています。 → 「清掃」(182ページ)を参照して、レーザ射出窓を清掃してください。</p>
<p>印刷用紙の裏が汚れるとき</p> 	<p>転写ローラが汚れています。 → 数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>転写ローラガイドプレートカリブプレートが汚れています。 → 「清掃」(182ページ)を参照して、プリンタの内部を清掃してください。</p>
<p>部分的に白く抜けるとき</p> 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性があります。 → 「用紙のセット」(25ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。</p> <p>用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(23ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>冬期はプリンタ内部が結露している可能性があります。 → 電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
<p>縦線の形状で白く抜けるとき</p> 	<p>レーザ射出窓にゴミがついています。 → 「清掃」(182ページ)を参照して、レーザ射出窓を清掃してください。</p> <p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。 → 「EPカートリッジの交換」(179ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>

印刷できないとき

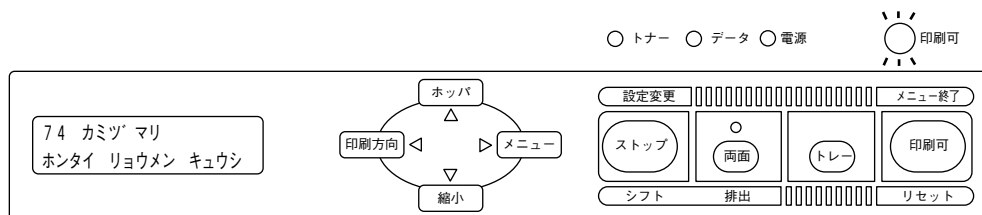
次の表に、印刷できないときの症状、および確認と処理方法を示します。それぞれの方法に従って確認、処理してください。

症 状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	<p>【電源】スイッチがOFFになっています。 → [電源]スイッチをONにしてください。</p> <p>電源コードがきちんと差し込まれていません。 → プリンタ側とコンセント側の両方を確認してください。</p> <p>コンセントに電気が供給されていません。 → 配電盤などの状態を調べてください。</p>
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	<p>印刷可ランプが消灯しています。 → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。</p> <p>プリンタケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていません(データランプ消灯)。 → ユーザーズマニュアル[1/3]を参照して、プリンタケーブルを確認、接続してください。</p> <p>改ページまたは排出コードがありません(データランプ点灯)。 → [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンタ内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を選択することをお勧めします。</p> <p>用紙がなくなったか、または指定されたサイズの内紙がありません(印刷可ランプ(赤)点灯)。プリンタの規格に合っていない。 → 「用紙のセット」(25ページ)を参照して、用紙を補給してください。</p> <p>印刷可ランプ(赤)が点灯していませんか。 → この後の「アラーム表示が出ているときは」(196ページ)をご覧ください。</p> <p>プリンタはページプリンタなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 → もう少しお待ちください。</p> <p>2200Xが「通常使うプリンタ」として選択されていますか。 → 2200Xを「通常使うプリンタ」として選択してください。</p> <p>コンピュータのメモリが不足しています。 → コンピュータのメモリを増やしてください。</p>

ディスプレイ表示	ランプ	アラームの内容と処理方法
77 テイクホシュ		<p>定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。</p> <p>→ 販売店にお問い合わせください。</p> <p>このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77テイクホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。</p>
82 メモリオーバー		<p>印刷データを蓄えるメモリが不足しています(メモリスイッチ6-2 OFFの場合のみ表示します)。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83 インサツフカ”のアラーム表示をします。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「ページプロテクト」をONにすれば正しい印刷が可能になります。</p>
83 インサツフカ		<p>メモリオーバーで解像度をおとして印刷しようとしたましたが、それでもメモリが不足しています。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行うおとしたページのデータを廃棄します。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「ページプロテクト」をONにすれば正しい印刷が可能になります。</p>
84 フォーム オーバーXXX		<p>フォーム登録に必要なメモリが不足しています。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(XXX)のフォームデータが読み捨てられます。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「メモリワリアテ」を「フォームトウロクユウセン」とすることでフォーム登録用メモリを増加させることができます。</p>
87 OPCジュミョウ EPコウカン		<p>OPCの寿命が近づきました。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」に従ってEPカートリッジを交換後、スタッカをきちんと閉じてください。</p> <p>EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンタの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“87 OPCジュミョウ”アラームは解除できません。</p>
88 EPタイプチカイ EPコウカン		<p>EPカートリッジのタイプが違います。</p> <p>→ 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。</p>
18 コール 18 (オプション使用時)		<p>漢字アウトラインフォントカードに異常があります。</p> <p>→ 電源をOFFにしてフォントカードを取り付け直し、もう一度電源スイッチをONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、販売店に修理を依頼してください。</p>
上記以外の表示		<p>障害が発生しています。</p> <p>→ 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンタの故障が考えられます。保守サービス窓口修理をお申し付けください。</p>

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74 カミヅマリ ホンタイ リョウメン キュウシ”と表示されます。同時にプリンタは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。



紙づまりの処理

ディスプレイ下段の表示は、紙づまりが発生している箇所を表しています。

- “ホンタイ” Bプリンタ内部またはC排出部
- “リョウメン” D両面印刷ユニット
- “キュウシ” A給紙部

これら3種類の表示のうち、紙づまりが発生している箇所だけがディスプレイに表示されます。

次ページの図を参考にしてA、B、C、Dのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、200ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

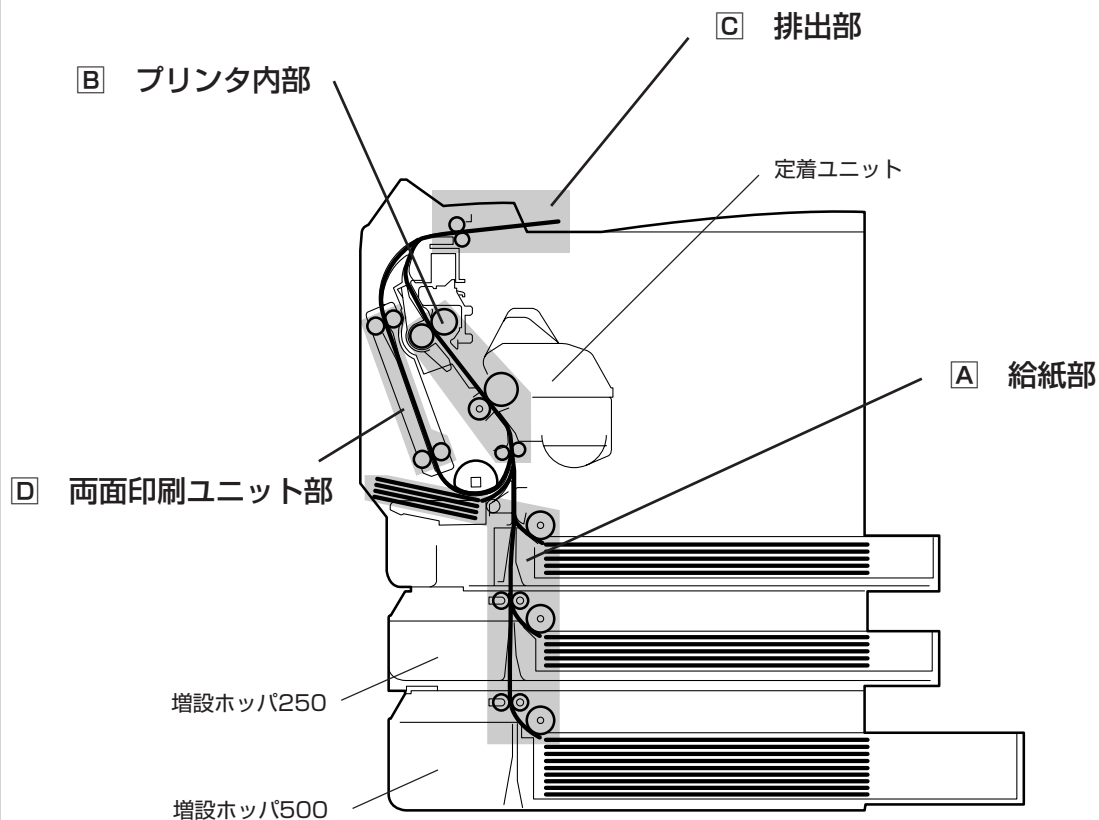
つまった用紙を取り除くことができれば、EPカートリッジを元に戻し(取り外していたら)、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、印刷が再開されます(通常、印刷は紙づまりを起こしたページから再開されますが、紙づまりの状態によってはそれ以降のページから再開される場合があります)。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」(205ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。



チェック

つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンタの正しい用紙送りを妨げることがあります。紙づまりが発生した場合、2200Xでは、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開する機能を持っています。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。



注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので、十分に注意してください。

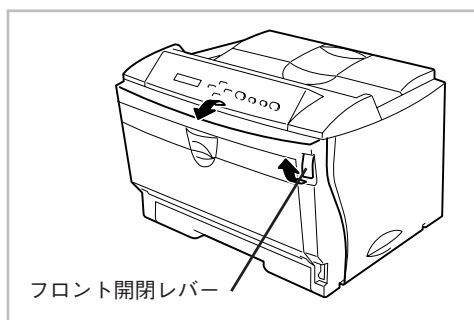
紙づまりの発生箇所

A 給紙部の紙づまり

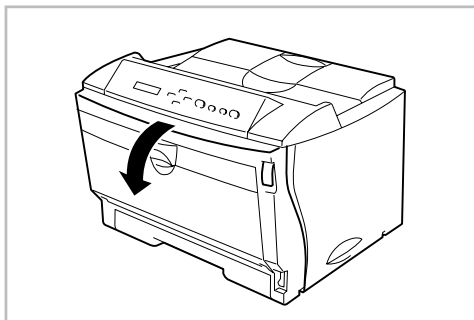
■ ホッパ給紙で紙づまりが発生した場合

1. フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外します。

フロントカバーが少し開いて止まります。

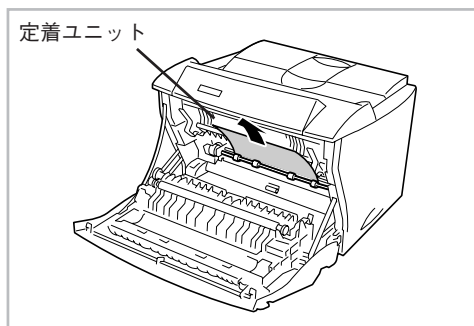


2. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開けます。



3. つまった用紙をゆっくり引き抜きます。

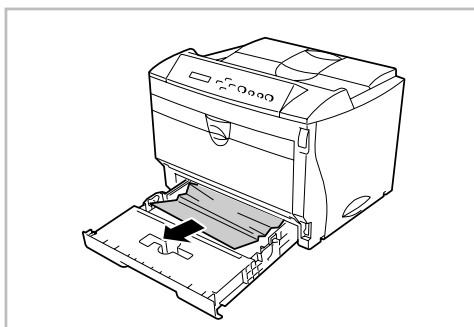
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。



注意

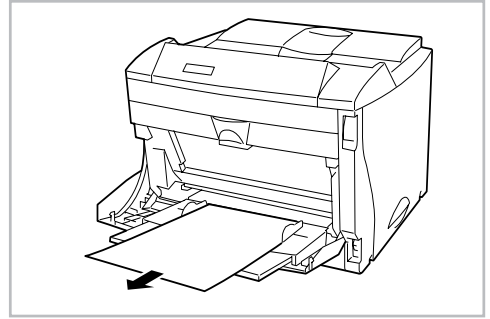
定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

4. 用紙カセット内につまっている場合は、用紙カセットを静かに引き出し、つまった用紙を取り除きます。

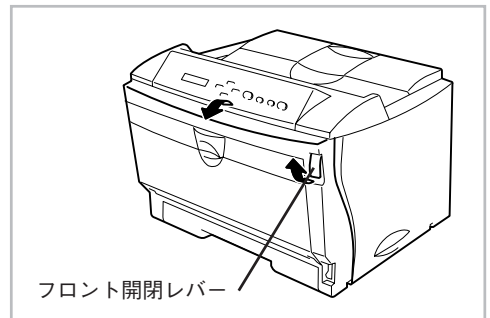


■ トレー給紙で紙づまりが発生した場合

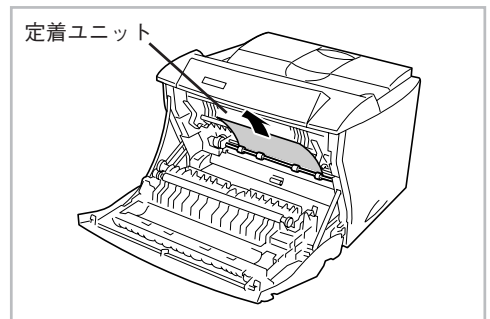
1. トレーにセットしてある用紙を取り除きます。



2. トレーを閉じて、フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外し、フロントカバーをゆっくりと開けます。
フロントカバーが少し開いて止まります。



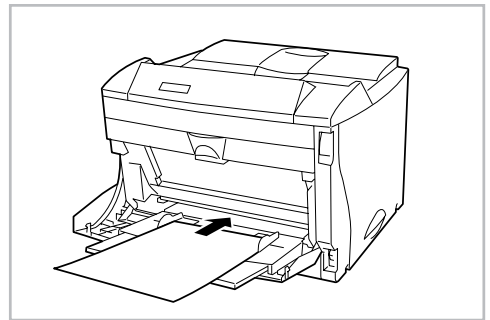
3. つまった用紙をゆっくり引き抜きます。
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。



注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

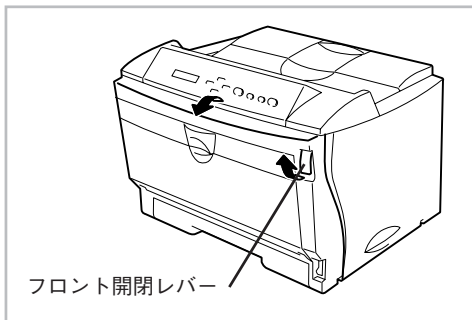
4. フロントカバーを閉じて、トレーを開き、用紙をセットしなおします。



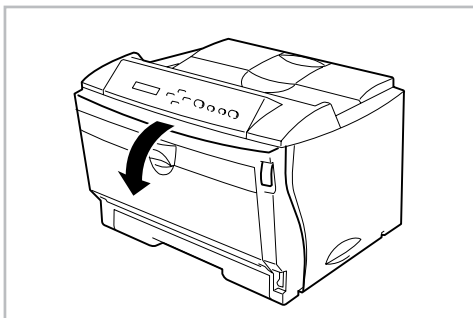
B プリンタ内部の紙づまり

1. フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外します。

フロントカバーが少し開いて止まります。



2. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開けます。

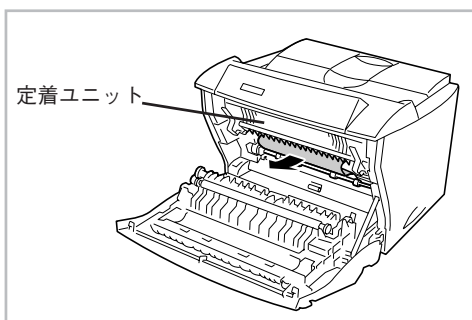


3. つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き抜きます。

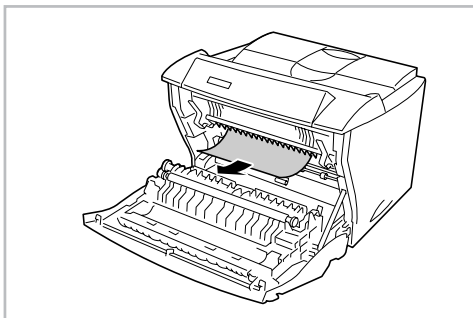


注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。



4. 用紙がローラにかかっていないときは、用紙の下側をもって下方方向にゆっくりと引き抜きます。



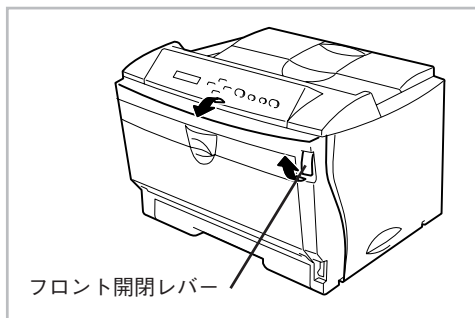
C 排出部の紙づまり



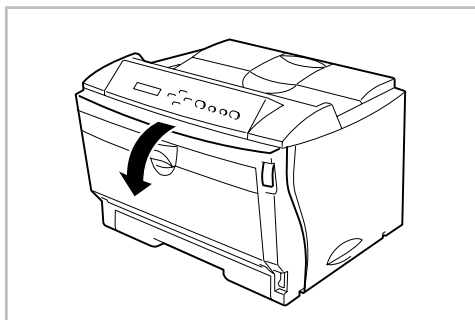
フロントカバーを開けてからつまった用紙を取り除いてください。フロントカバーを開けずに引き抜こうとしても引き抜けない場合があります。無理に引き抜くとプリンタの故障の原因となります。

1. フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外します。

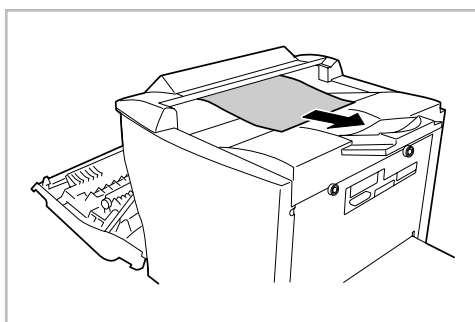
フロントカバーが少し開いて止まります。



2. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開けます。



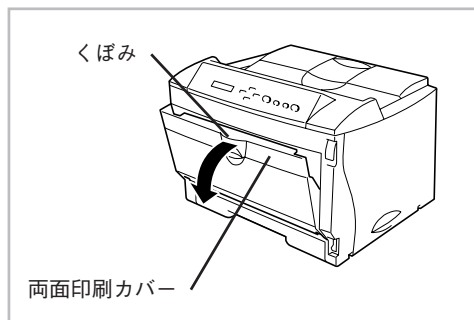
3. 排出口より、用紙をゆっくりと引き抜きます。



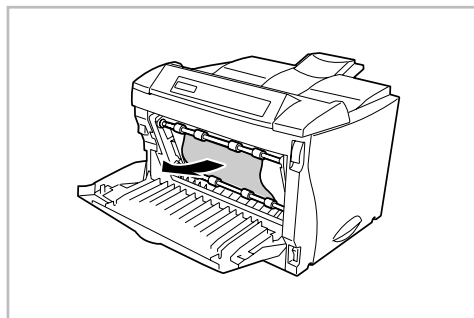
D 両面印刷ユニット部の紙づまり

1. 両面印刷カバーを開きます。

両面印刷カバーのくぼみを持ち、手前に引きます。



2. つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き抜きます。



紙づまり処理後の確認

つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

- 用紙片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- スタッカ、フロントカバー、両面カバーは確実に閉じられていますか。
- 用紙カセットは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- 用紙カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- 用紙は正しくセットされていますか。
- 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙について」(25ページ)に記載されている事がらは守られていますか。
- 用紙の量が多すぎませんか。(標準ホッパの容量は、普通紙の場合連量55kg用紙で約250枚です。)
- 片面印刷されている用紙を使用していませんか。

紙づまり処理直後は、ローラ等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。

PrintAgentが正しく動作しない

次の表にPrintAgentが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。


症 状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentシステムアイコンが表示されていない	「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで、「システムを自動的に起動する」をチェックしていない。 →チェックしてください。次回Windows起動時から自動的に表示されます。
	PrintAgentを終了している。 →[スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 2200X PrintAgentシステム起動]を実行してください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが[スタート]メニューまたは[プログラムマネージャ]に登録されていない	カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。 →システムの管理者にご相談ください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルで使用したいプリンタが選択できない	プリンタフォルダまたはプリントマネージャに「NEC MultiWriter 2200X」のプリンタが登録されていない。 →プリンタドライバをインストールしてください。
	プリンタドライバが変更されている可能性があります。 →プリンタドライバを再インストールしてください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない	プリンタに対するユーザー権限がない。 →権限を確認してください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
	コンピュータのメモリ不足。 →メモリを確認してください。必要のないアプリケーションを終了してください。
	プリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティが使用されています。 →コンピュータで使用されているユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
	パラレルポートの設定が正しくありません。 →コンピュータのパラレルポートの設定を変更してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	[通知形式のプロパティ]の設定が変更されている。 →設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンタの状態を正しく表示しない	印刷データを直接プリンタに送信している。 →印刷データ(ジョブ)をスプールするように設定してください(Windows 3.1では「プリントマネージャを使用しない」をチェックする)。
	14ピンパラレルインタフェースでプリンタを接続している。 →このインタフェースではプリンタの情報を取得することができずプリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェース(PC-9801-94)をお使いになることをお勧めします。

症 状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンタの状態を正しく表示しない	<p>プリンタのメモリスイッチ5-1がONになっている。 →メモリスイッチ5-1をOFFにしてください。ただし、PC-PTOSの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があるためPrintAgentはお使いになれません。</p>
	<p>赤外線通信オプションでプリンタと通信している。 →PrintAgentはお使いになれません。プリンタドライバのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]で[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]をチェックし、再起動してください。</p>
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	<p>音声を通知しない設定となっている。 →[通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。</p>
	<p>[プリンタステータスウィンドウのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が自動起動するになっていない。 →自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。</p>
	<p>ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている →設定を確認してください。</p>
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの一時停止、削除ができない	<p>印刷ドキュメントがすでにプリンタへ送られてしまった。 →すでにプリンタへ送信済みのドキュメントに対しては、一時停止、削除はできません。</p>
	<p>ネットワーク上で権限がない。 →ネットワーク管理者に権限を確認してください。</p>
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない/自動起動してしまう	<p>[プリンタステータスウィンドウのプロパティ]の設定を変更されている。 →設定を確認してください。</p>
プリンタの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	<p>プリンタが、双方向通信できないインタフェースで接続されている。もしくはプリンタがバッファ等を経由して接続されている。 →プリンタの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できない時は、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタドライバから設定が可能です。詳しくは、プリンタドライバのヘルプをご確認ください。</p>
	<p>プリンタの情報をうまく取得できていない。 →プリンタの電源を入れ直してください。</p>
リモートパネルでプリンタの設定が読み込めない	<p>プリンタの[印刷可]スイッチが押されていない。(ディセレクト状態) →セレクト状態でないとプリンタの設定を読み込めません。[印刷可]スイッチを押してください。</p>
	<p>プリンタが印刷中である。 →印刷中の場合はプリンタの設定は読み込めません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください。</p>
リモートパネルでプリンタへの設定ができない	<p>プリンタに対するユーザー権限がない。 →権限を確認してください。</p>
	<p>プリンタの[印刷可]スイッチが押されていない。(ディセレクト状態) →セレクト状態でないとプリンタの設定ができません。[印刷可]スイッチを押してください。</p>
	<p>プリンタが印刷中である。 →印刷中の場合はプリンタに設定できません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください。</p>

症 状	原因と処理方法
リモートパネルでの表示と実際のプリンタの設定が異なる	<p>プリンタと双方向通信ができていない。 →プリンタの現在の設定は読み込むことができません。</p>
	<p>リモートパネルを表示後、プリンタで直接設定が変更された。 →リモートパネルの設定読み込みボタンをクリックしてプリンタの設定を読み込んでください。</p>

MS-DOS用リモートパネルが正しく動作しない

リモートパネルの設定が無視されたり、画面にエラー表示が現れたりしているときは次の手順で処理してください。

症 状	原因と処理方法
リモートパネルの設定が無視される	アプリケーションが書式の設定データをプリンタに送信する場合は、リモートパネルの設定データより後に送信するため、アプリケーションの設定が優先されます。 アプリケーションで設定可能な設定はソフトウェア側で設定してください。
常駐タイプのリモートパネルが正しく動作しない	印刷に使用するソフトウェアがコンピュータのBIOSを使用せずに印刷を行っているときには、常駐タイプのリモートパネルからの書式設定データの送信ができません。 設定画面でその場で設定データを送信する「T：設定送信」を行うか、非常駐タイプのリモートパネルをお使いください。 他のアプリケーションソフトの実行中、あるいは他の常駐タイプのソフトウェアが常駐しているときにリモートパネルを起動しようとしても、正しく起動しない場合があります。 この場合には、他の常駐タイプのソフトウェアの常駐を解除してから起動するか、非常駐タイプのリモートパネルをお使いください。 常駐タイプのリモートパネルが常駐しているときに、他のソフトウェアを起動(または常駐)させようとする、メモリ不足となることがあります。 このような場合には、リモートパネルの常駐を解除してください。 他のアプリケーションソフトの動作中にリモートパネル起動すると、ソフトウェアによってはリモートパネル終了後に画面が正しく復旧しないことがあります。 このような場合、実行中だったソフトウェアで、画面の再表示を行う等の処置を行ってください。
“プリンタにデータを送信できません！”が表示される	プリンタが送信不可能になっています。 プリンタがディセレクト状態(印刷可ランプ消灯)の場合、印刷可スイッチを押してセレクト状態(印刷可ランプ点灯)にして、  で処理を再開します。
“プリンタがオンライン状態でないときは、オンライン状態にしてリターンで設定を続けてください。”が表示される	プリンタのディスプレイを確認して、エラーの時は ESC で実行中のコマンドを中止します。その後そのアラーム表示に対する処理(196ページ参照)を行い再実行します。
“プリンタがエラーの時はESCで処理を中止してください。”が表示される	プリンタのディスプレイを確認して、エラーの時は ESC で実行中のコマンドを中止します。その後そのアラーム表示に対する処理(196ページ参照)を行い再実行します。

用語解説

16進ダンブ印刷

プリンタが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL

NECのシリアルプリンタ用標準コードのこと。

[?]ボタン

Windows 95で新しく追加された機能で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

CR

Carriage Return キャリッジリターンの略。プリンタの制御コード(コマンド)のひとつ。

DPI

Dots Per Inchの略。プリンタの解像度などを表す単位。1インチ当たりのドット数。(→解像度)

ESC/P

セイコーエプソン社が開発したプリンタを制御する命令(コマンド)の集まりのこと。

FF

改ページを行うこと。

IrDA

Infrared Data Associationの略。[ポイントアンドビーム]データ転送に関する国際規格で、赤外線接続によるコンピュータおよびプリンタ相互間の通信方式を規定するもの。

LPI

Lines Per Inchの略。1インチ当たりの行数。

NMPS

NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンタの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンタ記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクタ)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。印刷するときは、トレー給紙を用いる。

OS

Operating Systemの略。コンピュータのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。

PrintAgent

NMPS機能の一部で双方向通信を可能にし、印刷状況の確認、プリンタの設定をコンピュータ画面上から実現したソフトウェア。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ

使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

RS-232C

プリンタと上位装置(プリンタを制御する装置:コンピュータ等)間のインタフェースの一つ。シリアル(直列)伝送で最も一般的なハードウェア上の規格。

SET

Sharp Edge Technologyの略。NECのプリンタに採用されている高精度印字機能の一種。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。コンピュータネットワークのプロトコルとして使われている。OSI参照モデルでは、TCPがトランスポート層に、対応しており、UNIXを初めOS/2、System7.5 (Macintosh)、Windows 95など、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

アップル社とマイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

Windowsアプリケーション

Windows専用のソフトウェアプログラム。Windowsオペレーティングシステムがないと起動できない。

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたNMPSソフトウェアを取り除く作業。ソフトウェア名は「アンインストーラ」。本プリンタのNMPSを削除するときは、必ずこのソフトウェアを使用する。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンタに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲

プリンタ用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般には設定するという意味であるがここではソフトウェアをコンピュータに組み込むという意味。

インタフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するもの。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンタの電源をONにした後、定着部などが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他の装置(プリンタ)のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンタの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字で印刷する文字のこと。

解像度

プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す(単位はDPI)。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

紙づまり

用紙がつまってプリンタが動作しなくなった状態をいう。

輝度

CRTモニタなどの管面上の明るさ。画面の明るさ。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF (0AH)のように単独で機能を表すコード。

クライアント

ネットワークを介して他のコンピュータ(またはサーバ)にアクセスしている利用者または、利用者のコンピュータ。

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレイスケールイメージ

それぞれのドットを、白黒ではなくグレイの濃淡として保存しているピットマップイメージ。

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。EPカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピュータに行わせたい作業を実行するために選択または、入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカの音量、スクリーンセーバーの種類などといった設定を行うための画面をいう。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピュータからのデータが一定時間なかったとき、プリンタ内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

ジョブセパレート

印刷ジョブ毎に、印刷方向によらず用紙の排出を縦置き、横置きと仕分けて排出する機能のことをいう。

シリアルプリンタ

文字単位で印刷を行うプリンタ。

[スタート] ボタン

プログラムの起動やファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データを直接プリンタに送らず、ハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンタに送ること。これによりプリンタが印刷を終了するのを待たずにコンピュータでは別の作業を行うことができるようになる。プリンタに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンタの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

双方向通信

コンピュータとプリンタとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。コンピュータから印刷データが送られるだけでなく、プリンタからもコンピュータに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には双方向通信可能なプリンタインタフェースを装備したコンピュータであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピュータやプリンタなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタドライバなどが含まれる。

セントロニクス

プリンタと上位装置(プリンタを制御する装置:コンピュータ等)間のインタフェースの一つ。

8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンタ用のインタフェース規格として広く使用されている。

ダイアログボックス

プリンタの設定や操作のために画面に表示されるウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

たて目

用紙の繊維の流れが長辺と平行に走っているもの。

タブ

Windows 95で、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ダブルクリック

マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに印が表示される。

通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行したときにその印刷データを印刷するプリンタ。本プリンタで印刷を行う前に必ず通常使うプリンタとして設定しておく必要がある。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させる働きをする。

テストページ

プリンタが正常に動作していることを確認するためのもの。

ドライバ

プリンタドライバの項を参照

ドライブ名

ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウェアを使って機器(プリンタなど)を共有し、情報を交換できるようにしたコンピュータの集団。

ノンインパクト方式

光、電気、磁気、熱などを用いて印刷する方式。機械的な衝撃によらない印刷方式。

パイカ文字

1インチ当たり10文字で印刷する文字のこと。

ハードウェア

コンピュータ本体、キーボード、マウス、コンピュータやプリンタなどコンピュータシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。これをバッファフル印刷という。

ハーフトーン

グレースケールイメージを、元のイメージのグレイの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

ピクセル

ディスプレイ上の点。画像の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンタに出力されるイメージを表す、連続した点の集合。

ヒートローラ

定着ユニットにあり、プレッシャローラとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数時、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリ

プリンタの電源をOFFにしても記憶した内容が残っているメモリ。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンタケーブル

コンピュータとプリンタを接続するケーブル。インタフェースケーブルとも呼ばれる。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタの間のやり取りを仲介するプログラム。インタフェースやフォントの指定、インストールされたプリンタの機能などの情報を、Windowsに提供する。

プリントマネージャ

Windows 3.1、Windows NT3.5/3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ

Windows 3.1やWindows NTの操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロパティ

オブジェクトの属性のこと。Windows 95では、タイトルの色の設定やプリンタの設定状態などを示す用語として広く使われている。Windows 95のアプリケーションガイドラインでは、マウスの右ボタンをクリックすることにより、いつでもオブジェクトのプロパティを表示させることができる。

プロポーショナル文字

印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語

1 ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンタ

ページ単位で印刷を行うプリンタ。

ポイント(マウスの)

マウスのポインタを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

プリンタなどの装置をコンピュータに接続するために使うコネクタ。

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

マウスポインタ

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューモード

プリンタの設定をメニュー形式で行うモード。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリ

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリスイッチ

不揮発性メモリを利用してプリンタのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン/オフを切り替えるスイッチではなく、電氣的に切り替えるスイッチ。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の選択肢の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

リストボックス

ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした印刷システム。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズ of 用紙1000枚当たりの重さをいう(本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。

ローカルプリンタ

コンピュータと直接プリンタケーブルで接続しているプリンタ。

索引

英数字

136桁モード	39
136桁モード設定	154
2000Xについて	5
2200Xの特徴	5
A4ポートレート桁数	39, 153
EPカートリッジ	
～の廃棄	181
EPカートリッジの交換	179
EPカートリッジの寿命	181
ESC/Pエミュレーションでの機能	177
IrDA	33, 115
LANボード用スロット	7
MS-DOS用リモートパネル	162
書式設定用リモートパネル	163
ソフトウェアのインストール	162
メモリスイッチ設定用リモートパネル	169
NPD環境の設定	153
OHPフィルム	24
[OK]ボタン	52, 73, 94, 105
PC-PTOS環境での機能	178
PrintAgent	5
PrintAgentが正しく動作しない	206
PrintAgentに関する注意	114
Windows 95	32
Windows NT3.51	88
Windows NT4.0	68
PrintAgentの起動	113
PrintAgentのプロパティ	127
PSWのプロパティ	126
RS232C環境の設定	154
SET	45
TrueTypeフォント	60, 76, 82, 110
Windows 3.1から印刷する	99
Windows 95から印刷する	29
Windows NT3.51から印刷する	85
Windows NT4.0から印刷する	67

ア

厚紙	23
アフターサービスについて	8
アンインストーラ	113
安全上のご注意	2
安全にかかわる表示	ii
イメージアイコン	36
印刷位置調整	39
印刷がおかしいときは	187
印刷可スイッチ	16
印刷可ランプ	14

印刷環境の設定	148
印刷の詳細設定を行う	
Windows 3.1	102
Windows 95	32
Windows NT3.51	88
Windows NT4.0	68
印刷の進行状況を見る	119
印刷の設定	
Windows 3.1	99
Windows 95	29
Windows NT3.51	85
Windows NT4.0	67
印刷品質	172
印刷フォーマットの設定	171
印刷方向	167
印刷方向スイッチ	18
印刷ログ出力機能	6, 141
～を設定する	142
印刷ログファイルの内容	142
印字位置微調整の設定	149
印字濃度	148
ウォームアップを開始させる	118
運用環境の設定	151
エミュレーション	153
エミュレーションモード	39
お客様登録申込書	8
[オプション]ボタン	106
音声メッセージ	124

カ

海外でのご使用	ii
解像度	80
各部の名称	7
紙づまり処理後の確認	205
紙づまりの処理	198
紙づまりのときは	198
紙づまりの発生箇所	199
給紙部	199
排出部	199
プリンタ内部	199
両面印刷ユニット部	199
管理銘板	8
疑似OCR-Bフォント	45, 61, 62, 77, 82, 108, 111
起動と設定操作	166
起動と操作	169
キャノピー	7
[キャンセル]ボタン	52, 73, 94, 105
給紙部の紙づまり	200
[グラフィックス]ボタン	107
クリップ	150

クリップ機能を使用する	47
ケーブルクランプ	7
警告ラベル	ii, 1
工場設定	174
[更新後終了]ボタン	36
[更新]ボタン	36, 52
高調波ガイドライン適合品	ii
故障かな?	
MS-DOS用リモートパネルが正しく動作しない	209
アラーム表示が出る	196
印刷できない	195
印刷の異常	193
思うように印刷できない	187
コピー枚数	148, 167
コマンドの入力	164

サ

システム起動	113
システムの表示	125
システムメニュー	113, 125
自動排出機能	151
自動排出時間	44
シフト機能	15
シフトスイッチ	20
修理	9
[終了]ボタン	36
縮小/拡大モード	19
縮小スイッチ	19
受信バッファ	44
受信バッファ優先	152
寿命	10
常駐タイプ	163
商標について	i
情報サービスについて	11
初期設定	150
ジョブセパレート機能	6, 134, 149
~を使って印刷する	134
丁合機能と組み合わせて印刷する	136
スイッチ	13, 15
スイッチのモード	15
スタッカ	7
スタッカ開閉レバー	7
ステータス情報エリア	116, 117
ステータスバー	116
ステータスヘルプボタン	116
ストップスイッチ	17
スライドバー	52
制御コード	172
清掃	182
清掃箇所	182
清掃時期	182
清掃手順	182
設定項目一覧	145
設定項目の概要	167, 170

設定の詳細	
Windows 3.1	106
Windows 95	53
Windows NT3.51	95
Windows NT4.0	74
セットするときの注意	
(はがき(往復はがき))	28
封筒	28
節電機能	151
操作パネル	7, 13
送信中ドキュメントを制御する	121

タ

チェックボックス	36, 52, 73, 94
[置換表の設定]ボタン	110
通知形式を変更する	123
データランプ	14
ディスプレイ	13, 21
テキストボックス	105
テスト印刷	148
デバイスプロパティ	74, 95
[デフォルト]ボタン	111
電源コネクタ	7
電源スイッチ	7
電源の瞬時電圧低下対策	ii
電源ランプ	14
電圧障害自主規制	ii
同期コード	33, 69, 89, 115
動作エミュレーション	153
動作環境の設定	153
動作自動切り替え	153
動作モード	173
ドキュメント情報エリア	116, 120
ドキュメントプロパティ	
Windows NT3.51	96
Windows NT4.0	78
とじしろ	46, 150
とじしろ付加サイズ	47
[閉じる]ボタン	52, 73, 94
トナー節約機能	45, 62, 108, 148
トナーなし検出窓	182
トナーランプ	14
トレイ	7
トレイ給紙での紙づまり	201
トレイスイッチ	16
トレイ用紙	149

ナ

日常の保守	179
ネットワーク対応	6

八

排出スイッチ	20
排出部での紙づまり	203
はがき	24
ビジュアル情報エリア	116, 119
非常駐タイプ	164
微調整	154
[標準に戻す]ボタン	52, 73, 94
封筒	24
フォーム印刷	63, 111
[フォーム設定]ボタン	107
[フォーム選択]ボタン	111
フォーム登録優先	152
フォント	167
フォントカード用スロット	7
フォント環境の設定	152
[フォント置換設定]ボタン	107
フォントの置き換え	61, 77, 82, 111
フォントの設定	171
普通紙	23
プリンタステータスウィンドウ	113, 116
プリンタ設定情報取得	170
プリンタドライバから設定する	
Windows 3.1	
アプリケーションから呼び出す	103
[オプション]ダイアログボックス	107
[グラフィックス]ダイアログボックス	109
「コントロールパネル」を使って呼び出す	104
ダイアログボックスの使い方	105
ダイアログボックスの開き方	103
[フォーム設定]ダイアログボックス	111
[フォント置換設定]ダイアログボックス	110
[プリンタの設定]ダイアログボックス	106
[レイアウト]ダイアログボックス	108
Windows 95	
アプリケーションから呼び出す	50
[印刷品質]シート	62
[共有]シート	54
[グラフィックス]シート	58
[詳細]シート	53
[情報]シート	53
[スタート]ボタンを使って呼び出す	51
ダイアログボックスの使い方	52
[フォーム]シート	63
[フォント]シート	60
[プリンタの構成]シート	64
[プリンタの状態]シート	65
プロパティダイアログボックスの開き方	49
[用紙]シート	55
[レイアウト]シート	57
Windows NT3.51	
アプリケーションから呼び出す	91
[印刷品質]シート	97
[グラフィックス]シート	97
ダイアログボックスの使い方	94
ダイアログボックスの開き方	90
[フォーム]シート	98
[フォント]シート	97
[プリンタの構成]シート	95
[プリンタの状態]シート	98
[プリンタの設定]シート	95
「プリントマネージャ」を使って呼び出す	92
[用紙]シート	96
[レイアウト]シート	96
Windows NT4.0	
アプリケーションから呼び出す	70
[印刷品質]シート	83
[共有]シート	75
[グラフィックス]シート	80
[スケジュール]シート	75
[スタート]ボタンを使って呼び出す	71
[セキュリティ]シート	75
[全般]シート	74
ダイアログボックスの使い方	73
ダイアログボックスの開き方	70
[フォーム]シート	83
[フォント]シート	82
[プリンタの構成]シート	78
[プリンタの状態]シート	83
[プリンタの設定]シート	76
[ポート]シート	74
[用紙]シート	78
[レイアウト]シート	79
プリンタ内部での紙づまり	202
プリンタの構成情報	117
プリンタの状態を知る	117
プリンタを選択する	
Windows 3.1	101
Windows 95	31
Windows NT3.51	87
Windows NT4.0	67
プロッタ環境の設定	154
プロッタボード用スロット	7
プロパティシート	36
フロントインタフェースコネクタ	7
フロントインタフェースコネクタカバー	7
フロント開閉レバー	7
フロントカバー	7
ページの指定と印刷結果	139
ページプロテクト	151
ページプロテクトを有効にする	44
ペーパーサポート	7
ヘルプ	113
[ヘルプ]ボタン	36, 52, 73, 94, 105
ヘルプを見る	124
保守サービス	9
補修用部品	10
保証	8
ホッパ	7
ホッパ給紙での紙づまり	200
ホッパ初期設定	148

ホットスイッチ	18
本文中の記号	v

マ

メニュー&ツールバー	116
メニュー項目の登録	154
メニュースイッチ	17
メニューツリー	
書式設定リモートパネル	168
メモリスイッチ用リモートパネル	175
メニューモード	147
～への入り方	147
メモリアーバ時の動作	43
メモリスイッチの設定	154
メモリスイッチの内容	155
メモリセッテイ	151
メモリ設定	172
メモリ増設	138
メモリ割り当て	44, 152
文字キャッシュ優先	152

ヤ

ユーザーズマニュアルの再購入	11
用語解説	211
用紙位置	154
用紙位置の微調整	158
用紙カセット	7
用紙サイズ	167
用紙サイズ設定	148
用紙残量インジケータ	116
用紙残量表示	144
用紙について	23
用紙の設定	148
用紙のセット	25
余白	150

ラ


ラジオボタン	36, 52, 105
ラベル紙	24
ランプ	13, 14
リアインタフェースコネクタ	7
リアカバー	7
リストボックス	52, 73, 94, 105
リセットスイッチ	20
リブプレート	182
リプリント機能	6, 131
リプリントを行う	122
リモートパネル	113


リモートパネルから設定する	34
Windows 95	
[印刷品質]シート	45
[スタート]ボタンから起動させる	34
[その他]シート	48
[動作環境]シート	42
[フォント]シート	40
プリンタのプロパティから起動させる	34
[用紙]シート	37
リモートパネルの起動	34
リモートパネルの使い方	36
[両面印刷]シート	46
両面印刷	6
両面印刷カバー	7
両面印刷機能	138
両面印刷中のプリンタの動作	140
両面印刷の設定	150
両面印刷ユニットでの紙づまり	204
両面インジケータ	116
両面スイッチ	16
両面ランプ	14
リレー給紙設定	149
レーザー射出窓	182
[レイアウト]ボタン	107
レフトマージン	39
漏洩電流自主規制	ii


メニューモード一覧表


メニューモードの設定変更の方法


メニューモードの設定内容を変更する場合、以下のスイッチを使用します。


 メニューモードに入ることができます。


 次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。

 一つ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。

 同じレベルの項目を選択することができます。押すたびに1つ上の項目を選択します。

 同じレベルの項目を選択することができます。押すたびに1つ下の項目を選択します。

 レベル3の項目を選択中、任意の項目の設定を変更することができます。押すたびに設定内容が変わります。

 メニューモードを終了することができます。

メニューモード一覧表内の網掛け部分は工場設定値です。

- *1 設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
- *2 ホッパが2段以上のときのみ表示されます。
- *3 装着されているホッパのみ表示されます。
- *4 ホッパが1段のときのみ表示されます。
- *5 ホッパ2が装着されていて、MSW7-4=OFFのときのみ表示されます。
- *6 ホッパ3が装着されていて、MSW7-5=OFFのときのみ表示されます。
- *7 ホッパ2が装着されているときのみ表示されます。
- *8 ホッパ3が装着されているときのみ表示されます。
- *9 ホッパ2が装着されているときのみ表示されます。MSW7-4=ONで500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4=OFFで250枚用の値を表示・設定します。
- *10 ホッパ3が装着されているときのみ表示されます。MSW7-5=ONで500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5=OFFで250枚用の値を表示・設定します。
- *11 増設されているメモリ量により表示・設定できる項目が異なります。
- *12 (任意の部分には、フロントカードが装着されているときのみ表示されます。
- *13 プロッタエミュレーションボードが装着されているときのみ表示されます。
- *14 マ工、ウシロのいずれかのインタフェースの設定がONのときのみ表示されます。
- *15 201エミュレーションモード時のみ表示されます。
- *16 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。

